

森とともに

設立 20 周年記念誌



NPO法人
北海道森林ボランティア協会

澄川の四季



表紙題字：横山 清 書
写真撮影：三橋 次郎

目次

1	創起 20 年、これから新しい第一歩（理事長 横山 清）	1
2	北海道の原風景（専務理事 酒井和彦）	2
3	「森ボラは永遠に！」（代表幹事 檀棒典夫）	3
4-1	子どもたちの心に木を植えつつきたい（副代表幹事 清澤通俊）	4
4-2	保育に始まり“豊かな生き物を育む森づくり”に取り組んだ 20 年 （副代表幹事 大窪健一）	4
5	活動の歩み I	
5-1	2012 年度～2021 年度 この 10 年の出来事	5
5-2	札幌市都市環境林 (1) 澄川 (2) 有明第二	25
5-3	野幌森林公園 (1) 国有林 (2) 道有林	29
5-4	支笏湖周辺国有林 (1) 復興の森（協会独自） (2) コンサ百年の森 (3) 北海道新聞「ぶんぶんの森」 (4) 北海道 CGC「水明郷の森」 (5) 北海道 CGC「烏柵舞の森」	31
5-5	オイスカ支援	36
6	活動の歩み II（啓発・教育支援）	
6-1	親子森林教室の開設と歩み	37
6-2	教育支援 (1) 各種の教育支援活動 (2) 澄川南小学校の総合学習支援	
6-3	研修セミナー	
6-4	研修旅行	
6-5	東日本大震災現地訪問	
7	資料編	54
7-1	活動年表（作業記録 2012 年 4 月 1 日より）	
7-2	総活動経過	
7-3	会員名簿、研修旅行一覧表、セミナー実績一覧表	
7-4	活動マップ (1) 札幌市都市環境林、野幌森林公園 (2) 国有林支笏湖周辺	
7-5	寄付・賛助会員名簿、助成団体・企業名簿 各種受賞歴、協会の概要	
	編集後記	

1 創起20年、これから新しい第一歩

北海道森林ボランティア協会
理事長 横山 清

当協会は 21 世紀の幕開き早々の 2002 年の 6 月に呱呱の声をあげました。

発案者の札幌市民生協の理事長であった河村征治氏ほか、北大恵迪寮で同じ釜の飯を食った仲間もいたこともあって私もメンバーの一員となり、今日まで結成以来皆様と満 20 年の記念すべき日を迎えるに至りました。誠に感無量であります。

バブル崩壊の余波が続き「失われた〇〇年」と自虐的な言葉が溢れる中で、地味で気の遠くなるような時間と労力、費用を要する「森林を守り育てる」ことは先の見えない継続性が危ぶまれる事業であります。しかし「事業は人なり」の諺どおり、学者先生も含めて森林活動のスペシャリストに加え、自然環境に深い関心と社会奉仕に熱意を持つ同志の参加によって森林ボランティアの名称の通り「植樹・育林活動」「生態系保全活動」更に「環境教育活動」の三分野に於いて着実に全国的にもハイレベルの成果をあげていることはご承知の通りであります。

その証左として人目につかない評価の難しい活動でありながら、生物多様性を持った森づくりや、地域美化活動の成果、緑の都市づくりなどの実績が高く評価され、農林水産大臣賞、さっぽろ環境賞、市長賞、内閣総理大臣賞など数々の褒賞を頂いております。

森ボラ会員の活動に心から感謝し、今後の活躍に期待いたします。

2015 年 9 月に国連総会で SDGs（持続可能な開発目標）が採用されてから、政府、自治体、企業や、非営利団体、大学などでも多彩な取り組みがなされています。

この中でも「森林や生態系を気候変動から守る」ことは、重要視されています。『地球温暖化は知っているが、何をすればよいのか』という人達（企業）にも是非、森林ボランティアに参加していただくように努力します。

20 年前に植えた木が気候変動を緩和する森林になるには、まだ数十年、もしくは 100 年以上の歳月を要します。「森ボラ百年の計」を再確認して地球環境改善の新しい一歩を踏み出しましょう。

2 北海道の原風景

専務理事 酒井和彦

森ボラ 20 周年は支援者の方々と会員とそこご家族の皆さんの汗の結晶です。おめでとうございます。

さて北海道の原風景とはそれぞれの人の心の中にあるものだと思いますが私にとっては現実の風景でしかも森ボラのお陰で再会することが出来ました。60 年前現在そして 60 年先の想像…私的な話ですがお聞きください。

私は学生の頃留年したため北母子里の演習林で二夏過ごしました。この針広混じった森が私にとっての北海道の原風景です。馬搬と試作の小型トラクタ集材どちらが早くて安上りか比較するためでした。私の故郷の家には農耕馬がいて心の中では馬を応援していました。その後中米で牛搬も経験しましたがどちらも森にやさしく林地を傷めない利点をどう評価するかだと思います。バイオマス発電と原発の比較評価に似ていると思います。

2016 年秋に森ボラでこの雨龍研究林を見学に行くことになりました。特に見たいものがありますかとの事で是非天然林地区を見学させてくれるように幹事に頼み実現しました。約 60 年ぶりに見せていただいたこの奥山の風景が私の北海道の原風景です。写真は私の涙で少しぼやけていますが針葉樹広葉樹どちらも負けていない美しい混雑林です。十勝三俣や層雲峡奥・知床・定山溪奥いずれも美しい森ですが、現役のころキクイムシだった者が云うのも変ですが、人手が入ってしまいました。

研究林での楽しい会食の時に隣の吉田先生に「昔私が卒論でお世話になった時にここには宮下さんと言う人がいて同じ苗字の宮下さんという女性と結婚しました」と話したら先生は調べてくださりそのお子さんは今幌加内の農協に勤務されているとのことでした。

私の記憶の中の北母子里は地名ではなく駅名でしたがもはや名寄からの鉄道も駅舎もなくなっていました。恐らく演習林入植部落やお世話になった苗畑の添牛内の村落もなくなっていると思い聞くこともできませんでした。この美しい原生林だけが変わらずに残っていました。会津の自分の田舎の生家ももはやなくなりました。まさに「国破れて山河あり」だと感じました。日本の中山間地農業は国際競争に敗れたのだと思いました。60 年ぶりに訪れた私の心の中の北海道の原風景の隣には悲しい現実がありました。

これは寂しいことですが良い面もあることを先日国連のニュースで知りました。北欧スウェーデンは過疎化で森林面積が増えたそうです。森林率は日本を超えて先進国の中で 2 番になったそうです。道路網が発達して田舎に住む人が減ったためだそうです。まもなく日本も過疎化がさらに進み休耕田には木が生えて森林率の数字が増える事と空想します。都会で快適な生活をしながら車で通って森林の管理をするとかボランティアをすることになると空想しています。



3 「森ボラは永遠に！」

代表幹事 櫃 棒 典 夫

NPO 北海道森林ボランティア協会の設立 20 周年おめでとうございます。

私は 2019 年度から酒井さんの後を引き継ぎ代表幹事になり、会員、幹事の皆様と一緒に森ボラ活動を行っています。これまでの多くの先輩から教えていただいた森を思う心、活動の心構え、森林整備の技術などを次の世代に引継いで行こうと思いつながりながら活動に参加しています。『明るく、楽しく、健康に』をモットーに日々の活動に汗を流し、無い知識を絞りながら報告書や助成金申請に頭を悩ましています。

さて、私は北海道の東、釧路市阿寒町の小さな市街地で生まれ、18 歳まで過ごしました。思い起こせばフクジュソウ・スズラン取り、クワ・コクワ・山ぶどう取り、川ではウグイ・ヤマベ釣り、そして山では地拵え・カラマツ植樹のアルバイト、フキ・ウドの山菜取りと四季に応じて自然とかかわってきたように思います。街を囲む山々を見ると針葉樹に広葉樹が混在した四季折々の姿を見せる中で育ちました。これらの原風景が私を森ボラ活動に参加する、頭の奥の方からの指令となっています。

今後 10 年先の森ボラ活動はどのようなものになるのでしょうか。

今までの植樹、草刈り、整理伐などの育林活動や水質調査、標準木調査、標準地調査などの生態系保全活動そして澄川南小学校総合学習支援、親子森林教室開催のなどの環境教育活動はこれからも継続されていくでしょう。

地球温暖化、脱炭素、SDGs、超高齢化社会など、否応なしに突きつかれた課題に対して個々人では対応しかねますが、会員皆様と一緒に考え、行動する集団として着実に一步一步進んでいきたいと考えます。

『森ボラは永遠に！』 (株)北海道シジシー・(株)アークスを初めとする賛助会員、都市緑化機構・北海道森と緑の会・こどもゆめ基金などの助成団体、札幌市有林・道有林・国有林を提供していただいている関係者の皆様には本当にお世話になりありがとうございます。今後も皆様のお力を借りながら活動を進めていきますのでよろしく申し上げます。

4-1 子どもたちの心にも木を植えつつきたい

副代表幹事 清澤 通俊

地球環境が壊れていくのを座視できないと立ち上がり、木を伐り、木を植え、下草を刈って森ボラが20年を迎えたことはとても凄いことだと思います。市民の森に入り、ある時は支笏湖の原生林に立ち、地道にその活動を続けてきた先輩諸氏に敬意を表します。

やがて森ボラはこの活動を地域に広げていかなければならないと、各種学校に働き掛けて環境教育を始めました。今では、澄川環境林を利用する澄南小の総合学習支援は通年で行われており、自前で常設した親子森林教室も6年が経ちました。この間に、森を守る大切さを呼び掛けた子どもたちは数えきれません。

森に来るわれわれの多くが、初めは仕事を終え持て余している身体を森で動かしたい、そして少しは地球環境に良いことをしたい、という願望からだと思います。しかし、環境教育に取り組むことは、森で木を伐り、木を植えることと同様に重要な事だと考えるようになりました。むしろ森を守る活動を点から面に広げていくためには大切な事だと気付いたのです。

これからも森ボラは、森に植えるように子どもたちの心にも木を植えつつつけていきたい。そして、その子どもたちがやがて多くの人たちに森ボラの心を広げて行ってくれることを願っています。

4-2 保育に始まり“豊かな生き物が育む森づくり”に取り組んだ20年

副代表幹事 大窪 健一

皆様の協力の元、無事20周年を迎えることが出来ました。私は東日本大震災の月に入会しました。振り返れば11年が経ち最初の5年間は一番の若手でしたが体力は先輩会員の方に劣り森の仕組みについても未だ勉強中です。

澄川の森は薪炭林の放置林で2002年から地拵え、植樹、下草刈り、倒木傾斜木処理、株立ち木の整理や獣害防止策などを行い、支笏湖周辺活動地は2004年の台風被害地での植樹、下草刈りを行ってきましたが土壌がやせて広葉樹の生育が悪く、現在も補植と下草刈りは継続中です。

近年は地球温暖化傾向にあり森の重要性を伝えるために親子森林教室や近隣小学校の総合学習支援、企業のCSR活動支援などを行い未来に豊かな森を残す社会貢献活動を行っています。

今後、澄川の森は新たな北地区の整備と旧地区はふた回り目の整備に入り、札幌市と都市環境林の利活用についても協議を行い、市民が活用できる森を目指します。また、協会員の高齢化に伴い新規会員の勧誘も重要と考えます。

最後に20年もの間続けて来られたのは、関係者の方々の協力の賜物だと思います。今後共宜しくお願い致します。

5 活動の歩み I

5-1 2012 年度～ 2021 年度 この 10 年の出来事

この 10 年間の我々の身近な世の動きを振り返ってみますと、2012 年 10 月に「10 周年記念式典」を実施しましたが、前年の 2011 年 3 月には「東日本大震災」が発生し、この地震で発生した未曾有の津波により北海道から千葉県に至る太平洋沿岸に大きな被害をもたらしました。この影響は発生から 11 年を経た 2022 年春になっても完全に復興の状況には至っていません。また、2018 年 9 月 6 日未明には胆振の厚真町を震源とする大きな地震により、北海道全体が停電するという「ブラックアウト」が発生、厚真町では山崩れ等により多くの犠牲者も出ました。そして、2020 年初頭からは世界的に広がった新型コロナウイルスによるパンデミックは 2 年半を過ぎた今日でもまだ終息の見込みが得られていません。我々の日々の活動にも大きな影響をもたらしています。

このような中でも森林ボランティア協会としては、その都度慎重な対応をし、活動を進めてきました。2002 年 6 月に「森ボラ通信」1 号を発行してから 2022 年 3 月の 238 号まで一度も休むことなく活動を続けてきました。この 10 年間の「ボラ通」から活動を振り返ってみます。

中には全文を掲載できないものもありますので途中で省略した記事もあります（以下省略と記してあります）。興味のある方は当協会ホームページにてご覧下さい。これからも森ボラは、森に植えるように子どもたちの心にも木を植えつけていきたい。そして、その子どもたちがやがて多くの人たちに森ボラの心を伝えて行ってくれることを願っています。

= 2012 年度 =

◆ 第 7 回「道新ぶんぶんの森」植樹会

(2012 年 5 月 ボラ通 120 号より)

北海道新聞社による支笏湖国有林（1355 林班）で植樹祭が開催されました。上は 80 歳台のご夫婦や次の世代を担う幼稚園児を含む 70 名のボランティアの皆さんが参加しました。冬に戻ったような天気の中での植樹祭でしたが、毎回恒例となっている植栽指導は当会員の棟方さんが担当。風の強い日の植栽の注意点としては根が乾き易いので十分に注意する事。穴に埋める時には苗を取り出してすばやく土に戻すことが大切であると何度も強調していました。

それぞれの 7 班には今回参加した 9 名の黄色ヘルメットの協会会員が補佐役として付き、650 本のトドマツは 1 時間足らずで植樹を完了しました。2 度目の参加者も見られ手馴れた様子で手早く苗を植えていましたが、



初めての小学生は慣れない手つきでお父さんと一緒に教えられた事を思い出しながら一生懸命でした。この子達には大きく育った木を見にきて貰いたいと願うところです。

午後には一部植残し部分に140本のドドマツを追加植栽して春の植樹祭は終わりましたが、今回の色々な面でご指導頂きました道新経営企画局の橋詰部長様に感謝申し上げます。



◆ 今年も「森は海の恋人植樹祭」に参加

(2012年6月 ボラ通121号より)

今年も昨年に引き続き「森は海の恋人植樹祭」に参加してきました。今回は津金さん、大窪さんと荻田の3名で参加、昨年3月11日の東日本大震災から約1年3カ月、今回は苦小牧～仙台のフェリーを利用して昨年とはまた異なる被災エリアの状況や海岸林の様子、海岸林復興への歩みについても見る事が出来ました。その概要を報告します。

仙台港から石巻、女川、雄勝、南三陸町（志津川）を経て気仙沼まで北上しましたが、これらの町の中心部の平地はことごとく津波に吞まれ、未だ次にどの様な街づくりをしていくのかも難しい状況にあるようです。途中、志津川湾に面した津の宮漁港の国道沿いの仮設店舗の食堂で昼食を摂ったのですが、丁度この店で食事をしていた漁協組合長をされている方達と話すことができました。その方達の話では、この国道まで津波が来るとは多くの人が思っていなかったこと、でもこの集落では多くの犠牲者は出なかったがこの先（南三陸町志津川）では多くの犠牲者が出たとのこと。私達も南三陸町の防災センターで手を合わせてきました。

6月3日（日）に一関市室根町矢越山で行われた植樹祭には約1,300名以上の人々が北は旭川（昨年までは私が一番北からの参加者でしたが）から南は沖縄からの参加もあり、ますます参加者の層が広がってきました、特に今年は宮崎水産高校の30数名等団体での参加者が多かったように感じました。

この日の植栽は1,500本の広葉樹（ポット苗）ということで、参加者一人当たり1本強ということで、我々も3名で4本の苗木を植えてきました。昨年植えた箇所も見てきましたが草刈りだけを行って植栽していますので、あまり枯れたりした苗は見当たりませんでした。（以下省略）



◆ 真夏の納涼会

(2012年8月 ボラ通123号より)

今年も大通りビールガーデンで15:30頃から14名の方が参加されて開催されました。

大通りに着いた頃には既に半分以上の席が埋まり短い札幌の夏を楽しんでいました。

今回はキリンビールさんより今年新発売された一番搾りフローズン〈生〉のクーポン券を多数頂きましたがあっという間に飲み干して当協会員の凄さを再認識しました。

フローズン〈生〉は凍らせた泡で蓋をして30分は融けないと言う代物、皆さん初めてなので2～3杯飲んだ位では評価は難しいみたい。

酔いも少し廻ってきたがまだまだ飲み足らずタワー型の容器でビールを追加、追加さらに追加、“よくのむわ”。話も尽きる頃、腰をあげだして解散となるころには薄暗くなっていました。

冬の忘年会もいいですが夏のビールガーデンもなかなか良いものですね！



◆ 創立10周年記念行事開催される

(2012年10月 ボラ通125号より)

去る10月7日(日)に当協会の創立10周年記念行事が南区の札幌市澄川都市環境林において、会員、家族、賛助会員、友好団体、公共団体などから約80名の参加を得て晴天の秋空の下で開催された。当日朝早くからテント・イス設営、受付準備、展示パネル設置、地下鉄・駐車場送迎などの準備を行い、西野澄子さん、杉本則子さん作成のリーフを飾りつけ、高野さん揮毫の看板の設置を行い午前10時からお客様を迎えました。早速3グループに分かれて43haの林内を散策し、色づき始めた広葉樹の色・空気を感じ、キノコ・コクワ採取を楽しみ、一人一人がエゾヤマザクラ、



ミズナラなどの植樹を行いました。その後式典に移り当協会の横山清理事長の主催者挨拶、来賓を代表して（公社）北海道森と緑の会理事長・堀達也様代理、札幌市環境局みどりの推進部・長谷川正彦様から祝辞をいただきました。

また、参加者全員によるハルニレ（H = 4.0m）の記念植樹が厳かに行われ記念撮影。キノコご飯がついたお弁当を皆で食べてからの技術交流会では高枝鋸・チルホール・枝条粉碎機などの実演、製材機・薪割り機・炭化炉の展示を興味深く見学していました。お帰りの際には記念品、記念誌のほか会員手作りの乾燥しいたけ、ナラ炭、木工品などのお土産を手にして笑顔で帰られました。

= 2013 年度 =

◆ 九大演習林研修旅行に参加して「森のことは森に聞け」

（2013 年 11 月 ボラ通 138 号より）

去年は十周年記念行事で見送られた研修旅行、今年は 19 名のサムライが参加して 10 月 2、3、4 日にわたりオンネトー、足寄、十勝三股、層雲峡などをまわってきました。

1 日目は朝 8 時 JR 札幌駅愛の鐘広場に集合、会費を払い専用バスに乗り山又山の山岳高速を走りぬけ、松山千春を看板とした道の駅足寄銀河ホール 21 に到着。各自昼食。午後は麓で有名な螺湾と言う酪農地帯を過ぎ砂利道の行き止まりが湯の滝駐車場。ここから 1.4km のエゾ松の巨木を中心とした曲がりくねった散策路、きのこを探しつつ滝に到着。お湯は岩を伝って流れ落ち滝つぼでは悪名高いテラピアが歓迎してくれました。ここは細菌により酸化マンガンを自然生成される世界でも貴重な所です。（途中省略）

2 日目は研修メーンの足寄町にある九州大学農学部附属北海道演習林見学です。

ここでは 1972 年からミズナラ 150 年計画という気の長い研究実験が行われていました。細胞式舌状皆伐作業法と名づけ毎年 1 区画ずつドングリの種を播き 150 年を経て材にするもので間伐機能は自然淘汰にまかせるそうです。木材は成長期間がそのまま利用可能期間です。200 年かけて育った木は 200 年間使えるのです。（途中省略）



3 日目は足寄を出て上士幌から国道 273 号線を北上し、旧士幌線の橋梁遺産を眺め東大雪博物館をのぞき糠平ダムを過ぎイタヤカエデの実を拾い十勝三股で当時をしのび太古の原生林をくぐり 1,139m の三国峠を下ると石狩川の源流です。柱状節理の層雲峡を抜け上川町で昼食。ここから高速道路に入り居眠りしているうちに札幌に到着。天気にも恵まれ楽しかった研修旅行も無事に終わりました。

◆ 「ナメコがたくさん採れました」

(2013年11月 ボラ通138号より)

昨年春にはシイタケが大量に発生して、秋の10周年の頃にはボリボリがたくさん採れました。今年はシイタケの春子は全く発生を見ず、秋のボリボリもほとんど採れませんでした。

しかし10月18日澄川にはキノコの期待もあり19名が活動に参加してついにナメコがたくさん採れました。クリタケも発生してムキタケもたくさん採れました。

話は別ですが昨年あれだけ拾えたミズナラのドングリも今年は全く不作です。森の恵みは気まぐれでもあります。



= 2014年度 =

◆ 斎藤リンゴ園支援活動開始

(2014年4月 ボラ通143号より)

今年度最初のリンゴ園のお手伝いは4月11日6名が参加しました。まだ雪の深い時期に園主の斎藤さんご夫婦が剪定をした枝木をチップパーで細かく処理する作業ですが、剪定された枝はきちんと3か所に集められていましたので集材作業が省け午前中に作業は終了しました。4月から11月の8か月間の期間、約130本のリンゴの木のお世話活動を行います。5月の摘花、7月の摘果、8月の葉もぎ、袋はぎ、そして9月位から収穫と進んでいきます。昨年の作業参加回数は40回、参加人数は207名でしたが年間を通して



参加した会員の皆さんが殆どで、収穫までの喜びやご苦勞を味わったと思います。今年もご高齢にも関わらずお元気で頑張っている斎藤さんご指導のもとで丹精込めたリンゴ作りに参加し、この秋に有機栽培にこだわって作られた斎藤リンゴ園のリンゴを楽しみにしている皆さんに届けられる事を祈っています。

◆ 炭焼きとホタル観賞会 2014

(2014年9月 ボラ通148号より)

昨年はシラカバを試しに焼いてみましたが結果は予想通り散々な物となりました。今年は例年通りナラ、カエデを仕込みました。

8:20 着火し、上に載せた焚き付けにまんべんなく燃え移ったのを見計らって蓋を密封しました。

炭材からの水蒸気が4本の煙突からまんべんなく出て順調な滑り出しが感じられ、以降は一時間おきに煙突のローテーションを行い水蒸気が勢いよく出ているのを確認し18:00前には煙突からゴーゴーと言う音になり青白い煙に代わった為、窯を密閉して炭焼作業を終えました。

例年より早く終える事が出来た為、見届けた全員が最高の出来を期待して夕食の湯澤さん流ジンギスカンを堪能しました。

又、ホタル鑑賞は当日(30日)夜に行い高野さんとお孫さん2人、佐野さんとお友達1人、それと当直の者3人で上流橋とキャリコ橋付近で行い、数は前年並みでしたが発光が弱く元気がないように思われました。(以下省略)



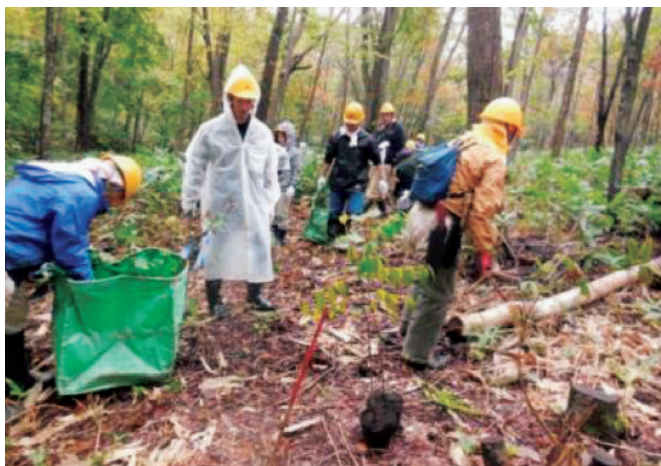
◆ ローソンの皆さんの森林保全活動

(2014年10月 ボラ通149号より)

10月4日(土) 緑推“緑の募金公募事業の一環”として第三回目の森に親しむ野外学習が開催されました、天候は台風の影響で不安定な状態の中、ローソンからは小学生3名を含む21人、札幌市町づくり局から2名、そして協会から11名が参加しました。

朝礼は酒井さんの挨拶に始まり、ローソン北海道神宮前ストアコンサルタント高島様、札幌市からは市民活動課課長安岡様のご挨拶のあと、恒例のラジオ体操で体をほぐしホタル橋の東側 A-1

に澄川で養生したポット苗60鉢(クロエゾマツ、イヌエンジュ、ヤチダモ、アオダモ、ハンノキ、ナナカマド)を窪地となっている刈り込んだササ地に植えました。慣れた手つきでの作業でもササ地の穴掘りは大変の様でした。そのあとローソンさんの第4期事業助成となっているニセアカシア調整間伐地区(Eゾーン)を見て頂きました。(以下省略)



= 2015 年度 =

◆ オイスカ・ユネスコ植樹祭の報告

(2015 年 10 月 ボラ通 161 号より)

10 月 10 日 (土) 秋晴れの中、6 歳の子から上は云歳のお年寄までボランティアの皆さん 63 名が集まり支笏湖 CGC 烏柵舞の森で秋の植樹祭を行いました。

会員の棟方さんから植栽指導を受けた後、協会員の先導のもと 6 班のグループはクワ、スコップ、苗木袋を持って割り当ての植栽列に行き予め準備していたアカエゾマツ 711 本を植栽しました。

汗をかきながら一生懸命の作業は 1 時間ほどで終了しました。子ども達には、いずれこの森を訪れて自分達が植えた苗木の生長に誇りを持って貰いたいと願っています。

今回はオイスカ北海道支部、札幌ユネスコ協会の皆さんそして前日にマーキング等の準備で奔走した 16 名の協会員の皆さんに感謝致します。今年度の CGC の森の植栽活動は無事終える事が出来ました。多岐に渡りご指導頂きました“みどりところの基金”谷口事務局長に感謝申し上げます。



◆ 道民の森づくりに参加して

(2015 年 11 月 ボラ通 162 号より)

10 月 18 日 (日) 道民森づくりネットワークの集いは今年から場所を野幌森林公園開拓の村に移し参加団体は 32 を数え日頃の活動を披露しました。場所柄森が好きとか、家族で散歩を楽しむ人が多く見られ秋晴れの日を楽しんでいました。

我が協会の今年のキャッチフレーズは“森の変化を観察し、森を育てる色々な体験をしよう”と銘打って参加しました。クラフトの展示と作成、のこぎり切り体験、コースター作り、火起こし体験、ドングリ、クリのポット苗の配布とバリエーションを持たせた事で子どもから大人まで大勢の来客で賑わいました。この催しを通して来年 4 月からの親子森林教室の架け橋となることを願っています。



◆ 澄川南小学校 3 年生自然観察会～炭焼き体験

(2016 年 1 月ボラ通 164 号より)

12 月 8 日（火）澄川南小学校 3 年生の第 4 回自然観察会（炭焼き体験）が澄川環境林で行われました。天気が悪く延び延びになっていましたが、青く澄みわたった晴天のもと、3 名の先生に引率された 48 名の児童が、前日付けられた雪道を辿り、小屋の前に作られた 3ヶ所の焚火の前に集まりました。

通常、炭焼きは 2 日がかかりますが、今回はより簡単、短時間で行える化粧炭（花炭）作りへの挑戦でした。まず各人が持ってきた缶の蓋にガス抜き用の穴を 2～3 か所開けることから始まりました。たき火への出し入れは火傷の心配があるので協会員（3×3 名）の指導・実演で、松かさなどを詰めた缶を赤々と燃えた熾火の上に置き、穴から煙が出なくなるまで焼いて出来上がりです。

雪で十分に冷やし、恐る恐る蓋を開けると見事に化粧炭が。また紙やティッシュ等の薄いものでも灰にならず炭になることを知るなど驚きの連続で約 1 時間、十分に堪能したことと思います。大事に持ち帰られた化粧炭は、子供たちの話に花を咲かせたことでしょう。



= 2016 年度 =

◆ ニホンザリガニの棲む森

(2016 年 7 月 ボラ通 170 号より)

ここ澄川都市環境林にニホンザリガニが棲んでいる情報は聞いていましたが発見できませんでした。そして7月4日友好団体である真駒内緑の回廊基金の新田事務局長のご協力で見つかりました。

札幌市のレッドリスト 2016 によると淡水水生動物絶滅危惧Ⅱ類 (VU) で、4 年子くらいだそうです。この森が豊かな森であることがまた一つ証明された気がします。14 年間続けて来ている二次林の受光間伐・水路に入らないための木道橋 4 箇所・水路保全として幅 30m 河畔林に入らない内規 (特例地のホダ場を除く) アライグマ対策・外来種ニセアカシア駆除・ごみ拾いなどの活動の結果の証明書のような気がします。

なお、ほかに私がこの森で見つけている危惧種は、同定は不確かですがエゾサンショウウオ (7 月 9 日乾いた高台でも見ました)、カワヤツメ、ヤマシャクヤク、エゾタンポポです。



◆ 北海道大学雨龍研究林見学記

(2016 年 10 月 ボラ通 173 号より)

10 月 4・5 日研修旅行で北大雨龍研究林を協会員 22 名で訪問しました。吉田林長から配布資料にもとづき、雨龍研究林の立地、歴史、森林の特徴、活動について概要説明を受けましたので報告します。天然生針広混交林：森林と、そこで行われている各種のモニタリングについて見学。フェノロジー観察を行っているミズナラについて 1995 年から計測している調査が、温暖化の影響評価等に役立っていると説明された。関連する調査項目として、トラップを設けての種子落下調査、野ネズミ捕獲調査、地表棲甲虫調査、鳥類調査等について説明され、特にミズナラ堅果数がネズミ個体数に影響があるとのこ



と、森林内のそのような多様な関係性を明らかにすることが目標であると話された。

泥川流域・アカエゾマツ湿地林：平坦な地形の箇所には、川沿いに畦畔性の広葉樹林、少し離れた箇所にアカエゾマツ林が分布していて、北海道の原風景を体感することが出来た。泥炭が2.5m程度堆積しているため樹木の生長が悪く胸高直径10cmのアカエゾマツで樹齢50年に達し、最大樹齢が700年に達すること、樹木の世代交代は倒木や立木周辺の隆起部に限られている。ミズナラ樹幹冠下掻き起こし地：ササ地を成林化されるための掻き起こし作業は重機を用いてササと表土を取り除く作業である。(以下省略)



◆ “道民森づくりネットワークの集い2016” の参加報告

(2016年10月 ボラ通173号より)

9月22日(木) 森づくりフェスタ2016年の一環として野幌森林公園開拓の村で開催されました。34の団体が参加し、日頃の森づくりと森と触れ合う環境づくりの成果は来場者たちの目を引いていました。



我が協会は4つのテーマを設け間伐材や森にある材料を利用してのクラフト教室。シナノキでノコ切体験をしてもらいコースターの製作。縄文時代にさかのぼり火起こし体験。化粧炭作りと子どもから大人まで楽しんで貰える参加型の出展で多くの家族連れで賑わいました。

クラフト部門では間伐材で作った材料を活用して森から集めた枝、種、実等でデザインしながら思い思いのクラフトを作りのお手伝いをしました。

フクロウとHFVA(Hokkaido Forest Volunteer Association)をモチーフにした焼き印を押したコースターやマツボックリやクリのいがを焼いた化粧炭は子供たちにとって大切なお土産となりました。火起こし体験では子どもが出来ないと大人が夢中になって汗をかき、そのお手伝いに会員も参戦しての挑戦は滑稽でもあり大昔の人の火起こしの大変さを感じてくれたでしょう！！



◆ 澄川南小学校 4 年生カンジキ作りに挑戦

(2017 年 2 月 ボラ通 177 号より)



秋に採取したコクワの成型

2月7日（火）澄川南小学校4年生49名が視聴覚教室でカンジキ作りに挑戦しました。6班には2足分のカンジキの材料や道具が配られ、酒井さんから材料のコクワの蔓の採取に始まり作成手順をPPT.の説明に沿って作業を開始しました。各班には協会のおじさん2名がお手伝い役として、またビスを打つ係り、ビスを研磨する係りに別れた16名は子ども達の作業を見守りながら進められました。このような作業は初めての経験の子ども達が殆どでしたが、もうすぐ5年生ともなるとごちなさ影を潜め一人前の手付きでノコヤ仮止めそして5mの紐結びに一生懸命でした。出来上がったカンジキは2月13日に昨年子どもたちが選んだマイツリーの観察会の時に履いて雪原を歩きます。

= 2017 年度 =

◆ 豊平川現地セミナーに参加して

(2017 年 7 月 ボラ通 182 号より)

5月13日午後16名の参加で地質学者宮坂氏による豊平川巡検セミナーがありました。新善光寺に集合し簡単に明治初期からの豊平川の歴史を学び創成川の出発点を皮切りに、南7条橋から豊平橋を望み河原に下りて広い普段なじみの薄い河川敷を歩き、上流の南19条橋まで強風の中増水した川音を聞きながら歩きました。

この川は大正2年と昭和56年に記録的な豪雨があり人的被害と共に川自体も大きな変貌を見せました。川は水量や速さの変化により中州が出来たり蛇行して川筋が変わったり河畔林が形成されたり池が出来たりします。



聞きなれない専門用語の河川争奪やインブリケーションが起こり礫の大小による砂州の構造の説明もありました。河畔林の樹齢により砂州の年代も分かります。

南 19 条橋近くに鴨々川の取水口がありました。この川は護国神社、中島公園薄野を抜け創成川となり伏古川に合流して石狩川に入ることを知りました。このセミナーで川の特質を知り川との付き合い方が拡大したのが収穫でした。



◆ 北海道新聞社 “ふんぶんの森” 下草刈り

(2017 年 9 月 ボラ通 184 号より)

7 月 20 日、21 日に会員 17 名が参加して 7.05ha の下草刈りを行って来ました。平成 21 年から 24 年の 4 年間で 8 回の植樹祭で植えた 5,045 本のトドマツ列に実生したカラマツが当たり一面に繁茂し、植栽したトドマツを凌駕している状況です。

繁茂したカラマツは植栽列の両端で大きく育っています。この原因は地拵え時に剥いだ表土を両脇に寄せた事で、栄養価の高い腐葉土も押しつけた事が原因と考えられます。刈払機での下草刈りは密集したカラマツ（1m 以上に生長したカラマツと現在も実生しているカラマツ）を残しながらの作業は神経を使いましたが、列の両サイドを中心に刈り終えました。手刈り班はツボ刈り作業でしたが、繁茂したカラマツには手を焼いていた様です。



今回で下刈り等の育林管理は終わりますが、今後はこの繁茂したカラマツを残しながら植栽したトドマツとの共生にどの様に関わっていくか北海道新聞社ならびに胆振東部森林管理署とも協議して進めて行く必要性を感じました。今回、北海道新聞社企画室・中村氏が現地に来られ林内状況の視察と鎌で繁茂した下草刈りに汗を流しておられました。又この特異的な状況を理解して下さった事は今後の施業の在り方にご尽力して頂ける事を願っております。

◆ 澄川環境林で初めての観察会

(2017年10月 ボラ通185号より)



8月21日、澄川の森で初めて森の観察会を行いました。2002年から澄川都市環境林へ保護・育成のための作業で入林が始まり、15年間の作業の成果としてとても素晴らしい森になりつつあります。

作業だけで終える日々は、木に葉が付いている時はまだ何か名前が解っても、冬に葉が落ちてしまうともう解らない。新芽を出し花が咲いても気が付かない。

緑が濃くなり…紅葉になってアツと思
い！！

実を見ようとしてももう落ちてしまっていない。

毎月澄川で6回～8回位の作業日の中で、たまに自然の恵みの恩恵がある位で季節の移り変わりとか、木々の変化を見て来なかったなあ。

余裕を持ってこの森をもう少し知り、楽しみたい…

そんな思いが一回目の観察会に繋がりました。作業のお蔭で森の中は明るくなりました。春のエゾエンゴクサ、エンレイソウ等の小さな花たちが咲いてくれる森になればもっと楽しく観察会が出来ると思います。

= 2018年度 =

◆ 澄川都市環境林でマイツリーを見つけるぞ

(2018年6月 ボラ通193号より)

6月4日澄川南小学校3年生71名がマイツリーを見つけるために訪問してくれました。皆を待って歓迎してくれたのは、オオミズアオ（蛾の一種）の羽化でした。皆は目を丸くしての観察に森の神秘を感じてくれたかな…。

この日は暑く体調不良を心配しましたが、皆元気よく散策路を歩きマイツリーの場所では16のグループに分かれて思い思いの木を見つけ出すのに汗をかきながらの活動でした。

前もって協会員がこの森に代表される推薦木16本にナンバリングをしておきましたので、生徒たちにとってマイツリー選定の手助けになったと思います。しかし多くの子



ども達は高い処の葉っぱを観察するよりも地べたの花や草そして小さく芽を出した稚樹に関心を寄せワイワイ・ガヤガヤ。野外教室の醍醐味でしょうか…。(以下省略)

◆ 森林ボランティアを体験して

(2018年12月ボラ通199号より)

11月25日『土日森林ボランティアしませんか!』の呼びかけに、北海道科学大学生4名が参加し、代表の原田さんが感想を寄せてくれました。

今回、森林ボランティアに参加して、階段作りや薪割りを体験しました。階段作りでは、急斜面で危険な場所に木の階段を作りました。階段を作ることで小学生など森に来る方々が安全に森を歩くことができるようになりました。人のために活動することができ、とても良い経験になりました。そして昼食後には、木や森についてお話をいただきました。

木は葉だけが呼吸をしているのではなく、幹でも呼吸をしていること、森林が環境にどのように影響しているのかを学びました。薪割りは初めての体験で、鉋や機械で薪を割りました。普段の生活で出来ないようなことを初めて体験でき、とても良い経験になりました。

(文・北海道科学大学 保健医療学部 理学療法学科3年 原田 柊野)



完成した階段の前で

◆ 四季折々に姿を変える、森に魅せられて

(2019年2月ボラ通201号より)

この春で、入会していつの間にか丸4年が経過します。私の趣味の一つは写真撮影ですが、被写体は昔から“自然”が対象です。山、海、森、空、太陽、月…の日々移り行く姿を収めています。森ボラ入会の動機も、森の四季、そこで展開される木々や花々の物語を、身に感じながら、旬のショットを撮りたいと思ったからでもあります。無論ボラン



ティア活動には以前から興味があり、その活動が自分の好きな自然が相手である事に、参加する度に喜びを感じています。

今回は撮り溜めた中から、四季の森の姿を写真でご披露させていただきます。春の森はヴィヴァルディの四季「春」の弾ける様なメロディが聴こえて来る様でウキウキします。迸る小川のせせらぎ！ 夏の森は、隅々まで射し込む陽の光に躍動する季節です。木々の葉は緑を深くして、大小の



動物、昆虫たちが活発に動き回ります。北国の夏は短く、9月に入ると高地の山々から紅葉の便りが届き、澄川の森の木々も日ごとに色付きを増します。そして冬！ 冬の森も魅力がいっぱいです。地表を覆う雪が、汚れなき純白の世界の舞台を用意して、晴れた日にはそこに写し出される木々の影。斜めから木々の間を縫う様に射し込む日の光、澄み渡る青空は、寒さを忘れる程に魅力的です。

= 2019 年度 =

◆ 西野第二都市環境林の活動再開

(2019年6月 ボラ通 205号より)

2004.9.8の大型台風の通過で西野環境林もニセアカシアやトド松の大木が倒れ、森の姿が一変しました。その後誕生間もない森ボラがニセアカ駆除を中心とする林内整理活動に入り、その苦労話を先輩から聞かされてきました。前回の活動から7年が過ぎ、このたび再度当地の状況把握を行うことになりました。



6月6日、ハルゼミの鳴く新緑と初夏の空の下で11名が参加して平和の滝に集合。朝礼後現地入りして午前中は地図を頼りに足場の悪い笹藪、切り株、岩、湿地の中を歩きまわり境界石を探しその輪郭をつかみました。

午後はテニスコートの芝生でランチを済ませ、林内整理です。手鋸を使い枯れ木、下枝、奇形、未熟木などを処理し林内の化粧直しです。まだ虫が出なくて助かりました。ここの広葉樹林は平均10mくらいの高さでニレの仲間、カエデの仲間、ミズナラ、シナ、クリ、ハンノキ、シラカンバなど多くの樹種が繁茂し、いかにも若々しい育ち盛りの森という感じがしました。(以下省略)

◆ 研修旅行（北大中川研究林）に参加して

（2019年10月 ボラ通 209号より）

皆さんこんにちは。9月25～27日に研修旅行に参加したので報告します。

順調にバスは進み、ほぼ定刻に音威子府に到着。昼食後、北大音威子府庁舎到着。技術スタッフの伊藤悠也さんがテキパキと仕切ってくれました。

中川研究林の概要を林長（リンチョウ）である野村助教から説明を受ける。札幌農学校時代は一帯の演習林を研究資金捻出のための商用林として運用していた事。音威子府から中川町へバイパスを建設中で、そのバイパスが研究林を横切るので当初は反対していたが周りから白い目で見られたので条件付きで賛成したものの、完成予定が蛇紋岩（とても脆いらしい）に阻まれまだ開通の目途が立っていない事等々が大変興味深かった。野村先生は森林が専門ではなく、生態系における水循環の研究者だとの真正直な言い訳に学者さん気質を感じ取って懐かしさにホッコリ。（以下省略）



◆ 「マチなか× NPO 2019」で森ボラ活動をPR

（2019年12月ボラ通 211号より）

12月5日木曜日午前11時、チカホ北3条西広場で「マチなか× NPO 2019」の3日目がスタート。これは札幌市で活動するNPO団体がそれぞれの活動を広く市民に知ってもらうイベントで、3日間で50以上の団体が出展。高齢者・障害者・知的障害者などの支援、環境問題、発展途上国との交流など多様な活動を繰り広げる団体がそれぞれのブースで展示や説明、手作り作品販売などを行った。我ら森ボラも樞棒さんを筆頭に10名が参加し、酒井・高野さんの視察も受けながら、ブースに立ち寄る市民に活動説明をしたり、間伐材の有効利用としてコースター作りを体験していただいたりした。およそ60名の市民が訪れ、コースター作りは盛況だった。（以下省略）



= 2020 年度 =

◆ 野幌の森 自然再生活動がスタート

(2020 年 6 月 ボラ通 217 号より)

2020 年 6 月 4 日に「近自然森づくり協会」理事長の岡村俊邦さんを迎えて最初の活動が行われたので概要をお知らせします。

江別市西野幌道有林 169 林班 54、57 小班（面積 1.33ha）は、北海道空知総合振興局森林室が管理し、2018 年 9 月の台風により主に人工林の倒木被害が発生して同森林室が倒木の整理を行ってきました。当会は昨年 12 月に森林ボランティア活動を募集していることを知り、



現地調査を行い、3 月に覚書を取交して 5 月からの活動開始を予定していました。その間に支笏湖「ぶんぶんの森」活動でお世話になっている北海道新聞企画室 CSR 推進担当次長中村雅司さんの推薦を受けて「北海道新聞野生生物基金」の助成が決まりました。

新型コロナウイルスの影響で活動が延び延びになっていましたが、6 月 4 日に岡村先生、森林室からは親子森林教室でご指導を受けている工藤森生室長以下 4 名、会員 18 名、入会体験 1 名が参加して 1 回目の活動を行いました。大勢の皆様のご支援を受け、人の繋がりに感謝しての活動となりました。（以下省略）

◆ 近自然森づくりの実践現場を見学

(2020 年 10 月 ボラ通 221 号より)

2020 年の研修旅行は野幌道有林の再生事業を指導いただいている近自然森づくり協会理事長である岡村先生の平取町の実践現場（イオルの森）とアイヌ文化やアイヌと森の関りを学ぶために平取町立アイヌ文化博物館を見学しました。

《二風谷ダムの緑地造成のために植樹した場所を見学》

植栽は円形状に 10 本植栽。当時は防草シートではなく碎石とチップを使用。公園利用であることから歩行スペース確保のために枝を切断。



《平取町アイヌ文化情報センターでアイヌ文化伝承の森再生に係る取組みを聞き取り》

株式会社平取町アイヌ文化振興公社 21 世紀伝承の森グループの職員より、「21 世紀・アイヌ文化伝承の森再生計画」の概要やこれまでの取組み等について説明を受けた。



岡村先生から 3m 防草シートの説明を聞く

《現地見学（国有林）》

元々の現況は未立木地（土場跡地）。土壌が良くない箇所は植生の高さが低く、実生が多いことから実生に防草シートを敷設している。土壌が良い箇所は植生が高いことから、全面下草狩りを行い、3m の防草シートを敷設して植栽する。鹿柵（高さ 2m50cm、支柱は丸太を地中に 1m 打込み、ネットはステンレス入りのもの）を設置している。鹿が鹿柵の扉を開けて被害を受けたので、扉が容易に開かないように改善を行っている。下刈りは植生の様子を見て実施する。（以下省略）

◆ 今年度の支笏湖周辺活動終わる

（2020 年 11 月ボラ通 222 号より）

今年度は新型コロナウイルス対策を考慮しながらの支笏湖周辺活動でした。5 月から宿泊を伴う活動を予定していましたが、コロナの影響を考え宿泊は止めて活動開始を 9 月からとしました。いつも楽しい温泉・懇親会・宿泊が出来なかったので、物足りなく思う人も多かったと考えます。支笏湖周辺の活動概要を報告します。



【烏柵舞の森】

9 月に予定していた活動が降雨のために中止となり、10 月 3 日（土）に行ないました。

1 年ぶりの訪問でどうなっているか心配していましたが、針葉樹アカエゾマツは順調に育っていました。今回は澄川苗畑で管理していたアカエゾマツ苗 87 本を植栽し、昨年植えた列の下草刈りと 5 年目を迎えた施肥試験の効果確認を行いました。施肥試験列と外周に植えたトドマツに枯死が多く見られました。来年は苗の成長を確認しながら下草刈りを行いたいと思います。



【水明郷の森】

ここでの活動は9月21日と10月9日の2回行いました。昨年植栽した列と今年植栽予定列の下草刈り、中央道右側の作業道草刈り・列杭打設、トドマツ 345 本の補植を行いました。ここでも広葉樹苗の動物による食害が著しく、全滅に近いと思われます。来年はトドマツ列の笹刈り、作業道草刈り、広葉樹列へのトドマツ補植を行う予定です。(以下省略)

= 2021 年度 =

◆ 澄川南小 6 年生の森林整備体験を支援

(2021 年 9 月 ボラ通 232 号より)

8月30日、暑かった8月初旬を思い出させるような夏の日差しの中、澄川南小6年生62名が森林整備体験のため澄川の森を訪れました。

体験の作業は駐車場向かい植栽地の「草刈り」。手鎌を使うため危険のないよう森ボラ当日参加者15名全員で対応しました。

はじめに、子供たちは松井さんから手鎌を使って草刈りの実演指導を受け、3人一組で作業を始めますが、思うように



松井協会員が手鎌による草刈りの実演指導

手鎌が使えず四苦八苦。手取り足取り（鎌取り？）手厚い指導で、コツをつかみ始めたところで終了時間になり「もっとやりたい」とあちこちから終了を惜しむ声が上がりました。(以下省略)

◆ 支笏湖周辺の 2021 活動報告

(2021 年 10 月 ボラ通 233 号より)

今年も新型コロナウイルスの影響により宿泊を伴い、長時間の車での移動を避けることから、支笏湖周辺の活動を自粛してきましたが、落ち着きを見せてきた10月より日帰りでの活動を再開しましたので、最近の様子を報告します。

【支笏湖ぶんぶんの森】

ここは2009年から北海道新聞の支援を受けて植樹指導、育林活動を行ってきました。しかし、植樹したトドマツよりも周辺の母樹から自生したカラマツが成長し、トドマツが衰退してきました。9月16日に胆振東部森林管理署、北海道新聞社、当会の関係者が集まり今後の育林活動の方針を相談し、基本的にカラマツの成長を見守ることとなりました。

【CGC 水明郷の森】

ここは2009年に石狩森林管理署と(株)北海道シジシーとが育林活動の協定を結び、当協会は同年に覚書を交わし植樹支援、下草刈りなどの育林活動を行ってきました。2019年から森林・山村多面的機能発揮対策として林野庁の交付金を受け、動物の食害を受けて壊滅状態の広葉樹列にトドマツを補植しています。(以下省略)

【CGC 烏柵舞の森】

ここは2011年に石狩森林管理署と(株)北海道シジシーとが育林活動の協定を結び、当協会は覚書を交わし2012年から育林活動に携わることとなりました。



チャランケの丘の成長したアカエゾマツ

◆ 初めてのゴミ清掃活動

(2021年11月 ボラ通234号より)

澄川都市環境林の清掃活動に澄南小5年生65名が参加！

森の中に入るまではゴミはたいしたことないだろう、と思っていたがいざ中に入るとゴミの多さにびっくり。今までは道路路肩だけ見ていたのでたいしたことはないと思って時間をさいてまでゴミ拾いする必要があるのかと思っていた生徒もいました。札幌市環境教材の3、4年生用「地球にやさしくしている」の中でゴミについて考える学習が掲載されています。

今回は10月15日に、すでに学習されたと思われる5年生が活動に参加され今までのゴミが自然に及ぼす影響について考えさせられたのではないかと思います。(途中省略)

又、ゴミ拾いを行いゴミと向き合う事により深く考えるようになる生徒も出てきたと思います。今回初めて“ゴミ清掃活動”を総合学習支援に取り入れたのは有意義だったと思います。プラスチックゴミがほとんどでこれが放置されると風によって右精進川から日本海に流れ込み海の生物に影響を及ぼし、残ったゴミは徐々に分解され小さなゴミとなり森に生息する生物に影響を及ぼすと思います。

今回のゴミの量は全体で800kg、その内生徒が拾ったエリアで500kgはあったと思います。なぜゴミ捨ては無くならないのか、徐々に減っているとは思いますが。



5-2 札幌市都市環境林

(1) 澄川都市環境林

ここは当会が発足した2002年からホームグラウンドとして、札幌市から許可を得て利用している。面積は当初4haからスタートして、2020年に編入された北地区を含めて現在は88.58haとなっている。この森の整備目標は2018年に制定した、「澄川環境林基本計画」により『豊かな生き物を育む巨木の森』と大きな夢に向かって進めている。

◆ 活動出初め式 (2013年1月 ボラ通128号より)

昨年は10周年を迎えて式典もあり忙しい年でしたが2013年は協会に取って新しい次の10年に向けての出発です。今日の澄川は予報とは違って澄んだ空で出初めの活動を行いました。まずゲートの除雪からテントの掘り出し、小屋の雪かき、キャリコ掘り出しをしました。

古い小屋は屋根がつぶれかかっているほかはすべて今年の記録的な積雪寒波に耐えていました。昼からは上流中流下流木道、キャリコ木道の除雪をしました。スノーシューを履いた会員の足取りもまだまだ健在です。

今年一年安全な作業が続きますように心からお祈りいたします。



◆ キャリコ木道完成

(2013年7月 ボラ通134号より)

澄川の活動地が主に右精進川の向こう側の為、今までは冬期に伐採した木材をリヤカーで運んでいましたがこれが結構大変な労力を必要とし、何とか軽くしたい気持ちから昨年11月より中流と下流木道の間にキャリコ(軽トラック)を走らせる事を計画。

平成24年11月上旬から着工し木杭打ちから始め桁材の設置、敷板、幅木の取り付けを終え長さ24.5m×有効幅員1.7mのキャリコ木道が平成25年5月27日完成した。6月

1日に安全祈願を兼ねた完成式を完成した木道の上で、石川さんに祝詞を挙げて頂き参加者全員で参拝を行いました。使用材は一部を除いて場内から調達し皮むき、製材、防腐剤塗り、取り付けなどを多くの皆様で行いました。大変ご苦労さまでした。



◆ 避難小屋完成

(2015年9月 ボラ通160号より)

澄川都市環境林内E-4(里山ゾーン)地区で進められていた避難小屋が完成。林内の活動域が年々拡張され、活動の中で突然の天候異変や健康安全など、緊急時に対応できる避難小屋の必要性が求

められていたが、札幌市の指導とローソン緑の募金公募事業の助成を受けて待望の避難小屋が実現した。

ニセアカシヤの整理伐やその他の除伐、危険木などを利用して支柱のほか、梁、桁なども自営製材化し、生木ながら木組みを駆使しての構造体として十分な強度に仕上げることが出来た。冬季の活動でも避難小屋として、大いに効果が発揮されるものと考えている。



◆ ホダ木にシイタケ、ナメコの植菌



(2016年5月 ボラ通168号より)

今年は昨年同様シイタケ用、ナメコ用菌コマを各々3,000個用意しましたが、親子森林教室用に各々300個を使用する為、各々2,700個をホダ木シイタケ用≒90本、ナメコ用約90本に植菌を行いました。

当日は21名の方が参加。快晴で作業するには快適でしたが軽トラが車検の為、リヤカーで発電機、電動ドリルを運搬、年々坂道がきつい！

コマ打ちでは最初ちょっと手間取りましたが、さすが皆さん経験があり年1回の作業とは言えリズム勘が戻り順調に作業を終えました。ただドリルでの穴明けは中腰で行うので“交代”の声が早くなって来ている様に思えました。年々きつくなってきているのかな？ ホダ木は6月中頃まで仮伏せしその後、本伏せを行い来年秋頃から収穫できると思います。



◆ ローソン植樹会開催

(2017年6月 ボラ通183号より)

5月20日(土)晴天の中自然体験学習が開催されました。日頃から環境保全活動に取り組まれているローソンの皆様方42名が参加しました。この様な大勢の方が澄川環境林に集まったのは10周年記念のイベント以来のことで感謝の気持ちでいっぱいです。

開催に当たり札幌南1条東6丁目店の鎌田オーナー様からは「ローソン緑の募金」を活用しての体験型の緑化支援活動は道内では90回目とその内この環境林での活動が6回目となります。皆さん

との作業を通してお役に立てます事は私どもの喜びです、とご挨拶がありました。

お昼は湯澤シェフのナメコと豆腐の味噌汁が振舞われ春を満喫しました。今回は新しい試みとして女性に山で採った蔓を使ってリース作り、男性は間伐材の切れ端を使ってホルダーを作って貰いました。



◆ 右精進川の水質検査と水中生物の調査

(2017年8月 ボラ通185号より)

7月1日に青少年科学館の守屋先生に源頭部、キャリコ橋、下流橋の3か所で状況の観察と水質並びに水生生物の調査、調査方法等のご指導を頂きましたのでその結果を含めて報告します。

この調査結果を踏まえて先生からのコメントです

平均的な河川よりは、少し、イオンが多いかも知れません。

源流部の赤い付着物が鉄によるものであれば、鉄イオンが多いのかも知れませんが、私には分かりません。様々なイオンを調べないと結果は出ませんので、今のところは、不明です。

憶測で断定はできませんので、気になるところがありましたら、各イオンを調べることをお勧め致します。ただし、その多いイオンがどの様に流域生態系に影響を及ぼすのか、また、影響を及ぼす事がないのかも吟味しなければならないと思います。下流橋での水生生物の種類や量的なことからは、殆ど影響を及ぼしていないのかも知れないような気がすることを、一応付け加えさせていただきます。(青少年科学館・守屋開先生)

澄川環境林2カ所でのPHと電気伝導度の測定結果型

場所	pH	電気伝導度 (μ S/cm)
源頭部 (E-5)	6.9	510
下流橋 (D-6)	7.4	310



◆ リュバン・ド・ヌールのさくらが満開

(2018年5月 ボラ通194号より)

今年は澄川のサクラの開花を皆で見ようと考え、連休中の5月1日、4日に自然観察会を開催しました。リュバン・ド・ヌール、道新100本のエゾヤマザクラの他に澄川B、E地区に自生しているサクラの開花を確認できました。

また、リュバンのサクラ周りの広葉樹の枝葉が、次第に大きくなり日照時間が短い懸念があったので、枝払いを行いました。今後もサクラの生育に努め、満開のお花見を楽しみにしましょう。



◆ 冬季整理伐が終了

(2019年4月 ボラ通207号より)

平成31年1月から3月にかけて、澄川都市環境林のB-3区、E-5区において倒木、傾斜木、枯損木等の整理伐を行いました。

整理伐対象の樹木は事前に調査して印をつけてあります。それぞれの地区で、初めに小径木を手鋸で伐採し、中大径木はチェーンソーを使って伐採します。木々が繁茂しているところでは伐採した木が掛かり木になることがあり、ロープで引き、チルホールで牽引して倒します。

伐採した木の一部は、2m程に玉切し、ホダ木、薪、杭等を使うため軽トラックで搬送できる場所まで人力で運びます。人力で運べない重い丸太は、この後ウィンチを使って搬送します。新しい試みとして、伐採チーム（4～5人）毎に安全管理者を置いて安全確保に努め今年も事故が無く無事に終わることができました。



イヌエンジュの緊急調査

(2021年12月 ボラ通235号より)

調査地：管理小屋から市道並行路を北上 No1～9迄
D-1区、No10からD-3区、No24のみD-5区。

- 結果：1. 外来種サビイロクワカミキリの食痕は見られなかった。
2. 調査木少なく集計はしていませんが、枯死木や半身枯れが見られ今後も見張りが必要です。



(2) 有明第二都市環境林

ここは2002年7月に札幌市から提供され、清田区有明小学校の裏山に位置し面積14.0haの広葉樹二次林、カラマツ・トドマツ人工林からなっている。中央部ギャップ地の根曲がり竹を伐採し、植樹、自生稚樹の育成を行っています。2018年秋の風台風により南西側高台部に倒木、中折れ被害が発生し、その処理に苦労しました。

◆ 避難所完成

(2016年8月 ボラ通171号より)

昨年からの作業をしていました、有明の避難所が完成し、7月26日に落成式を行いました。この避難所は「森林・山村多面的機能発揮対策交付金」を活用し、札幌市みどりの管理課の指導を仰ぎながら、会員の矢澤さんを棟梁に基礎工事、棟上げ、塗装と皆で汗を流しました。落成式では会員の石川さんが北海道神宮からお札をいただき、祝詞を奏上し参加者でお祝いをしました。今後は防腐剤塗布等の手入れを行いながら末永く活用していきたいと思っております。関係機関、会員皆様のご協力に感謝します。



◆ 黒松内方式植樹の結果は？

(2017年7月 ボラ通184号より)

6月14日有明第二環境林植栽の準備時に、昨年黒松内方式にて植栽(仮称、森ボラ174号に掲載)した幼樹の状態を調べてみた。有明の根曲がりダケは黒松内のササと比べ約2.5～3倍の高さ(約3m)で密度も濃く、人が分け入るのも難しいため、刈り払い機を使用し40～50cm幅の列を作り、ミズナラ15本、赤エゾマツ5本を植栽している(白い点線の○)。

地拵えしたところにミズナラ、ハルニレ等の広葉樹を植えた場合は、ほぼ全面的にシカの被害を受けているが、この方式では頑固な根曲がりダケに邪魔されてかシカの被害も無く、また折れ、倒れ等の雪の被害も無く良好の結果であった。

ただ、一部に雪の影響を受けたと思われる根曲がりダケの被覆が見られ除去を必要とするが、この点を改善していけば、十分にシカ対策を兼ねた省力植栽法になるとと思われる。



5-3 野幌森林公園

(1) 国有林

ここは当協会が2005年、2006年に人力による地拵えそして植栽を行った面積1.87haの地区で、その後継続して下草刈り、補植を行ってきた。

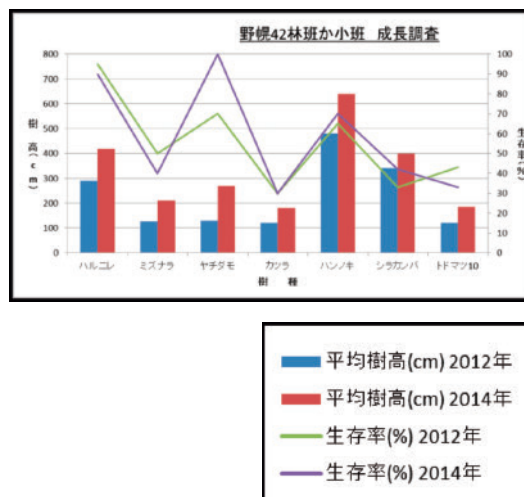
◆ 生長調査

(2014年8月 ボラ通147号より)

標準列を2列設定、植樹本数232本の追跡をしました。2012年の成長調査と比較した結果を右図に示します。

これより考えられる事は以下のようです。

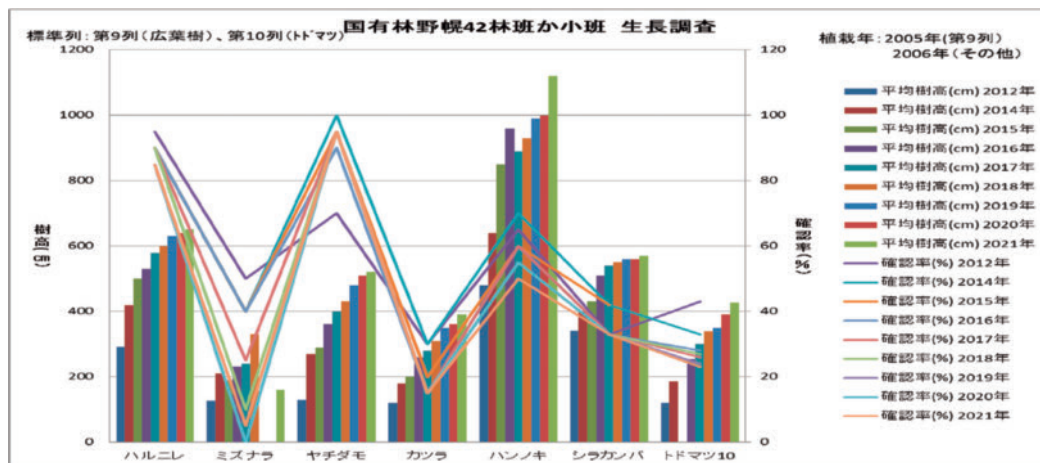
- ・各樹種の2012年からの成長高は、60～160cmと順調です。
- ・特にハルニレ、ヤチダモ、ハンノキの成長は著しく、また生存率も60%を越え、この地域に合った樹種と考えられます。
- ・針葉樹のトドマツは成長を見せているが、生存率の低下が気になります。



◆ 生長調査

(2021年9月 ボラ通 232号より)

現場は自生の広葉樹が旺盛に繁茂し、植栽した樹木が分からなく、調査は時間がかかりましたが、結果を下表に示します。



◆ 新しい活動地

2021年12月に石狩森林管理署と協定書を取交し、2018年秋に被害を受けた野幌森林公園の南西部江別市西野幌49、50林班、面積18.4haを「野幌トトロップの森」(トドマツの森)と名付け、2022年度から10年程かけて本格的な森林再生活動に取り組みます。

(2) 道有林

2020年3月に北海道空知振興局と覚書を取交し、江別市西野幌169林班、面積1.33haで、2018年9月に台風被災した森の再生活動が始まりました。

◆ 最近の現場活動 (2020年7月 ボラ通 218号より)

7月10日(金)に野幌道有林169林班にて今年度二回目の活動を行いました。今回は前回終わらなかった自生稚樹マーキングと本数確認を午前中に行い、午後からは防草シートとチップ(木屑)の敷設を行いました。指導を受けている「NPO 近自然森づくり協会」理事長の岡村先生も参加して下さいました。



敷設した8角形の防草シート

稚樹調査では3班合計で26種231本の稚樹にマーキングをしました。これは1ha当たり約500本と当初の計画通りとなり、動物食害が心配ですが今後の成長がますます楽しみです。

防草シート敷設は3m角のシートを岡村先生の指導で8角形に裁断して、稚樹の発生が見られない箇所を地ならしした後3カ所に敷設しました。さらにマーキングした稚樹には1m角のシートを10カ所敷設して根元には碎石を敷き、乾燥防止と防草を兼ねます。

◆ 野幌道有林の活動

(2021年4月 ボラ通 227号より)

3月30日(火)に会員14名の参加により、野幌道有林169林班にて雪解け後の食害防止網、稚樹および植栽木の状況確認を行いました。

食害防止網は雪の沈降力による垂れ下がりがありましたが、持ち上げて張りなおすと元通りになり、安心しました。10m角の食害防止網は四隅に自前の杭を打ちましたが、頑丈でビクともしませんでした。

自生稚樹、植栽苗は食害防止網の中では被害を受けていませんが、網の外の樹木は自生、植栽の違いに関係なくシカ、ウサギ、ネズミなどの被害を受け、今後の成長に大きな危惧を覚えました。会の活動地の支笏湖周辺、有明環境林などと同様です。当会の今までの活動から広葉樹を育成する場合は、食害防止策が欠かせなく、育成費は膨らみますが、食害防止網またはツリーシェルターなどの対策を講じるようにしたいと思います。



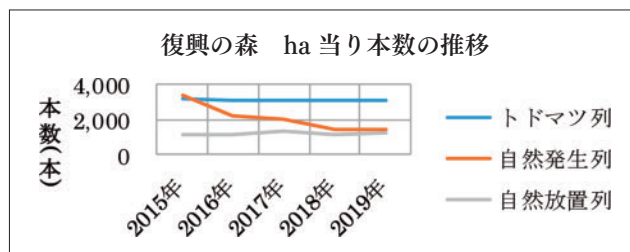
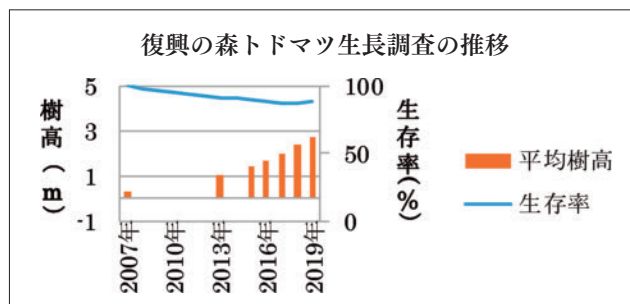
3m角食害防止網内の植栽木確認

5-4 支笏湖周辺国有林

(1) 復興の森(協会独自)

2007年10月に当会と石狩森林管理署との間で協定を結び、千歳市国有林5456林班に林小班(1.12ha)にトドマツ936本を植樹した。それ以降協定の延長を踏まえて、下草刈り、播種、生長調査などの育林活動を続けている。

2019年に行なった生長調査結果を示す。植栽したトドマツは順調に生長し、生存率85%、平均樹高は3.0mに届こうとしている。そのため2017年以降は下草刈りを止めている。2020、2021年は新型コロナの影響で活動できていません。また、植栽列の他に自然発生列、自然放置列の植生調査を行い、経緯を観察している。それによると、トドマツは植栽時のha当り本数3,000本を維持している。一方自然発生の稚樹は1,400本程度と安定してきた。今後も継続した調査を行い今後の育林活動の役に立てたい。



2017年の生長調査状況

(2) コンサ百年の森

この地区は2004年台風18号被災地復興支援事業として、2008年6月にコンサドーレ札幌と石狩森林管理署が協定を結び、当協会が技術的支援並びに育林活動で協働しています。

2019年からは当会が単独で協定を結び、引き続き育林活動を継続しています。

◆ 生長調査

(2014年8月 ボラ通147号より)

2008年から2010年の間に7,000本を超える苗木を植樹してきましたが、広葉樹の成長が芳しくないため、その列に会員が近郊で採取した種による播種を試みました。その発芽状況を下表に示します。この表から考えられる事を以下に示します。

- ・発芽は一冬を越しただけでは判らず、発芽率は1年以上観察する。
- ・この地区ではクリ、ミズナラの発芽率が50～70%と良好です。
- ・トチノキは鹿による食害が著しく、生存は難しい。
- ・ホオノキは発芽が見られなかったが、種数が少なくさらに播種を検討する。

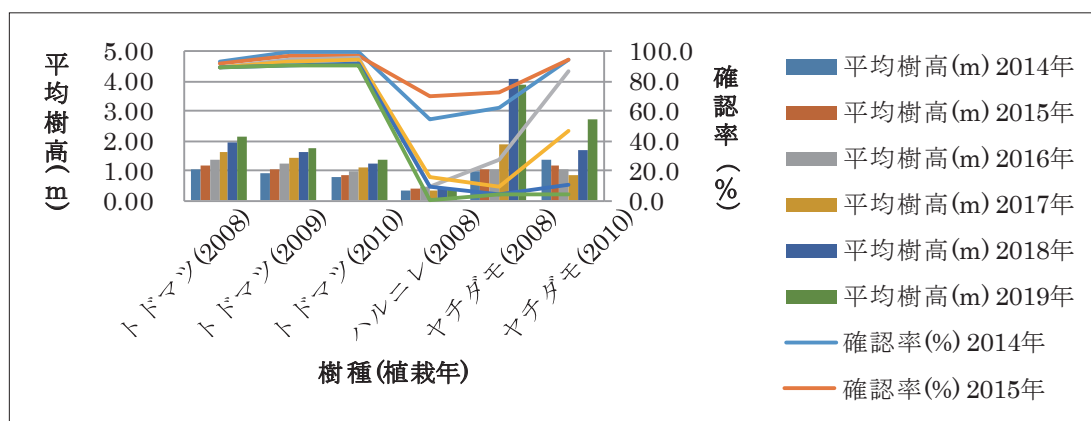
樹種別集計

樹種	2012.10.12	2013.6.13		2014.6.27		
	播種数	発芽数	発芽率	備考	確認数	確認率
ク リ	523	68	13.0%		269	51.4%
オニグルミ	214	30	14.0%		48	22.4%
ミズナラ	188	73	38.8%		131	69.7%
トチノキ	187	99	52.9%	肉食害23	16	8.6%
ホオノキ	6	0	0.0%		0	0.0%
合 計	1,118	270	24.2%		464	41.5%

◆ 生長調査

(2019年7月 ボラ通210号より)

今回は2014年から継続調査している生長調査の結果をグラフで示します。



このグラフから下記の事が考えられます。

- ① トドマツの生長は若干遅れ気味ですが、確認率も90%と順調に生育している。
- ② ハルニレ、ヤチダモの広葉樹は動物の食害と思われる影響で全滅に近づいている。
- ③ トドマツは植栽後10年を経過しても10～20%は生長が止まっている。

この結果を受けて、昨年にはヤチダモ列にトドマツを補植しました。

(3) 北海道新聞「ぶんぶんの森」

2009年に北海道新聞社と胆振東部森林管理署が協定を結び、当会は植樹指導、育林活動を担ってきました。

◆ 第8回植樹祭

(2012年11月 ボラ通126号より)

秋晴れの10月7日(日)支笏湖ぶんぶんの森に北海道新聞社募集の60名程が集まり植樹祭が行なわれました。我がボランティア協会は植栽指導役として7名の会員がお手伝いをし、1時間程で0.56haにトドマツ650本が植えられ、参加者は元気に育つてと願いながら森を後に。毎回、前日には植樹作業がスムーズに行く様にマーキング等の準備をして参加者が植えやすい様に準備するのですが、そこで目に付いたのはこの3年間全く見られなかったカラマツの稚樹が、植栽列のあたり一面天然更新しているのには感動しました。写真には植栽したトドマツ(4年生)の周りにこの夏に実生した赤ちゃんカラマツが見られます。今後の成長が楽しみです。



◆ 下草刈り…トドマツとカラマツの共生

(2016年8月 ボラ通171号より)

7月20、21日でぶんぶんの森(7.05ha)で下草刈りを行いました。平成25年ごろからカラマツの実生が増え始め植栽したトドマツを凌駕する勢いで、高いものは1m位に生長し淡い緑の絨毯の様です。冒頭、酒井さんから今回の下草刈りの留意点としてカラマツは極力残し、植栽列の両サイドを刈り上げ、風通しを良くする事。ウラボシイチゴ等の蔓植物の除去、そしてトドマツにぴったり寄り添って生えているカラマツの除去を心がけて作業をする様に指示がありました。刈払機担当は11名、手刈り担当は4名の編成で作業開始。10cmぐらいのカラマツを残しながらの下草刈りは神経を使い予想以上の苦勞でしたが、何とか全ての植栽列の下草刈りは終えることが出来ました。



◆ 2021年活動報告

(2021年10月 ボラ通233号より)

ここは2009年から北海道新聞の支援を受けて植樹指導、育林活動を行ってきました。しかし、植樹したトドマツよりも周辺の母樹から自生したカラマツが成長し、トドマツが衰退してきました。9月16日に胆振東部森林管理署、北海道新聞社、当会の関係者が集まり今後の育林活動の方針を相談し、基本的にカラマツの成長を見守ることとなりました。当会の提案により試験列を作り除伐の効果を確認することは認められました。次年度以降は試験列の設定、生長調査、除伐、効果の確認などの活動を行う予定です。

(4) 北海道 CGC 「水明郷の森」

千歳市国有林 5456 林班は林小班（面積 17.82ha）では、2009 年に石狩森林管理署と(株)北海道シジシーとが育林活動の協定を結び、当協会は同年に覚書を交わし植樹支援、下草刈りなどの育林活動を行ってきました。2018 年 3 月には継続して補植、育林活動を行うために、当会と石狩森林管理署が直接協定を結びました。

◆ 標柱を立てる (2014 年 6 月 ボラ通 145 号より)

支笏湖 CGC の森の名称が表記のように決まりました。アプローチする林道が「水明林道」と命名されているので相応しい名称です。これで「烏柵舞の森」と区別がはっきり出来て情報の混同がなくなると思われます。これを機に現地に標柱を立てることになり、わが協会の理事長にして北海道 CGC の社長でもある横山氏直筆の文字を標柱に刻むことになりました。原木がシラカバなので腐れやすいのですが、10 年は持たせたいと願って、防腐機能のあるクリアな塗料を 5 層以上塗り重ねました。年に 1 度は手入れをすればもっと長持ちすることでしょう。



◆ 2015 年度活動報告

(2016 年 1 月 ボラ通 164 号より)

4 月に昨年のもので発生した雨裂の修復作業に始まり、5 月には広葉樹列 10 小班の生存調査を実施した結果 5 小班で生存率 50%を切っていました。

下草刈りは 4 日間行い、特に植栽列の両脇の覆い被さったウラジロイチゴを重点的に刈りました。人手による地拵地区（No.3、4）オッパイ山は自生木及び植栽木も順調に生育していることを確認しました。機械地拵植栽区のとドマツは個体差こそありますが順調に生長しています。広葉樹はヤチダモ以外ミズナラ、ハルニレ、イタヤカエデは雪害、獣害、火山灰地の貧土等の影響で生長の遅れが目立っています。今後は広葉樹列で、下草刈り等の 3 年位育林管理が必要と考えています。

◆ 2021 年活動報告

(2021 年 10 月 ボラ通 233 号より)

2019 年から森林・山村多面的機能発揮対策として林野庁の交付金を受け、動物の食害を受けて壊滅状態の広葉樹列にとドマツを補植しています。

10 月 1、7 日にはコロナの影響もあり手入れをしていない植栽予定地の笹刈りおよび最近補植した列の下草刈りを行い、10 月 12 日には爽快な秋空の下でとドマツ 300 本の補植をして今年の活動を終わりました。次年度以降も下草刈り、生長調査を継続する予定です。



とドマツの補植作業

(5) 北海道 CGC 「烏柵舞の森」

千歳市国有林 5334 林班ろ林小班（面積 22.72ha）では、2011 年 9 月に北海道シジシーと石狩森林管理署が協定を結び、当会は北海道 CGC 「みどりところの基金」の助成を受けて、育林活動を行っている。

◆ 下草刈り奮闘記

(2016 年 7 月 ボラ通 170 号より)

6 月 22・23 日 CGC 烏柵舞の森の下草刈りを 15 名で行い、22.72ha の下草刈りは完了する事が出来ました。手刈り班 5 名は人力地区 No.1～3（約 3ha）に植栽した苗のツボ刈りと蔓切り、枝切りを行いました。

夏場に向かっての広大な植栽地の下草刈りは大変な重労働です。草を刈りながら実生した稚樹を残して進んで行く事、ウサギやネズミに食いちぎられ根本からやっとな芽した広葉樹の周りの草刈りに神経を使い、ロゼット状に伸びたナワシロイチゴの除去に苦労の連続でした。素人軍団の集まりなので機械を持つと時間を忘れ夢中でやり続ける人、休憩を取りながらその日のコンディションに合わせて動く人様々ですが自分たちが植栽した苗が元気に生長している姿を見ながら汗をかいて頑張っています。



◆ CGC ジャパン遊玄会視察記念行事

(2019 年 10 月 ボラ通 213 号より)

今年は CGC ジャパン創立 40 周年の節目の年。10 月 1 日、これぞ北国の秋と感じさせる爽やかな天候の下、7 年ぶりに CGC ジャパン遊玄会の皆さん 23 名が CGC 烏柵舞の森を訪ねられました。

横山理事長、堀内社長はじめバスを降りた皆さんの目に映った風景は 2012 年の植栽当時の風景とオーバーラップさせながら…年月の速さを感じたのでは…。

皆さんが植えたアカエゾマツは当時 30cm 程でしたが、7 年の歳月で 150cm 超えに育ちました。

この森の象徴の印であるチャランケシャチの丘と大看板そしてシンボルツリーのアカエゾマツを

背に記念写真。そのあと皆さんは 7 年前に植栽された方の名前が書かれたプレート列に移動し、成長したアカエゾマツと一緒にスマホでパチリ。2004 年の台風で甚大な被害を受けた森の復興に向けて中心的に携わって来た酒井さんからこの植栽地の誕生から現在に至るまでの経緯の話を聞き、思いを新たにして強風に強い森になりつつある烏柵舞の森を後にしました。



5-5 オイスカ支援

オイスカは開発途上国に対し、農業技術支援、人材育成などの開発支援を行う NGO で、2011 年の東日本大震災の海岸林再生活動に尽力している。当会は 2004 年当別青山「道民の森」での体験活動に参加して以来、植樹祭、育樹祭などの支援を継続している。

◆ 育樹祭について

(2016 年 10 月 ボラ通 173 号より)



10 月 1 日秋晴れの下、支笏湖烏柵舞においてオイスカとユネスコの会員合わせて 48 名、それにヒッチハイクのベルギー女性が飛び入り参加して、3 年苗のアカエゾマツ約 650 本を植栽しました。

酒井さんの植栽指導後 5 グループに分かれ前日から 18 名の協会メンバーによって下草

刈りやマーキングを終えた予定地に入り、作業服に身をこためた小学生からベテラン経験者が苗を配り鍬で穴を掘り、根の乾きを気にしながら素早く植えて土をかけ、強く踏みつけ次の場所へ移動します。その後はチャランケの丘で酒井さんの座学に耳を傾けました。種子の移動に関する“3つのW”は私達にも参考になりました。記念撮影、閉会式を済ませ無事に育樹祭を終了しました。

◆ 育樹祭開催

(2018 年 10 月 ボラ通 201 号より)

10 月 6 日に公益財団法人オイスカ北海道支部の主催、札幌ユネスコ協会の合同主催、北海道 CGC みどりところ基金などの協力で、2018 年度の育樹祭が千歳市 5334 林班「CGC 烏柵舞の森」で開催されました。当日は台風の影響もなく穏やかな天候に恵まれ、オイスカ関係者 34 名、ユネスコ関係者 14 名、森ボラ会員 15 名の総勢 63 名の参加で、昨年に引き続きシラカンバ除伐と今年で最後になるアカエゾマツ苗木の植栽などを行いました。参加した中高生、大学生による樹高 1.5m 程のアカエゾマツ苗木 21 本を植栽しました。森ボラ会員の協力によりあらかじめ掘られた植穴に黒土、ピートモスを混合して根巻き苗を植え、風により倒れないように竹支柱を添えました。若人による植栽体験が記憶され、数十年後にこの地を訪れて成長を確認して欲しいと思います。今回の烏柵舞での育樹祭は終わり

となりましたが、このような機会を通して一般市民、生徒、学生を交えて森林に親しみ、植樹、育林の意義を伝える必要があります。今後も植樹祭育樹祭活動が継続されることを望みます。



6 活動の歩みⅡ（啓発・教育支援）

6-1 親子森林教室の開設と歩み

(1) 方針決定から開設準備へ

始まりは2014年1月に策定された「澄川環境林基本計画」です。計画では基本方針として「積極的な教育支援を行う」ことを掲げ、その具体的目標として「自前で親子森林教室を計画し、森の活動を通して次世代を担う子供たちに環境保全の心を芽生えさせ、育んでいく」ことを決めました。

8月にプロジェクトを立ち上げ、11月には、活動テーマと年間活動スケジュール、小学4～6年生を対象とすること、活動の説明・指導は協会員が担うことなどの骨子を発表し、愛称を“森しり隊”と命名しました。

2015年2月の会員例会で会員に説明して協力を求め、更に3月の冬季セミナーで道庁水産林務部木育推進Gの工藤森生氏の「親子を対象とした森林教室を行うために」と題した講演を聴き、環境教育のポイントや子どもたちとの接し方などを学び、理解を深めました。

そして、4月から1年掛けて説明者、事務局による年間スケジュールに沿ったシミュレーションを実施して活動内容を点検しました。11月からはチラシ配布や学校訪問などの募集活動も開始し、3組…7組と親子が集まり、不安と期待の中でいよいよ開校を迎えました。

(2) 11名の子どもたちが集まり開校！

(2016年4月 ボラ通167号より)

「虫籠を持って行ってもいいですか」「体や目で感じたら何かが見えてくると思って」…など、自然や外遊びが大好きで森に関心のある多彩な子どもたち8組11名が集まりました。

4月3日、Lプラザに於いて、親子森林教室に参加を申し込んだ子どもたちとその保護者、協会員総勢32名が参加して、“2016 森しり隊”の開校式が開催されました。参加者が自己紹介し、主催者を代表して酒井代表幹事から子どもたちに、森を育てるいろいろな活動を一緒にしましょうと呼びかけました。オリエンテーションでは、森しり隊の1年間の活動内容や参加の約束事、安全に活動するための注意事項を説明しました。

◆ 酒井代表幹事（当時）から協会員への呼びかけ 親子森林教室が協会にとって新しい主力活動になるので全会員の特段の協力支援をお願いします。これにより協会はこれまでの森林保全の実践活動中心から啓発活動へと大きく舵を切ることになります。森林教室を行っている団体はたくさんありますが、ほとんどは自然観察と学習が中心です。私たちの特徴は“森林保全の実践”です。種拾いから植栽、整理伐、植菌まで、いつもやっていることが中心ですから自然体で子どもたちに接しましょう。



(3) 2016年度～2021年度の6年間の活動記録

◆ 春 4月：植菌作業に挑戦

(2016年4月 ボラ通168号より)

澄川環境林の入り口と小屋前に“のぼり旗”が翻り、期待に胸ふくらませた子どもたちが集合し、協会員もいつになく大勢の参加で賑わいました。

大窪隊長が集合を掛け、元気な挨拶から始まり、今日の活動項目と説明者の紹介、森での注意事項の徹底、ラジオ体操へと続きます。そして子どもたちと保護者にヘルメットが配られ、名前と血液型を記入したシールを貼付して被り、いよいよ活動開始です。

今日のメインイベントは植菌作業です。A-4区に用意した原木に電動ドリルで穴を開け、ナメコとシイタケの菌駒を植え付ける作業を子どもたちは喜々として取り組みます。

瞬間にナメコ18本、シイタケ19本の植菌ホダ木が完成し、その場に仮伏せしました。やはり子どもたちは森の中で身体を動かすことに最高の興味と楽しさを感じているようです。



◆ 夏① 6月：ハルニレの種を播き、エゾサンショウウオを観察

(2017年6月 ボラ通182号より)

6月の親子森林教室は18日に、緑を増した澄川都市環境林で開催されました。今日の最初の活動は播種作業です。皆で駐車場脇のハルニレの大木の下に行き、設置したシードトラップから種を拾って苗畑に播きました。昨年は何故か種が不作で結果的に2本しか芽が出ませんでした。今年は大丈夫そうです。

昼食後の午後一番の活動は「森を歩いての学習」です。出発する前に説明役の酒井さんは、今日の森歩きの課題は「適地適木」、「カワニナ」、「希少種」の3つですと告げました。小屋前を出発して、C-4区でギンリョウソウと川の始まりを観て、キャリコ橋付近では、ミズナラやシラ



カンバは山の高いところに、ヤナギやヤチダモは低く湿ったところを好んで育つと説明します。そこから下流橋に下り、右精進川からカワニナを捕って観察しながらホタルとの関係を説明しました。次に樹木園のヤマシャクヤクとC-1区の雪解け沼に生息するエゾサンショウウオの幼生を網で掬って観察し、希少種について学びました。

◆ 夏② 7月：森の木で工作をし、コウモリとホタルを観察

(2019年7月 ボラ通207号より)

7月の親子森林教室は夜のプログラムがあるため13時のスタートです。下草刈りを体験した後はお待ちかねの「森の木で工作をする」で、ドングリそろばんとバードコールを作りました。昨年苦戦したドングリそろばん作りは、材料の丁寧な準備が功を奏して親子でスムーズに作る事が出来ました。作ったドングリそろばんですら実際に計算もしてみました。

続いてバードコールを作りました。サクラ、ミズナラ、カエデの3種類から木を選び、のこぎりで慎重に切り、電動ドリルで穴を開け、ボルトをねじ込んで完成です。夕食後に冷えたスイカを皆で食べた後は、いよいよ特別ゲスト・動物写真家の中島宏章氏のコウモリの時間です。素晴らしいコウモリの写真と絶妙なお話で隊員たちはノリノリで楽しんでいました。最後は夜の森に超音波探知機を持ってコウモリとホタルを探しながらキャリコ橋に向かい、コウモリの超音波を探知機で捕らえ、闇に光るホタルも見ることが出来ました。



◆ 秋① 9月：野幌道有林で“森しり隊植樹祭” (2021年10月 ボラ通233号より)

2018年の台風で大量の風倒木の被害が発生した野幌道有林(169林班57小班)を、落葉広葉樹を含めた針広混交林の森に戻す活動を森ボラが担って2年目の秋に、親子森林教室の一環として「第2回森しり隊植樹祭」が開催されました。

開会式を行った後にいよいよ植樹作業の開始です。作業は親子単位で、予め設置された3m角の防草シート上に穴を開けて8本の苗木を植え、シートの周りに食害防止ネットを張り巡らしました。今回は30種類の落葉広葉樹を主体とした160本の苗木を植樹することが出来ました。そして植樹した場所を「親子の森」と命名し、これからの生長を見守っていくことにしました。

昼食後、参加者は森に造ったブランコ遊びや親子で丸太切りに挑戦する“きこりタイムトライアル”を楽しみ、野幌の天然林を観察して秋の充実した一日を過ごしました。



◆ 秋② 10月：秋の森で運動会

(2020年7月 ボラ通 222号より)

10月の親子森林教室は森の中を駆け巡る「秋の森の大運動会」です。地図で示した5箇所の目的地まで歩き、そこで与えられたミッションを遂行して避難小屋に到着するとゴールとなるゲームです。ミッションの内容は、A山取り苗を作る、Bマイリーフの葉っぱを取る、Cノコギリで硬い木と柔らかい木を切る、D腐葉土を観察する、Eコクワと山ぶどうを取って味わう、F道中で4種類の葉っぱと3種類の木の実を集める、以上の6つです。

参加者は3つのグループに分かれて、「ガンバルゾ！」の掛け声と共にスタート。快晴の秋空、色づく森の木々、沢山のキノコや木の実！ 一番遠い最南端の「ミッションE」地点には、全チームがほぼ同時に到着。丁度熟したコクワは「甘い」「キウイみたい」等々の歓声が上がりました。ゴールの避難小屋で、集めた葉っぱと木の実をチェックして、全員無事にゴール出来ました。みんな3km以上歩いたにもかかわらず元気です。遅い昼食のあと、アトラクションで「薪割り体験」を始めたところ、競争心に火が付いたのか列を作る盛況ぶりで、持つのがやっとの重い「かけや」を使って薪割りに挑戦していました。



◆ 冬① 2月：整理伐を体験し冬の森を観察

(2019年2月 ボラ通 202号より)

2月の親子森林教室はスノーシューを履いて、キタキツネやタヌキの足跡、エゾシカの食痕などを観察しながら目的地のB-8区に向かいました。

そこでは先ずチェーンソーによる整理伐の見学です。直径30cm程もある傾斜木のシラカンバを伐り始めたのですが、残念ながら懸り木になってしまい、最後は子供たちがロープで引っ張り倒し、歓声を上げました。

次は、子供たちの番です。予め選定した木の樹高測定を行い、更に一人1本ずつ手ノコで伐採を体験しました。みんな見事に切り倒し、切った木は2mほどに切り分け、枝も細かく払って、山の傾斜に合わせて処理してもらいました。



小屋前広場に戻って、小屋裏の森でホオノキ、ミズナラ、キタコブシ、澄川の森の代表的な樹種の冬芽の観察をしました。そして、腹ごしらえも出来たら、さあソリ遊びです。駐車場に上る坂で大はしゃぎです。

◆ 冬②：樹液を採取し修了式を迎える

(2020年3月 ボラ通 227号より)

今日は2020年度最後の親子森林教室です。

まず始めは「樹液採取」です。今回も密を避ける為に3班に分かれて、広場から上流橋に向かう坂の途中、3か所のイタヤカエデに取り付けた樹液採取装置の前で、樹液の採取方法や木に開けた穴から滴り落ちてくる様子を観察したあと、樹液を味わいました。事前に煮詰めて40分の1に濃縮した「メイプルシロップ」をクラッカーに付けて堪能！「あま～い！」の声と共に「おかわり」続出



で大好評でした。次に「マイリーフ作り」。春と秋に隊員が採取して「押し葉」にした葉っぱをラミネート加工して完成させました。

最後は修了式です。榎棒代表幹事がお礼の挨拶をし、次に森しり隊員全員が1年間の感想文を発表、キノコの植菌や下草刈り、運動会、ソリ滑り等々子供たちは楽しい思い出を作れた様子でした。



保護者の方からもコロナで思うように出歩けない時に自然と触れ合う機会を作ってくれた事等々、感謝の言葉をいただきスタッフ一同感激しました。そして、子どもたちに森のイタヤカエデで作った修了証の楯を一人ひとりに手渡して、記念写真を撮って終了しました。一年を振り返ると、子供たちは森を育てる体験を通して、自然と触れ合う事の喜び、森が私たちにとって無くてはならない大切な存在である事を記憶の片隅に少なからず刻んだことと思います。

(4) 親子森林教室の関連資料

(1) 親子森林教室の参加人数の推移

		子どもの参加人数	1年間の延べ参加人数 (人)				合計
			子ども	保護者等	小計	協会員	
2016年度	第一期	11	53	52	105	109	214
2017年度	第二期	17	100	79	179	115	294
2018年度	第三期	9	47	46	93	115	208
2019年度	第四期	15	83	82	165	98	263
2020年度	第五期	12	68	86	154	124	278
2021年度	第六期	25	122	135	257	123	380
6年間の合計		89	473	480	953	684	1,637

(2) 募集チラシ (2020 年度版の表面)



(3) 1年間の活動スケジュール (2021 年度)

回数	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目	7回目
開催日(日曜日)	2021年4月18日	6月13日	7月11日	9月26日	10月17日	2022年2月13日	3月13日
場所	すまのかんふらうん 澄川環境林	すまのかんふらうん 澄川環境林	すまのかんふらうん 澄川環境林	ののぼらんふらうん 野樺森林公園	すまのかんふらうん 澄川環境林	すまのかんふらうん 澄川環境林	澄川環境林 保護センター-輪廻
開始時間 ～終了時間	午前10時 ～午後2時30分	午前9時30分 ～午後2時30分	午後2時 ～午後8時	午前9時30分 ～午後2時30分	午前9時30分 ～午後2時30分	午前9時30分 ～午前12時	午前9時30分 ～午後2時30分
活動テーマ	森に触れる	木の種をまく	工作をして夜の森を探索する	木を植える	森の運動会に挑戦する	木を切る	1年間のまとめをする
主な活動項目	<ul style="list-style-type: none"> 開校式を行う 自己紹介 活動の目標 約束事 安全に活動するための 	<ul style="list-style-type: none"> 木を育てる方法を学び、ハルニレの種をひろってまく 五感で感じる森歩きをして、森のはたらきを学ぶ ホームプレートを作る キノコの菌を植える(積菌体験) 	<ul style="list-style-type: none"> 下草刈りを体験する 森の木で"ドングリそりばん"や"ホールペン"を作る クワモリの話を聞いて、夜の森でクワモリとホタルを観察する 	<ul style="list-style-type: none"> 台風で被害にあった野樺森林公園の森を再生する"植樹祭"に参加し、木を植える 葉っぱのはたらきや季節の変化を学ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> 森の運動会で、地図を見ながら森の中を歩き、きめられた活動をやりとてゴールをめざす 山取り苗を作る マイリフ作りの葉っぱを取る ノコギリで木を切る 腐葉土を観察する コウ、ヤマブドウを取ってあじわう 薪割り体験する 	<ul style="list-style-type: none"> 冬の森を歩き、冬芽や動物の足跡を観察する チェーンソーで木を切るところを見学する 樹高をはかり、整理伐を体験する 	<ul style="list-style-type: none"> 樹液を採取してあじわう マイリフを作る 修了式を行い、1年間のまとめをする

(注)①開催日が雨天中止となった場合は翌週の日曜日に開催します。

(4) 森しり隊だより (2019 年度 VOL.3 表面・裏面)



6-2 教育支援

2002年の北海道森林ボランティア協会設立当初から森林の保全育林活動を目的に教育支援活動を行ってきました。2012年の10周年以降も継続して活動を進めてきましたが、この間札幌工科大学の支援活動は2014年で終了。ホームマックのCSR活動である澄川での幼稚園児の活動支援は2014年から2017年の4年間で終了した。また、北海道林業技士会を通じて行ってきた幌南小学校の藻岩山「幌南の森」における野外学習の支援として、子どもたちが安全・安心に散策できるように山道の草刈り、危険木の処理を継続して行ってきました。

これらの活動の経緯につきましては、森ボラのホームページをご覧ください。

(1) 各種の教育支援活動（澄川南小学校の活動を除く）

菊水いちい幼稚園植樹会の報告

(2014年9月 ボラ通148号より)

北海道森林ボランティア協会は今年度から3年契約でホームマックさんの環境活動の一環として行われている植樹活動の支援をすることになりました。



植栽予定地として7月からC-4の0.5haを開墾し今年4回の植樹会に備えました。第一弾として8月18日黄色いヘルメットを被ったいちい幼稚園の園児18名とその保護者、兄弟を含めて50名が参加し我が協会会員も15名がお手伝い役として参加しました。

子供達が幼稚園で組み立てたヤチダモのカミネッコ75鉢が持ち込まれ25か所に3鉢ずつ巣植をしましたが、子供達の歓声が森に響き、孫世代から元気を貰いました。

札幌工科大学の森林教室

(2014年9月 ボラ通148号より)

8月5日札幌工科大学緑地科の学生に支笏湖国有林で森林教室を実施しました。前日にはチェーンソー、刈払機、下刈り鎌を運び近くの枯れた木を倒して教材づくりの準備。当日は強風と雨で森林教室が危ぶまれましたが、講師役として参加した協会会員4名が待つなか、10時過ぎに女子2名を含む学生13名と先生2名が到着。

「あんぜん手帳」をテキストに学習し、それぞれチェーンソー班、刈払機班、手刈り班に別れ持ち回りで現場実習を行いました。2年生は機械の操作は慣れているようでしたが、1年生はこれからたくさんの経験を積み重ねて成長してくれると期待しています。



今年の幌南の森活動

(2014年11月 ボラ通159号より)

花王の助成事業としての「大人と子供の学びの森「幌南の森」体験学習プログラム」は最終年の3年目を迎えています。当協会の幌南の森の活動の始まりはカミネッコンの北の森づくりサークルへの支援事業でしたがいまは北海道林業技士会とモーニングロータリークラブもコラボして学校を支援しています。

学校側も初期の渡辺校長時代から佐藤先生の時代を経て加瀬先生が担当となり総合的な学習の時間を有効に利用されて毎年4年生と6年生が森に来ています。



藻岩山幌南の森…幌南小学校4年生自然観察会 (2016年7月 ボラ通170号より)

6月29日10時40分幌南小学校4年生88名が総合的な学習の時間としてゴンドラに乗ってやってきました。林業技師会のゲストティチャーに会員2名が加わって9つに班分けして、残りの会員10名は補助員として樹木園まで往復して観察会を行いました。

今年は12時過ぎまでおおむね順調に終了しました。台風被害から12年経ち植栽する場所がなくなったこと、協定地が狭くなったこと、滞在時間が短くなったことなどから当初の計画とは違って植栽実習はできず協定地上半分での観察会のみとなっています。



(2) 澄川南小学校の総合学習支援

2014年から始められた澄川南小学校の総合学習支援活動は、初年度は2年生、4年生で始まり、次第に各学年へ拡大が図られる様になり2019年度には2～6年生に広がった。但し、2020年は新型コロナにより全ての活動は中止となった。2021年度については、感染状況を確認しながら活動が進められた。活動内容としては、コクワ蔓を使ってのカンジキ作りやこのカンジキ・スノーシューを履いての冬の森の散策、冬芽の観察、動物の足跡観察、マイツリーの選木や樹名板の作成・取付け・観察会、葉っぱの役割・ドングリの発芽・種の運ばれ方などの林内学習等多様な活動である。澄川南小学校の活動の経緯につきましては、森ボラのホームページをご覧ください。

澄川南小学校 3 年生澄川環境林で自然観察会 (2015 年 6 月 ボラ通 157 号より)

澄川南小学校では環境教育の一環として学校に隣接する札幌市澄川都市環境林で四季を通して森林環境教育を実施する事になりました。今回第一弾として6月3日に3年生48名が訪れ、澄川の森の様子を知って貰いました。ヘルメットを被り、長そで、手袋、長靴そして水筒持参の子ども達は3名の先生の引率と協会員2名の案内で一時間半程の林内散策でした。

低学年のせい木への興味よりもササの葉で音を鳴らしたり、トクサやホウノキの大きな葉っぱ等を手のひら一杯に摘み、“これ何これ何”と質問が飛び交う中で、蟬の抜け殻には目を丸くして自然を楽しんでいました。



澄川南小学校 3 年生樹名板作り (2015 年 12 月 ボラ通 163 号より)

10月30日(金)3年生の工作の時間に自分達が選んだマイツリーの樹名板作成の授業にお邪魔しました。

13のグループは図鑑などで調べた事を話し合って木の名前、樹高、葉っぱの特徴などを下書きしたものを持ちよりボランティアのおじさん達が作った板(ミズナラ、シラカンバ、ホオノキ)に色付けをして1時間ほどで出来上がりました。

驚いた事に木の名前と一緒にラテン語の学名を書き記した事でした。森での天真爛漫な子供たちも授業となると真剣に工作を楽しんでいました。



澄川南小学校 2 年生林内観察会(紅桜公園横の森) (2018 年 4 月 ボラ通 191 号より)



今年は2月26日、2年生70名が学校近くの紅桜公園横の森に冬芽と動物の足跡観察にやってきました。

酒井さんから当協会の紹介並びに観察会の内容説明の後、スノーシューを前日に履く練習をしたせいか素早く履き終えた子と少し協会員が手伝って履き終えた子、色々ですが昨年より15名ぐらい増えたにも関わらずスムーズに終えた気がしました。

6-3 研修セミナー

2002年11月から始められた研修セミナーは、10周年以降も継続して開催してきています。一つは安全管理と救命講習会（3年毎）、そして森での活動に結び付く「エゾシカ」「ヒグマ」「樹木の病害」等のテーマや時代を反映した「生物多様性」「生態系サービス」等のテーマを選び、協会外部の専門家の講師の皆さんの協力を得て進めてきました。

ボラ通から抜粋を掲載します。興味のある方はホームページで全文をご覧ください。

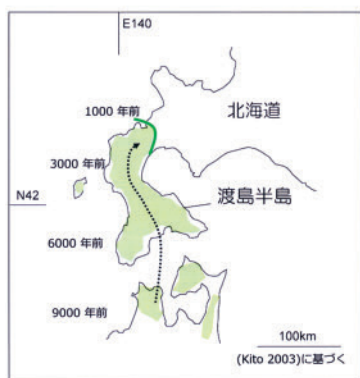
◆ 北海道のブナの遺伝子について

(2014年1月 ボラ通140号より)

森林総合研究所 北村先生には今年3月に続いて2度目のお願いをしました。今回はブナの遺伝子についての話で黒松内低地帯では遺伝子多様性が高く維持されているが、より北限の最前線では集団が著しく小さい為、遺伝子多様性に歪が生じていて北進過程に伴って遺伝子多様性が蓄積されることが期待されるという事でした。人間と同じで樹木もそれぞれ異なった遺伝子があり、遺伝子の多様性が高いと言う事は種類を多く持っているか又は均等に持っている事らしい。ブナは鹿児島

の高地から北海道の黒松内低地まで広い範囲で生息している樹木で北に行く程、葉が大きい、と言う事は成長も早いのだろうか。今でも北進を続けているが最終氷期が終り南から約20,000年かけて現在の地までたどり着いたとなると札幌まで来るのはいつだろうか、北限地帯のブナ林は本州のブナ林に比べて多様性が低いらしいが低いと突発的な環境に対応が出来ない為、いろいろな交配をしながら多様性が高まって環境にも対応できれば北進の動きも出てくるのだろうか。又、島でのブナの北限は奥尻島で渡島半島のブナよりかは本州の太平洋側の遺伝子に似たブナが大半を占め多様性も高いレベルらしい。

現在のブナ北限は、分布の最前線



◆ 『森林資源としてのエゾシカ (現状そして今後)』 (2014年12月 ボラ通151号より)

松浦さんは森林総研北海道支社に勤務し森林生態系に強い影響力のあるエゾシカの研究をしています。また、女性ハンターの団体「TWIN」を設立し代表を務めています。

1. 最近のシカ問題

森林におけるエゾシカによる被害は、樹皮食い、角研ぎによる樹木の枯死、下層植生の消失、森林更新が出来ない、土砂流出などがある。生息数は道庁の推定では、約56万頭と最近の狩猟の成果から若干減少傾向にある。しかし、北海道西部では横ばい傾向にあり、支笏湖周辺で冬を過ごして夏は札幌や北広島近郊の畑や牧草地に移動している。中には100kmも移動するシカが確認されている。スマートディアと呼ばれる学習能力に優れたシカが現れ、禁猟区域・時間に出没し捕獲するのが難しくなっている。シカの繁殖力は非常に高く、1年に21%増えて4、5年で倍の生息数になる、などの問題点が指摘されました。

2. ハンターの役割と現状

ハンターは野生動物管理の担い手となって活躍が期待されているが、60歳以上が40%を占める高齢化が深刻な状況となり、絶滅危惧種と呼ばれている。女性ハンターが占める割合は、全国で0.7%、北海道では少し多く1.7%となっている。世界中の女性ハンターの組織化が進んでいて「TWINN」では、女性ハンター同士の情報交換や服装の提案など女性の狩猟環境の整備に力を入れている。一方、狩猟事故による死者は年間に10人前後で推移しており、マナー向上を通じて死亡事故、他損事故の減少が求められている。



3. 森林資源としてのシカ肉

シカ肉は高タンパク、低脂肪、低カロリーで鉄分も豊富な食材として魅力が大きいが流通しているのは全体の17%です。旬のジビエ（狩猟によって捕獲された野生の鳥獣）としてもっと食べて、生物多様性の実現に貢献しましょう！と結ばれました。

質疑応答では流通の点から高価になっていること、好む樹皮はオンコ、ハルニレなど。食べなきただのゴミ、我々も機会を作ってもっと食べて森林の育林・管理に貢献しましょう。

◆『揺れ動く大地—札幌は千島前弧西進の変形フロント』

(2019年4月 ボラ通203号より)

3月13日の冬季セミナーは札幌エルプラザにおいて、(株)アイピー（地質情報室）宮坂省吾博士に表題の講演をしていただきました。

1. 北海道はどこから来たのか？

北海道南西部は白亜紀～1500万年前にアジア大陸東縁から日本海が拡大する形で現在の位置に移動しました。北米・ユーラシアの両プレートの収束により、サハリン・北海道右横ずれ衝突帯やシベリア左横ずれ衝突帯ができ、「羽交い絞め」にされて南東に押し出されて出来ました。

2. 北海道は何者か？

サハリンから北海道にかけては、数百kmから千kmを超える長さのサハリン・北海道右横ずれ断層があります。

1995年5月に起きたマグニチュード7.5のネフチェゴルスク地震は、この断層の北部で起こりました。北海道はオホーツクプレートとアムールプレートの境界付近に位置し活動的な断層の近くであると言えます。



3. 北海道はどこへ行くのか？

千島前弧スリバー（細長い地殻）が西に移動し、千島火山フロントに沿う右横ずれ運動が起こり、知床半島・国後島・択捉島・ウルップ島の雁行配列が形成されました。また、前弧スリバーの西端部は逆断層によって隆起し、白糠丘陵・豊頃丘陵や日高山脈を形成しました。千島前弧衝突の最前線は馬追丘陵西端の活断層です。胆振東部地震はこの変形フロントで発生したと見られ、東上りの逆断層と推定されています。

4. 切迫している超巨大地震

札幌市の地下には直下型地震を引き起こす活断層があり、今後これらの活断層による地震が発生する可能性があります。（推定最大震度は7）。日頃から家庭内の地震防災対策が被害を最小限にします。

◆ 森林総研石原誠先生講演会「木が枯れてゆく」（2020年2月 ボラ通213号より）

木は何故枯れるのか、病原体について、線虫、キノコ、カビ、ウイルスの仲間、流行メカニズム、懸念される樹木病害と対策について学びました。特に北方の森林の凍害の傷からの感染、雪腐れなど興味深いお話がありました。またアジア起源の樹木の病気が欧米で猛威をふるいアメリカ栗は絶滅の危機にあり Ash セイヨウトネリコの枯死が問題となっていると報告されました。



◆ 吉田俊也教授「択伐施業林の50年 毎木調査からわかったこと」

（2021年4月 ボラ通227号より）

今回は、北大FSC森林圏ステーション（現在の呼称）の北管理部（雨龍・中川・天塩）部長で雨龍・中川訪問の際にもお世話になった吉田俊也教授に3月18日、Lプラザに来ていただき講演を聞くことが出来ました。広葉樹天然林で50年間択伐しながら保全して来た遠大な研究結果です。北海道には放置された天然林が沢山あり金にならないので採石場になったり伐開され太陽光発電場になったり投資用に外人に売られています。このようにもう成長しなくなった木だけを切って販売しながら森を育てていくことで採算の合うような日が早く来ることを期待します。



中川択伐施業林訪問時の択伐試験地の全景

6-4 研修旅行

研修旅行では、北海道内にある大学演習林の訪問の人气が高く北大苫小牧3回、雨龍・中川、東大富良野2回、九大足寄等を見せて頂きました。

北大雨龍・中川研究林を訪問させて頂いた後、この双方の統括部長をされている吉田教授には2021年3月に札幌でのセミナーをお願いした。また、ブナ林の見学も人気があり2004年の歌オブナ林、2005年の島牧ブナ林、2014年の奥尻島ブナ林、2016年の黒松内（歌オ）ブナ林、そして2017年は海を渡り青森白神のブナ林を訪れました。この間、森林総合研究所の北村系子研究員には2013年3月のセミナーで「北海道のブナの遺伝子について」話をして頂きました。

最近では、2020年に近自然森づくり理事長の岡村俊邦氏に「生態系サービス」についてのセミナーをして頂くと共に岡村先生が関わっている「平取町イオルの森」に研修旅行で訪れた。

ボラ通から抜粋を掲載します。興味のある方はホームページでご覧下さい。

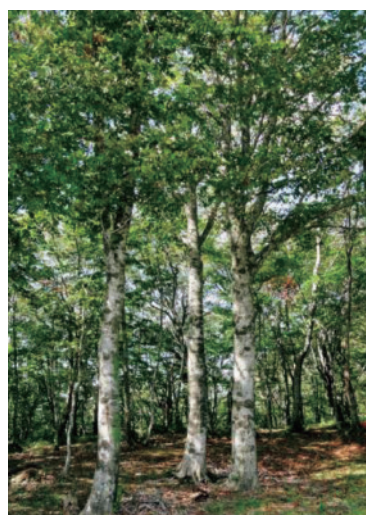
◆ 奥尻島のブナ

(2014年11月 ボラ通150号より)

昨年冬のセミナーで北海道のブナについて森林総研の北村先生にお話して頂きました。その時の話にも出てきましたが道南の離島である奥尻島にもブナが育成していること、では離島にも渡ったブナが何故、黒松内エリアから中々北上することが出来なかったのかの疑問もありますが、まずは奥尻島のブナを見てみようということで今年の研修旅行は奥尻島訪問になりました。私は奥尻島の現地を見るまでブナの森とは言っても日本海の離島であり気象条件



も厳しいところですので矮性化した樹高の低いブナが育っているのでは？と考えていましたが、現地のブナを見てその大きさに驚かされました。我々が見せて頂いた復興の森のブナは、明治～大正時代にかけて他の産業の為に伐採され、現在はその二次林が育っているとのことですが、当時伐採されなかった一部の木が大きく育ち、樹高12～15m、胸高直径160～180cmあり、樹齢約300年とのことでした。



日本列島のブナは、花粉分析から更新世（約258万年前～約1万年前）前期の80万年前には日本列島の植物社会のなかで安定した地位を確立していたと言われ、ヨーロッパブナがオリエントブナから分化したのが最終氷期以降の10万年以内と言われていいます。また、ヨーロッパのブナはその殆んどが伐採され、現在見ることのできるブナ林は絶滅を心配して植栽された人工林とのこと、日本のブナ林も多くの森林が伐採されましたが、僅かに残された東北地方を中心とした天然林を守ろうという動きが20世

紀末におこり、白神山地などが保護されることになりました。北海道でも黒松内低地などで保護活動が始まり今日に至っています。日本のブナは非常に原種に近い存在だけに今後も残して行きたいものです。

◆ 研修旅行・黒松内ブナ林紀行

(2015年10月 ボラ通161号より)

幕末の蝦夷地探検家、松浦武四郎が東蝦夷日誌に、ブナノキタイ、これブナ多きがゆえ名づく。後ろウタサイ山有りと記している。歌オブナ林を含む一帯は昔からブナの多い所でした。ところが、明治以降開拓が進むにつれブナは薪材として伐採され、また太平洋戦争末期、木製戦闘機のプロペラ材として、一部が伐られそうになったり、町の財政的事情から天然記念物指定を解除しようとする動きがあったりの歴史がありました。

ブナは温帯域に生育する落葉広葉樹で、千葉県と沖縄以外の45都道府県に自生しています。黒松内低地帯にある歌オブナ林は自生の北限になります(人の手によって植えられたブナが、士別、旭川、富良野、遠軽、厚岸、札幌等で育っているようです)。=歌オブナ林より=



今回の研修はブナセンター齋藤均学芸員の案内で、一日目はブナ林再生プロジェクトを実施している現場に案内していただきました。昔、薪として伐採され、今は一面ササの原になっている斜面に、上から何本かの筋を切り、山採りした稚樹を間隔を置いて密植し、伸長成長させる。ササを2m×5mでブロックして、稚樹に陽が当たるようにする。稚樹がササより大きくなり、頭を出せば後は自然に任せる。このような方法で、すでに3,000本から4,000本植えているという説明でした。

◆ 世界自然遺産白神山地を歩いて

(2017年11月 ボラ通188号より)

今年の森ボラ研修旅行は青森県と秋田県にまたがる白神山地を17名の参加者で回ってきました。この日の目的地岳代自然教育林を1時間ばかり歩きました。ウッドチップの散策路のまわりは巨岩をつかんだ樹齢2～300年の霊気漂うブナの大木がウエルカムです。柔らかな木肌には森の優しさがああります。林床にはアズキナが赤い実をつけナニワズの緑が元気です。

教育林の帰りは藤琴川の溪谷美を堪能し宿泊地中津軽郡西目屋村ブナの里白神館に入りました。



翌日は研修のメインイベント津軽峠から高倉森のトレッキングでした。暗門アクアビレッジでガイドさんが同乗し、春秋林道建設中止により平成5年従来無名であった広大なブナ林約17千haが白神山地世界自然遺産登録となりました。ガス模様の中完全装備で出発。ブナの葉に落ちた雨が枝から幹へそして根元にと流れています。

峰楓やクロモジ、サビタ、獅子頭等林床植物の名前を確認しながら足場の悪い杉道を登り高倉森(829m)到着です。岩木山は雲隠れ、目鼻をつけたら顔になりそうなマザーツリーをバックに記念写真後ビジターセンターで白神遺産の概要を知ることが出来ました。今日のコースはその一部でした。



◆『知床の自然から学ぼう!』

(2018年10月 ボラ通197号より)

知床100平方メートル運動は、1977年「知床で夢を買いませんか」の運動で土地が確保され、1997年からはじまった「知床で夢を育てませんか」の運動では確保した運動地を原生林に戻すという仕事を進め現在もまだまだ続いている。

運動の森づくりは「不変の原則」に基づき900ha運動地全体を五つの区画に分け、5年で一巡する回帰作業方式を取り入れている。この回帰作業が四巡した20年ごとに中期目標の確認を行い、さらに100～200年後の長期目標の達成を目指している。

本格的な森づくりのスタート時点から大きな壁となったのはエゾシカである。シカは1980年代から知床半島の広い範囲で増加し、1990年代後半には多くの広葉樹が枝葉や樹皮をシカに食べられ枯れていく状況となり、シカの食害を防ぐために「防鹿柵」の設置が急務となった。最初は有刺鉄線で柵を囲んだが直ぐにシカに侵入され、試行錯誤の結果、牧畜の金網フェンスや木板で囲うようになった。



シカ柵(H=4m)の設置状況



「オホーツクの森」説明を受ける

6-5 東日本大震災現地訪問

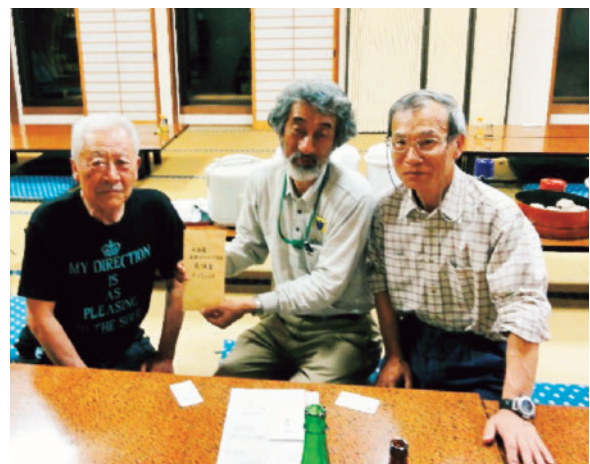
2011年3月11日午後2時46分頃、東日本は千年に一度とも言われる大きな揺れに見舞われました。札幌は震度3位の緩やかな揺れでしたが、震源に近い仙台市は震度7レベルの揺れで建物等に大きな被害が出ていました。また、超高層ビルの立ち並ぶ首都圏では長周期振動により大きな揺れとなり、交通機関がストップし大混乱を生じていました。更に、今回の地震はマグニチュード8.9（後に訂正され9.1に）と日本で記録が残されている地震としては最大級であり、且つ大きな津波を伴うものであった。津波の大きなところでは20～30mの高さにも及ぶもので田老の万里の長城とも言われた防潮堤を一飲み破壊してしまった。

森林ボランティア協会の中でも東北の被災地に対する支援を行うべきとの議論が起き、義援金を集めることになり、贈り先としては被災地に直接ということで、萩田が以前より関わってきた「森は海の恋人植樹祭」を行っている団体に贈ることとなった。地震から約3カ月後の2011年6月酒井氏、市山氏、釣井氏と萩田の4名で苫小牧東港から秋田港に上陸した（仙台港は使用不可）。今回の目的は被災地の状況確認と、とりわけ津波対策の一つとしてこの地域は江戸時代から海岸線に多くの松林が造成されていましたが、今回の津波に対してどの様な働きがあったのか？を確認することです。

森は海の恋人植樹祭 一大震災犠牲者の鎮魂と海の復興を願って―

平成元年に始められた「森は海の恋人植樹祭」も今年は23回目となりました。何事も無ければ例年の様に全国から大勢の人々が「ひこばえの森」に集い楽しい植樹祭が行われるはずでした。ところが、3月11日に起こった東日本大震災で発生した大津波はこの植樹祭の主催者である畠山重篤さんの養殖場のある気仙沼西舞根湾も襲い、牡蠣・ホタテの養殖イカダをはじめ工場のあらゆるものを飲み込み、植樹祭の資料や植樹祭で使っていた多くの大漁旗等も一緒に持ってしまいました。畠山さん達「海の民」は今年の植樹祭の開催は無理と思ったとのことですが、一方、植栽地のある大川の上流岩手県一関市室根の「山の民」からこの様な時こそ復興を願って「植樹祭」を行おうとの話があり、畠山さんも思案の末やる元気を出されたとの事です。私は3年ぶりの再会でしたが、長い髭の下の顔はかなり疲れた様子が伺えました。この約3カ月非常に大変であったと思います。植樹祭の前夜、夜遅い時間になりましたが畠山重篤さんが宿の方に来て下さり、皆さんからの義援金をその場で贈呈することができました。

翌朝、植樹祭の行われる一関市室根の「矢越山ひこばえの森」に向かいました。車を降りてから手入れのされた杉林の間を30分ほど歩いて漸く植樹祭の会場に到着です。会場には何時に無く報道陣が多く、テレビの中継も行われるとの事。でも一般の参加者は例年よりも少なく600人位と感じられました。植樹祭は被災犠牲



者への黙祷が捧げられ、始められました。でも全国から注目されている被災地のイベントであり、行事が多くいつもより長い時間を要しました。植樹は一人1本程度であり、我々は早々に植栽して山を降り車の置いてある水車まつりの会場で昼食のホタテ飯（水山養殖場手作り）を頂き、畠山さんの奥様にご挨拶して次の調査目的地仙台平野に向かいました。

この活動は、復興の状況確認を行うため翌年からも継続して行い2011年から2016年まで2015年を除き都合5回、述べ16名のメンバーで実施しました。



7 資料編

7-1 活動年表

活動年表(作業記録)・10周年記念誌森ボラ年表から続く

西暦	月	日	曜日	内 容	参加数	
2012	4	3	火	澄川・樹木園整理、整理伐	10	
		6	金	澄川・林内整備	11	
		9	月	ラルズビル・幹事会	9	
		10	火	基地周辺・整理伐	16	
		13	金	りんご園・枝処理	8	
		17	火	澄川・樹木園整理、整理伐	13	
		19	木	澄川・林内整備、烏柵舞・残雪調査	15	
		23	月	澄川・林内整備	11	
		24	火	澄川・林内整備	13	
		27	金	臨時幹事会(総会準備)	11	
		5	2	水	リンケージプラザ・理事会/第10期定期総会	25
			5	土	澄川・キノコホダ木管理	4
			8	火	澄川・林内整備・毎木調査の準備	17
			9	水	支笏湖 CGC 烏柵舞の森・毎木調査	17
	10		木	支笏湖 CGC 烏柵舞の森・毎木調査	16	
	12		土	支笏湖ぶんぶんの森・第7回道新ぶんぶんの森植樹祭	9	
	13		日	野幌開拓の村・「都ぞ弥生」100年記念植樹会支援	7	
	14		月	ラルズビル・幹事会	9	
	16		水	澄川・林内整備/看板作成 白幡山・ステップアップ研修	10 2	
	17		木	支笏湖 CGC 烏柵舞の森・アカエゾマツ植栽	20	
	18		金	支笏湖 CGC 烏柵舞の森・ミズナラ/ハルニレ植栽	13	
	21		月	澄川・ゴミ清掃活動	16	
	6		22	火	リンゴ園・花摘み	6
		23	水	澄川・樹木園整理、看板作成	12	
		25	金	リンゴ園・花摘み	7	
		28	月	リンゴ園・花摘み	4	
		29	火	澄川・樹木園整理、看板作成	14	
1		金	リンゴ園・花摘み	4		
2		土	澄川・樹木園整理、看板作成	11		
4		月	支笏湖 CGC 北海道の森・下草刈り	13		
5		火	支笏湖 CGC 北海道の森・下草刈り	12		
6		水	ラルズビル・幹事会	12		
7		木	リンゴ園・花摘み	6		
8		金	澄川・樹木園整理、看板作成	10		
9		土	野幌森林公園・下草刈り/生長調査	9		
12	火	支笏湖 CGC 北海道の森・下草刈り/枯損木調査	18			
13	水	支笏湖 CGC 北海道の森・下草刈り/枯損木調査	17			
14	木	リンゴ園・摘果 澄川・ローソン看板作成	6 1			
16	土	当別青山・下草刈り 澄川・ローソン看板作成	6 1			
19	火	澄川・ローソン看板作成 リンゴ園・摘果	1 6			
20	水	澄川・樹木園整理、ローソン看板作成	4			
22	金	リンゴ園・摘果	5			
23	土	澄川・樹木園整理、ローソン看板作成	8			
25	月	支笏湖 CGC 烏柵舞の森・CGC ジャパン植樹祭準備	17			
26	火	支笏湖 CGC 烏柵舞の森・CGC ジャパン植樹祭	16			

西暦	月	日	曜日	内 容	参加数
		27	水	澄川・林内整備	7
		28	木	幌南の森・幌南小学校3年生体験学習 白幡山・ステップアップ事業	6 2
		29	金	支笏湖復興の森：7-11の森 / 自前管理の森・下草刈り	10
7	2	月	月	澄川・林内整備	12
	4	水	水	栄町小学校・積木広場	2
	5	木	木	幌南の森・幌南小学校体験学習	12
	6	金	金	リンゴ園・摘果	6
	7	土	土	澄川・林内整備	12
	9	月	月	澄川・林内整備	9
	10	火	火	澄川・看板製作 リンゴ園・摘果	1 5
	11	水	水	リンゴ園・摘果	3
	12	木	木	ラルズビル・幹事会、10周年記念行事会議	14
	13	金	金	澄川・林内整備、薪炭材準備	14
	17	火	火	澄川・林内整備、薪炭材準備	8
	18	水	水	リンゴ園・摘果	3
	19	木	木	澄川・林内整備、薪炭材準備	12
	21	土	土	青山当別・下草刈り	7
	23	月	月	当別白樺センター・ステップアップ研修	1
	24	火	火	ぶんぶんの森・地拵え調査	1
	25	水	水	澄川・林内整備、薪炭材準備	13
	27	金	金	支笏湖 CGC 烏柵舞の森・植栽調査	1
	28	土	土	澄川・林内整備、薪炭材準備	13
	31	火	火	澄川・炭焼き、ホテル観賞会	14
8	1	水	水	澄川・炭取り出し作業（雨で延期）	6
	3	金	金	澄川・林内整備、CGC 北海道の森補植準備	10
	7	火	火	ラルズビル・幹事会 大通公園・納涼会	12 13
	8	水	水	澄川・看板作成作業	2
	9	木	木	支笏湖 CGC 北海道の森・下草刈り	16
	10	金	金	支笏湖 CGC 北海道の森・下草刈り	15
	13	月	月	支笏湖 CGC 烏柵舞の森・植栽指導	3
	18	土	土	有明・ササ下草刈り及び植栽	7
	20	月	月	澄川・林内整備	3
	22	水	水	澄川・林内整備、CGC 北海道の森補植ポット苗準備	13
	23	木	木	支笏湖 CGC 北海道の森・下草刈り / 枯損苗の補植	15
	24	金	金	支笏湖 CGC 北海道の森 / コンサ 100年の森・下草刈り	13
	27	月	月	澄川・林内整備	11
	29	水	水	リンゴ園・葉もぎ	5
	30	木	木	澄川・林内整備	13
	31	金	金	リンゴ園・葉もぎ	6
9	1	土	土	澄川・林内整備、幌南小学校ホダ木整備	12
	3	月	月	澄川・林内整備、10周年事業準備	15
	6	木	木	リンゴ園・袋外し / 葉もぎ	7
	7	金	金	ラルズビル・幹事会	12
	11	火	火	澄川・林内整備、10周年記念行事準備	8
	12	水	水	リンゴ園・袋外し / 葉もぎ	6
	13	木	木	リンゴ園・袋外し / 葉もぎ	5
	14	金	金	リンゴ園・袋外し / 葉もぎ	8
	15	土	土	室蘭・ミズナラの苗引き取り	2
	18	火	火	澄川・林内整備、10周年記念行事準備	16
	19	水	水	支笏湖 CGC 烏柵舞の森・北日本スーパーマーケット協会植樹祭 支援	7
	20	木	木	リンゴ園・袋外し / 葉もぎ	6
	21	金	金	リンゴ園・袋外し / 葉もぎ	5
	22	土	土	澄川・林内整備、10周年記念行事準備	15

西暦	月	日	曜日	内 容	参加数
		24	月	澄川・林内整備、10周年記念行事準備	11
		26	水	澄川・林内整備、10周年記念行事準備	12
		27	木	リンゴ園・袋外し/葉もぎ	6
				白幡山・道ステップアップ	2
		29	土	澄川・林内整備、10周年記念行事準備	14
	10	1	月	ラルズビル・10周年記念行事全体会議	18
		2	火	澄川・林内整備、10周年記念行事準備	12
				リンゴ園・収穫	4
		3	水	澄川・林内整備、10周年記念行事準備	15
				リンゴ園・収穫	5
		4	木	リンゴ園・葉もぎ/収穫	6
		5	金	リンゴ園・葉もぎ/収穫	6
		6	土	澄川・林内整備、10周年記念行事準備	22
		7	日	澄川・協会創立10周年記念行事	32
		9	火	ラルズビル・幹事会	12
				池内ビル・10周年記念行事反省会	26
		10	水	澄川・札幌工科専門学校野外学習支援	12
		12	金	支笏湖ぶんぶんの森・ぶんぶんの森植樹祭準備	7
				支笏湖コンサの森・補植	4
		13	土	支笏湖ぶんぶんの森・第8回道新ぶんぶんの森植樹祭支援	7
		15	月	リンゴ園・葉もぎ/収穫	5
		16	火	アイケンの森・栗林の枝選定・竹林整備	11
		17	水	支笏湖 CGC 烏柵舞の森・植栽活動	16
		18	木	支笏湖 CGC 烏柵舞の森・オイスカ植樹祭準備	16
		20	土	道庁赤レンガ前広場・道民森づくりネットワークの集い	8
		22	月	澄川・林内整備	3
				アイケンの森・栗林の枝選定、竹林整備	8
		24	水	澄川・林内整備、木道整備	11
		25	木	リンゴ園・収穫	7
		27	土	支笏湖 CGC 烏柵舞の森・オイスカユネスコ植樹祭支援	10
		29	月	リンゴ園・収穫	7
		30	火	澄川・林内整備、木道整備	16
		31	水	リンゴ園・収穫	6
	11	2	金	澄川・林内整備、木道整備	4
		5	月	澄川・林内整備、木道整備	12
		6	火	澄川・林内整備、木道整備	11
		7	水	ラルズビル・幹事会	11
		8	木	リンゴ園・収穫	9
		9	金	リンゴ園・収穫	7
		12	月	アークス本社ビル・第二回理事会	7
				澄川・チップパー移送	1
		15	木	澄川・林内整備	14
		20	火	澄川・林内整備	12
		22	木	澄川・林内整備	13
		27	火	澄川・林内整備	3
		29	木	澄川・林内整備	12
	12	4	火	ラルズビル・幹事会	9
		5	水	澄川・第二樹木園調査	12
		6	木	澄川・林内整備	12
		10	月	澄川・林内/用具片付け	11
		12	水	忘年会・岩内(グリーンパークいわない)	22
		13	木		
		20	木	リンケージプラザ・例会/セミナー	26
2013	1	8	火	ラルズビル・幹事会	12
		10	木	澄川・仕事始め	12
		16	水	澄川・林内整備、整理伐	8
		18	金	澄川・林内整備、整理伐	3

西暦	月	日	曜日	内 容	参加数
		22	火	澄川・林内整備、整理伐	15
		24	木	リンケージプラザ・セミナー	23
		29	火	澄川・林内整備、整理伐	10
		31	木	澄川・林内整備、整理伐	12
2		5	火	澄川・林内整備、整理伐	10
		7	木	澄川・強風により作業中止	7
		8	金	ラルズビル・幹事会	12
		12	火	澄川・林内整備、整理伐	13
		15	金	澄川・林内整備、整理伐	12
		19	火	澄川・林内整備、整理伐	9
		21	木	リンケージプラザ・セミナー	14
		26	火	澄川・第二樹木園調査	10
3		6	水	澄川・整理伐	4
				幌南の森・幌南の森看板の撤去作業	4
		8	金	澄川・整理伐	10
		12	火	ラルズビル・幹事会	12
		14	木	澄川・整理伐	12
		18	月	澄川・整理伐	7
		20	水	澄川・整理伐	7
		22	金	澄川・整理伐、集材、製材	12
		26	火	リンケージプラザ・セミナー	26
		27	水	澄川・整理伐、集材、製材、樹液採取	11
		29	金	澄川・整理伐、薪作り、ホダ木、樹液採取	15
4		3	水	澄川・整理伐、薪作り、ホダ木、樹液採取	14
		4	木	澄川・整理伐、集材、製材、樹液採取	11
		5	金	ラルズビル・幹事会	11
		8	月	澄川・整理伐、集材、製材、ホダ木、樹液採取	7
		11	木	澄川・整理伐、集材、製材、ホダ木、樹液採取	16
		13	土	澄川・集材、製材、ホダ木、樹液採取	10
		17	水	澄川・木道整備	11
		19	金	澄川・木道整備	7
		20	土	リンゴ園・枝処理とチップ、老木処理	9
		22	月	リンゴ園・枝処理とチップ、老木処理	11
		23	火	ラルズビル・臨時幹事会	11
		24	水	藻岩山・遊歩道整備、樹種調査	12
		25	木	澄川・シイタケ/ナメコ/クリタケ植菌	12
		26	金	室蘭・苗木の引取り	2
				澄川・植菌、ポット苗の整備	13
		30	火	リンケージプラザ・理事会/第11回定期総会	31
5		2	木	CGC 烏柵舞の森・番地付け	7
				澄川・小屋整備、ポット苗整備	14
		3	金	澄川・小屋整備	1
		4	土	澄川・小屋整備	1
		7	火	長沼・苗木の引取り	2
				澄川・製材、サクラ調査	17
		9	木	澄川・小屋整備	2
		10	金	ラルズビル・幹事会	11
		11	土	澄川・CGC 鵜柵舞の森植栽準備	16
		13	月	支笏湖 CGC 烏柵舞の森・補植、植栽	17
		14	火	支笏湖 CGC 烏柵舞の森・補植、植栽	14
		16	木	藻岩山幌南の森・遊歩道整備、植生観察	7
		17	金	澄川・作業道整備、製材	15
		18	土	支笏湖ぶんぶんの森・第9回道新ぶんぶんの森植樹祭	10
		21	火	澄川・作業道整備、CGC 鵜柵舞の森準備	18
		22	水	支笏湖 CGC 鵜柵舞の森・人力地拵え地区準備、標準値設定	19
		23	木	支笏湖 CGC 鵜柵舞の森・人力地拵え地区準備、標準値設定	19
		27	月	澄川・作業道整備	13

西暦	月	日	曜日	内 容	参加数
		29	水	北大苫小牧研究林・研究林見学会	18
		31	金	有明の森・ササ狩り、山引き苗の植栽	11
6	1	土		アイケンの森/澄川・指標竹採取/キャリコ安全祈願	9
	5	水		澄川・作業道整備	11
	7	金		ラルズビル・幹事会	9
	8	土		当別青山オイスカの森・下草刈り支援	4
	10	月		澄川・作業道整備/苗畑整備	16
	12	水		リンゴ園・摘果	2
	12	水		支笏湖 CGC 北海道の森・下草刈り/植生観察	11
	13	木		支笏湖 CGC 北海道の森・下草刈り/植生観察	11
	14	金		有明の森・区画確認作業	3
	16	日		リンゴ園・摘果	1
	17	月		澄川・作業道整備、小屋整備	12
	18	火		野幌森林公園・蔓切り、生長調査	9
	19	水		リンゴ園・摘果	7
	20	木		澄川・作業道整備	10
	21	金		リンゴ園・摘果	6
	22	土		藻岩山幌南の森・遊歩道整備、歩道のササ刈り	9
	24	月		リンゴ園・摘果	5
	26	水		藻岩山幌南の森・遊歩道整備、歩道のササ刈り	8
	27	木		藻岩山幌南の森・遊歩道整備、歩道のササ刈り	16
	28	金		藻岩山幌南の森・遊歩道整備、歩道のササ刈り	16
7	1	月		リンゴ園・摘果	6
	2	火		リンゴ園・摘果	9
	3	水		リンゴ園・摘果	3
	4	木		藻岩山幌南の森・幌南小学校野外学習支援	9
	5	金		ラルズビル・幹事会	10
	6	土		リンゴ園・摘果	6
	9	火		リンゴ園・摘果	7
	10	水		澄川・植栽地下草刈り、薪炭材準備	13
	12	金		澄川・植栽地下草刈り、薪炭材準備	15
	13	土		リンゴ園・摘果	5
	16	火		リンゴ園・摘果	7
	17	水		藻岩山幌南の森・幌南小学校野外学習支援	9
	19	金		澄川・炭焼き準備	12
	20	土		リンゴ園・摘果	7
	23	火		澄川・炭焼き準備	13
	26	金		澄川・炭焼き準備	16
	27	土		当別青山・オイスカ下草刈り支援	4
				盤渓・札幌市中央区 PTA ふれあい DAY 支援	6
				支笏湖 CGC 烏柵舞の森・CGC ジャパン植樹祭支援	4
	30	火		澄川・炭焼き、ホテル観賞	18
	31	水		澄川・炭焼き	8
8	3	土		澄川・林内整備	12
	5	月		支笏湖 CGC 烏柵舞の森・下草刈り、人力地区植栽管理	14
	6	火		支笏湖 CGC 烏柵舞の森・下草刈り	14
	9	金		ラルズビル・幹事会	10
				大通公園・納涼会	14
	12	月		澄川・林内整備、小屋整備	11
	17	土		澄川・林内整備、ふるさと支援樹木園調査	11
	21	水		澄川・林内整備	14
	22	木		支笏湖 CGC 烏柵舞の森・下草刈り、人力地区植栽管理	16
	23	金		支笏湖 CGC 烏柵舞の森・下草刈り、人力地区植栽管理	16
	27	火		リンゴ園・袋外し	7
	28	水		澄川・林内整備	14
	30	金		リンゴ園・袋外し	4

西暦	月	日	曜日	内 容	参加数		
9		3	火	澄川・林内整備、薪作り	15		
				リンゴ園・袋外し	1		
		5	木	澄川・林内整備、薪作り	16		
				リンゴ園・袋外し/葉もぎ	3		
		6	金	ラルズビル・幹事会	11		
		10	火	澄川・小屋整備、薪作り	19		
		12	木	リンゴ園・袋外し/葉もぎ	7		
		13	金	リンゴ園・袋外し/葉もぎ	7		
		14	土	澄川・林内整備、第2回除伐講習会	12		
		17	火	澄川・林内整備、薪作り	14		
				リンゴ園・作業	1		
		18	水	リンゴ園・作業	5		
		19	木	澄川・札幌工科専門学校野外研修支援	15		
		20	金	澄川・林内整備、薪作り	1		
		22	日	澄川・看板の修理	1		
		24	火	澄川・薪作り、CGC 鶉舞の森準備	14		
				リンゴ園・作業	7		
		25	水	支笏湖 CGC 鶉舞の森・CGC ジャパン植樹祭の準備	21		
		26	木	支笏湖 CGC 鶉舞の森・CGC ジャパン植樹祭	19		
		26	木	リンゴ園・作業	1		
		27	金	リンゴ園・作業	8		
		28	土	澄川・ローソン現場学習	13		
		30	月	リンゴ園・作業	6		
		10		1	火	支笏湖 CGC 鶉舞の森・CGC ジャパン植樹祭支援	12
				2～	水	研修旅行・九州大学足寄演習林（2泊3日）	19
				4	金		
				3	木	リンゴ園・作業	1
				5	土	リンゴ園・作業	1
				8	火	澄川・林内整備	13
				9	水	リンゴ園・作業	6
10	木			澄川・林内整備	12		
				有明の森・ホームマックと現地調査	6		
11	金			ラルズビル・幹事会	10		
16	水			澄川・林内整備	5		
				リンゴ園・収穫	4		
17	木			リンゴ園・収穫	1		
18	金			澄川・林内整備、道民森づくりイベント準備	20		
19	土			道庁赤レンガ前広場・道民森づくりイベント	9		
20	日			澄川・森づくり後片付け	1		
				石狩市・クマゲラ 10周年記念行事参加	2		
22	火			有明・林内整備	7		
				澄川・林内整備	2		
23	水			リンゴ園・収穫	8		
24	木			澄川・林内整備、CGC 鶉舞の森植樹祭準備	16		
25	金			支笏湖 CGC 鶉舞の森・植樹祭準備	15		
26	土			支笏湖 CGC 鶉舞の森・オイスカ/ユネスコ植樹祭支援	15		
11				1	金	澄川・林内整備	12
				5	火	有明・林内整備	8
						澄川・林内整備	8
		6	水	リンゴ園・収穫	8		
		8	金	澄川・リンゴ園にチップパー移送	4		
		12	火	ラルズビル・幹事会	10		
		15	金	澄川・林内整備	15		
		18	月	恵庭えこりん村・オイスカ支援（森林教室の講演）	1		
		19	火	澄川・作業道メンテナンス（キャリコ用）	16		
		22	金	澄川・作業道メンテナンス（キャリコ用）	15		
		25	月	アークス本社ビル・第2回理事会	8		

西暦	月	日	曜日	内 容	参加数
		26	火	澄川・ホダ木天地返し、作業道整備	15
		29	金	澄川・植栽木の植栽防止ネット設置、チェンソー整備	16
		30	土	恵庭えこりん村・オイスカ支援（森林教室）	1
	12	3	火	澄川・遊歩道の危険木除去、食害防止ネット設置	19
		4	水	澄川・札幌市環境局澄川視察	2
		6	金	ラルズビル・幹事会	9
		7	土		
		8	日	北見市・オホーツクの森林ボランティア活動報告会（講演）	1
		10	火	澄川・食害防止ネット設置、小屋の道具整理	14
		11	水		
		12	木	忘年会 小金湯	23
		16	月	澄川・物置&道具の整理整頓	14
		17	火	KKR ホテル・北海道社会貢献賞授与式出席	2
		18	水	リンケージプラザ・セミナー	23
2014	1	9	木	澄川・雪かき	14
		10	金	ラルズビル・幹事会	10
		15	水	澄川・整理伐選木と手鋸での伐木	17
		20	月	札幌パークホテル・北海道社会貢献賞受賞祝賀会	20
		22	水	澄川・整理伐選木と手鋸での伐木	10
		23	木	リンケージプラザ・安全講習／セミナー	17
		27	月	澄川・整理伐選木と手鋸での伐木	12
		31	金	澄川・整理伐選木と手鋸での伐木	16
	2	4	火	幌南小学校大講堂・森林学習講演	12
		6	木	澄川・整理伐選木と手鋸での伐木	14
		7	金	ラルズビル・幹事会	10
		12	水	澄川・整理伐選木と手鋸での伐木	12
		14	金	澄川・整理伐選木と手鋸での伐木	11
		18	火	澄川・降雪激しく物置周辺の除雪作業	10
		21	金	澄川・ホダ木用材	11
		25	火	澄川・整理伐した材を製材用／薪用に分けて集材	16
		27	木	澄川・整理伐	13
	3	4	火	澄川・風倒地区樹肌に食い込んだテープ交換	16
		6	木	澄川・整理伐材の集材作業	12
		7	金	ラルズビル・幹事会	10
		11	火	澄川・整理伐作業終了	9
		14	金	澄川・イタヤカエデからの樹液採取	17
		17	月	澄川・整理伐材の皮むき作業	12
		19	水	リンケージプラザ・会員例会／セミナー	22
		21	金	澄川・樹木調査	13
		25	火	澄川・整理伐	15
		28	金	澄川・樹液採取	9
				有明・見出し棒確認	4
	4	2	水	澄川・整理伐、沢水水質汚濁調査	12
		4	金	ラルズビル・幹事会	9
		5	土	澄川・吹雪のため作業中止	4
		8	火	澄川・整理伐材の集材	13
		10	木	澄川・整理材玉切り、ヤチダモ種採取	6
		11	金	リンゴ園・チップパーで選定枝処理	6
		15	火	澄川・集材、玉切り、札幌市沢水の汚濁状況視察	16
		18	金	澄川・薪作り、豊平清掃事務所に挨拶	11
		20	日	澄川・ホダ木植菌（シイタケ／ナメコ）	14
		23	水	澄川・支笏湖 CGC 水明郷の森看板作成	4
				有明・竹支柱採取	12
		24	木	澄川・植栽用地のボサ整理	15
		25	金	ラルズビル・臨時幹事会	10
		30	水	澄川・苗畑整備（西岡公園のメンバー参加）	16
	5	3	土	澄川・道種苗組合からの苗木を苗畑で養生	16

西暦	月	日	曜日	内 容	参加数
		7	水	リンケージプラザ・理事会 / 第 12 回定期総会	23
		8	木	澄川・植栽列ササ刈り、支笏湖 CGC 水明郷の森看板完成	16
		9	金	ラルズビル・幹事会	11
		11	日	恵庭えこりん村・オイスカ支援	1
		12	月	澄川・キャリコ道整備、支笏湖 CGC 水明郷 / 鶉舞の森準備	13
		13	火	支笏湖 CGC 水明郷の森・標柱設置	16
		14	水	支笏湖 CGC 鳥舞の森・植栽	15
		16	金	澄川・ギャップ地整備	5
		18	日	澄川・ギャップ地に広葉樹植栽 恵庭えこりん村・オイスカ支援	13 1
		19	月	藻岩山幌南の森・遊歩道整備	13
		21	水	澄川・ギャップ地に広葉樹植栽	15
		22	木	支笏湖 CGC 鳥舞の森・人力地区整備	14
		23	金	支笏湖 CGC 鳥舞の森・こころとみどりの基金植樹祭	11
		24	土	リンゴ園・花摘み	5
		25	日	当別青山・アカエゾマツ補植、下草刈り	5
		26	月	アイケンの森・広葉樹用の指標竹採取	16
		27	火	澄川・清掃活動、苗畑整備、鎌の手入れ	14
		28	水	有明・駐車場造成、作業道草刈り、指標竹採取	10
		29	木	リンゴ園・花摘み	6
6		3	火	澄川・道路整備、ハルニレの下にシートトラップ設置	15
		4	水	リンゴ園・花摘み	5
		5	木	リンゴ園・花摘み	9
		6	金	ラルズビル・幹事会	10
		7	土	澄川・幌南小学校用の樹名板と杭穴あけ	12
		9	月	藻岩山幌南の森・地拵えとササ刈り、遊歩道整備	11
		10	火	澄川・マイマイ蛾の除去 リンゴ園・花摘み	14 1
		11	水	支笏湖 CGC 水明郷の森・下草刈り	16
		12	木	支笏湖 CGC 水明郷の森・下草刈り	15
		15	日	澄川・薪材集材 / 幌南小学校樹名板準備	10
		17	火	有明・車道の草刈り / 枯損木の除去	7
		18	水	リンゴ園・花摘み	4
		19	木	澄川・ホダ場にシイタケとナメコのホダ木設置	12
		20	金	藻岩山幌南の森・幌南小学校の樹名板設置	9
		21	土	当別青山・外来種オオハングンソウ等の下草刈り	4
		23	月	有明・ササ根整理、地拵え	9
		24	火	リンゴ園・摘果	4
		25	水	澄川・薪材を玉切り	9
		26	木	支笏湖 CGC 水明郷の森・下草刈り	15
		27	金	支笏湖 CGC 水明郷の森・下草刈り完了	15
		28	土	リンゴ園・摘果	9
		30	月	澄川・札幌樹木園の看板をハルニレの根本に設置	12
7		1	火	野幌森林公園・標準列の生育調査 / 蔓切り	10
		2	水	リンゴ園・摘果	6
		3	木	藻岩山幌南の森・幌南小学校広葉樹植栽	11
		4	金	リンゴ園・摘果	9
		5	土	澄川→北九条小学校林・薪作り、藤野の学校林視察	13
		7	月	リンゴ園・摘果 / 袋かけ	6
		8	火	澄川・薪作り、遊歩道 / リュバンド&ローソンの下草刈り	15
		9	水	支笏湖ふんぶんの森・下草刈り	17
		10	木	支笏湖復興の森 / 7-11 の森・下草刈り	14
		11	金	ラルズビル・幹事会	10
		12	土	リンゴ園・摘果 / 袋かけ	7
		14	月	有明・ササ刈り、倒木処理	7
		15	火	リンゴ園・摘果 / 袋かけ	1
		16	水	リンゴ園・摘果 / 袋かけ	8

西暦	月	日	曜日	内 容	参加数
		20	日	澄川・ホームマック対応用地の地拵え	13
		22	火	澄川・薪作り、ホームマック対応用地の地拵え	16
		23	水	支笏湖 CGC 鶺鴒舞の森・下草刈り	16
		24	木	支笏湖 CGC 鶺鴒舞の森・人力地区のツボ刈り	16
		28	月	有明・無立木地のササ刈り	5
		30	水	澄川・炭焼き窯の火入れ、ホテル観賞会	13
		31	木	澄川・炭焼き後片付け	6
8		2	土	澄川・作業道整備、炭焼き窯開き	14
		4	月	支笏湖 CGC 水明郷の森・下草刈り	16
		5	火	支笏湖 CGC 鶺鴒舞の森・札幌工科専門学校野外実習	4
		8	金	ラルズビル・幹事会	11
		11	月	澄川・苗畑の除草、蔓切り、駐車場付近のクズ除去	2
		17	日	澄川・ローソン野外活動のための植栽地整備	13
		18	月	澄川・菊水いちい幼稚園児カミネコン植栽	15
		21	木	澄川・苗マーキング	13
				澄川→幌南の森、盤溪・地拵え／草刈り	5
		22	金	リンゴ園・袋外し／葉もぎ	8
		25	月	リンゴ園・袋外し／葉もぎ	6
		26	火	澄川・E2 避難小屋建設地のササ刈り完了	15
		27	水	支笏湖 CGC 水明郷の森・下草刈り	17
		28	木	支笏湖 CGC 鶺鴒舞の森・下草刈り	17
9		2	火	リンゴ園・袋外し／葉もぎ	7
		3	水	澄川・第二大麻幼稚園児カミネコン植栽	15
		5	金	藻岩山幌南の森・苗木植栽	9
		6	土	澄川・道づくり、避難小屋用製材	11
		8	月	リンゴ園・袋外し／葉もぎ	6
		9	火	澄川・道づくり、避難小屋用製材加工	18
		12	金	ラルズビル・幹事会	10
		13	土	リンゴ園・袋外し／葉もぎ	8
		16	火	リンゴ園・袋外し／葉もぎ	7
		17	水	澄川・避難小屋のシンボルツリー伐採	13
		19	金	澄川・林内整備、「北海道森と緑」の視察	12
				リンゴ園・袋外し／葉もぎ	5
		20	土	リンゴ園・袋外し／葉もぎ	7
		21	日	澄川・ミズナラ製材	10
		24～	水	研修旅行・奥尻島（ブナの森、防潮林見学他）（2泊3日）	23
		26	金		
		27	土	リンゴ園・袋外し／葉もぎ	10
		29	月	リンゴ園・袋外し／葉もぎ	8
		30	火	澄川・避難小屋建設地鎮祭、柱搬入	19
10		1	水	リンゴ園・収穫	5
		2	木	澄川・整理伐材の製材終了、避難小屋の柱皮むき	13
		3	金	リンゴ園・収穫	5
		4	土	澄川・ローソン G. 森林保全活動（植栽）	11
		6	月	リンゴ園・収穫	7
		7	火	澄川・ナメコ用ホダ木の地伏せ作業	15
		8	水	ラルズビル・幹事会	11
		9	木	澄川・東橋いちい幼稚園児植栽	14
		10	金	リンゴ園・収穫	5
		16	木	有明・ササ刈り、植栽穴のマーキング	8
		17	金	澄川・サンサンキッズの学童自然観察会	5
		18	土	道庁赤レンガ広場・道民森づくりネットワークの集い 2014	8
		19	日	澄川・避難小屋工事	12
				盤溪 南の森・補植作業	5
		20	月	リンゴ園・収穫	5
		21	火	澄川・避難小屋工事	15
				野幌森林公園・野幌の看板メンテナンス	5

西暦	月	日	曜日	内 容	参加数
		22	水	有明・穴地に山採り苗植栽、ササ/枝チップ処理	9
		23	木	リング園・収穫	5
		25	土	澄川・桜台いちい幼稚園児カミネッコ植栽	15
		27	月	有明・澄川からのポット苗試験植栽	6
		30	木	澄川・食害防止ヘキサチューブ、杭打ち	15
	11	1	土	澄川・E2 毎木調査	12
		5	水	澄川・標準木選定、作業道新設	19
		7	金	ラルズビル・幹事会	10
				リング園・収穫	8
		8	土	リング園・収穫	9
		11	火	澄川・標準木調査、作業道整備、避難小屋工事	19
		14	金	澄川・食害防止ネット設置、避難小屋工事	7
		16	日	澄川・整理伐木の選定、食害防止ネット設置	11
		18	火	澄川・標準木選定、キャリコ道整備	14
		20	木	澄川・標準木選定、避難小屋工事	15
		21	金	ラルズビル・臨時幹事会	11
		25	火	澄川・倒木&枯損木処理、間引き作業	19
		27	木	澄川・危険木&蔓処理、基地内作業道見廻り	21
		28	金	アークス本社ビル・第二回理事会	7
	12	2	火	澄川・整理伐、避難小屋芯柱建て完了	16
		3	水	リンケージプラザ・会員例会/セミナー	25
		5	金	ラルズビル・幹事会	10
		9	火	澄川・チェンソーと刈払機整備、機械器具の棚卸	20
		12	金	忘年会 白老虎杖浜	21
		13	土		
		16	火	澄川・後片づけ	13
2015	1	8	木	澄川・除雪、かんじき作り講習会	8
		9	金	ラルズビル・幹事会	10
		14	水	澄川・除雪、間伐講習会/かんじき作り	22
		16	金	澄川・整理伐(チェンソー班/手ノコ班分かれて作業)	12
		21	水	エルプラザ・会員例会/セミナー	26
		23	金	澄川・整理伐(チェンソー班/手ノコ班分かれて作業)	11
		27	火	澄川・澄川林内案内看板を第二物置に設置	13
		30	金	澄川・整理伐	13
	2	3	火	澄川南小学校・かんじき作り講習会支援	11
		6	金	ラルズビル・幹事会	10
		10	火	澄川/紅桜公園・整理伐、紅桜公園林内視察	17
		12	木	エルプラザ・会員例会/セミナー	20
		13	金	澄川・整理伐の集材	11
		17	火	澄川・ホダ木の集材	15
		20	金	澄川・整理伐作業、集材作業完了	14
		24	火	紅桜公園・澄川南小学校の森林教室を支援	14
		27	金	澄川・ホダ木作り	12
	3	3	火	紅桜公園・澄川南小学の森林教室を支援	12
		5	木	澄川・ニセアカシア整理伐	11
		6	金	ラルズビル・幹事会	10
		10	火	澄川・天候悪化により作業中止	4
		13	金	澄川・ニセアカシア整理伐	12
		17	火	澄川・ニセアカシア整理伐、蔓切り	15
		18	水	エルプラザ・セミナー	17
		20	金	澄川・ニセアカシア整理伐の集材、蔓切り	12
		24	火	澄川・ニセアカシア巻枯らし	16
		27	金	澄川・ニセアカシア整理伐の集材	13
		31	火	澄川・上流橋改修用杭の選別確保	11
	4	2	木	澄川・整理伐、懸り木処理、集材、皮むき	17
		6	月	リング園・老木処理/剪定枝のチップ処理	8
		7	火	澄川・ニセアカシア整理伐	14

西暦	月	日	曜日	内 容	参加数
		9	木	澄川・上流境界地区の調査	16
		10	金	ラルズビル・幹事会	12
		13	月	澄川・懸り木からかんじき用コクワ蔓集材	16
		14	火	リンゴ園・老木処理 / 剪定枝チップ処理	5
		16	木	澄川・支障木処理、蔓切り	13
		19	日	澄川・シイタケ駒植菌、作業道伐根処理	12
		21	火	澄川・ナメコ駒植菌、避難小屋ラック完成	17
		23	木	澄川・実験用ニセアカシア原木にシイタケ / ナメコ駒植菌	15
		24	金	ラルズビル・臨時幹事会	12
		28	火	澄川・遊歩道ササ刈り整備（澄川南小学校校外学習用）	13
5		2	土	札幌エルプラザ・理事会 / 第13回定期総会	28
		7	木	澄川・親子森林教室の散策路検証	14
		8	金	ラルズビル・幹事会	10
		12	火	澄川・道種苗組合青年部からの苗木を養生	14
		14	木	支笏湖 CGC 水明郷の森・植生調査	14
				支笏湖 CGC 烏柵舞の森・人力地区補植マーキング	
		15	金	澄川・避難小屋作り、歩道整備、整理伐整理、ゴミ収集	14
		17	日	澄川・エゾヤマザクラの苗植栽	9
		18	月	有明・植栽サクラ大苗の添木交換	10
		20	水	澄川・作業道の維持管理	7
				藻岩山幌南の森・区画確認調査	2
				リンゴ園・摘果	5
		22	金	藻岩山幌南の森・下草刈り、竹支柱マーキング	7
		23	土	リンゴ園・摘果	8
		25	月	澄川・駐車場他に碎石、火山灰の敷き工事	1
				リンゴ園・摘果	3
		27	水	澄川・澄川南小学校の散策路再整備	14
				藻岩山・下見	4
		28	木	支笏湖 CGC 烏柵舞の森・広葉樹植栽	15
		29	金	支笏湖 CGC 水明郷の森・雨列の補修、指標杭設置	15
6		1	月	リンゴ園・摘果	4
		2	火	有明・作業道の下草刈り、植栽地整備	9
		3	水	澄川・澄川南小学校来訪	10
				リンゴ園・摘果	2
		4	木	リンゴ園・摘果	5
		5	金	リンゴ園・摘果	5
		6	土	澄川・キャリコ道砂利引き整備	12
				リンゴ園・摘果	1
		9	火	支笏湖 CGC 水明郷の森・下草刈り	18
		10	水	支笏湖 CGC 水明郷の森・下草刈り	18
		11	木	リンゴ園・摘果	2
		12	金	ラルズビル・幹事会	13
				リンゴ園・摘果	6
		15	月	澄川・澄川南小学校生徒散策、ホダ木本伏せ	15
		16	火	有明・厚別川沿い作業道整備、ギャップ地のササ刈り	10
		17	水	リンゴ園・摘果	7
		19	金	藻岩山幌南の森・下草刈り、エゾエノキ移植	10
		20	土	当別青山・オオハンゴンソウの下草刈り	5
		21	日	澄川・炭焼き用ニセアカシアとミズナラの運搬	4
				藻岩山・中央区 PTA 支援	4
		23	火	澄川・避難小屋工事	13
				リンゴ園・摘果	5
		24	水	支笏湖 CGC 烏柵舞の森・下草刈り	15
		25	木	支笏湖 CGC 烏柵舞の森・下草刈り	15
		26	金	杉本宅・樹名板の板作成	2
		27	土	リンゴ園・摘果	6
		29	月	澄川・上流橋の補修作業、ホテル池にカワニナ放流	15

西暦	月	日	曜日	内 容	参加数
		30	火	野幌森林公園・ツボ刈り、生長調査	5
7	2	木	有明・ギャップ地ササ刈り		7
	3	金	リンゴ園・摘果		5
	4	土	澄川・E2尾根部分のニセアカシア巻枯らし		15
	4	土	リンゴ園・摘果		4
	7	火	支笏湖コンサの森・下草刈り		15
	8	水	支笏湖コンサの森・下草刈り		15
	7	火	リンゴ園・摘果		1
	8	水	リンゴ園・摘果		1
	9	木	リンゴ園・摘果		2
	10	金	ラルズビル・幹事会		12
	11	土	杉本宅・樹名板作成作業（澄川南小学校用）		2
	13	月	藻岩山幌南の森・幌南小の生徒森散策		8
	14	火	有明・ギャップ地ササ刈り、チップパー処理		7
	16	木	澄川・避難小屋屋根作り作業、苗畑灌水		13
			リンゴ園・摘果		4
	17	金	リンゴ園・摘果		4
	19	日	澄川・炭焼き窯炭材充填、樹木園毎木調査		12
	21	火	澄川・北海道森と緑主催刈払機講習会		14
	22	水	支笏湖ぶんぶんの森・下草刈り		17
	23	木	支笏湖復興の森/7-11の森・生長調査		18
	26	日	澄川・避難小屋作り作業		3
	29	水	澄川・炭焼き窯点火、ホテル観賞会、ホテル池整備		13
	30	木	澄川・炭焼きの後片づけ		5
8	1	土	澄川・炭出し作業		11
	4	火	支笏湖水明郷の森・下草刈り		11
	5	水	支笏湖水明郷の森・下草刈り		11
	7	金	ラルズビル・幹事会 大通公園・納涼会		12 9
	10	月	澄川・サンサンキッズカミネッコン植栽、ノコギリ体験		11
	16	日	澄川・ローソン植樹箇所の下草刈り		6
	19	水	澄川・避難小屋ペンキ塗り、いちい幼稚園児カミネッコン植栽		16
	20	木	支笏湖 CGC 烏柵舞の森・下草刈り		16
	21	金	支笏湖 CGC 烏柵舞の森・下草刈り		16
	24	月	リンゴ園・袋外し/葉もぎ		7
	25	火	澄川・リュバンドヌールの森下草刈り リンゴ園・袋外し/葉もぎ		11 4
	26	水	有明・ギャップ地ササ刈り、チップパーでササ処理		9
	28	金	澄川・作業道ササ刈り 盤溪・閉鎖により作業出来ず		13 4
	31	月	支笏湖コンサの森・下草刈り		14
9	1	火	支笏湖コンサの森・下草刈り リンゴ園・袋外し/葉もぎ		14 2
	3	木	幌南の森・幌南小学校生徒広葉樹植栽 リンゴ園・袋外し/葉もぎ		10 1
	5	土	澄川・避難小屋でニセアカシア集材、薪作り		11
	7	月	リンゴ園・袋外し/葉もぎ		5
	8	火	澄川・澄川南小学校マイツリー選定 リンゴ園・袋外し/葉もぎ		17 1
	9	水	リンゴ園・袋外し/葉もぎ		1
	10	木	有明・ギャップ地ササ刈り、チップパーでササ処理		6
	11	金	ラルズビル・幹事会 リンゴ園・袋外し/葉もぎ		13 7
	12	土	リンゴ園・袋外し/葉もぎ		8
	14	月	澄川・澄川南小学校生徒林内散策、毎木調査 リンゴ園・袋外し/葉もぎ		14 4
	15	火	支笏湖 CGC 烏柵舞の森・作業道整備、駐車場跡地に補植		15

西暦	月	日	曜日	内 容	参加数
		16	水	支笏湖 CGC 烏柵舞の森・作業道整備、駐車場跡地に補植	15
		17	木	リンゴ園・葉もぎ	6
		19	土	リンゴ園・葉もぎ	7
		20	日	澄川・ローソン植栽地下草刈り、マーキング	8
		22	火	澄川・萌芽処理、新材の集材	19
		24	木	リンゴ園・葉もぎ	6
		25	金	リンゴ園・葉もぎ	1
		25	金	研修旅行 黒松内町歌オプナセンター（1泊2日）	22
		26	土		
		26	土	リンゴ園・葉もぎ	4
		28	月	リンゴ園・葉もぎ	1
		29	火	澄川・光の泉園児カミネッコン植栽	12
				リンゴ園・葉もぎ	6
10		1	木	リンゴ園・収穫	8
		2	金	ラルズビル・幹事会	13
		3	土	澄川・ローソン活動低気圧襲来で中止、広葉樹植栽	12
		4	日	杉本宅・道民森づくりのクラフト作成	2
		5	月	澄川・東橋いちい幼稚園カミネッコン植栽	16
		6	火	リンゴ園・NHK“ほっとニュース北海道”で放映	6
		7	水	リンゴ園・収穫	5
		9	金	支笏湖 CGC 烏柵舞の森・オイスカ、ユネスコ植樹祭準備	16
		10	土	支笏湖 CGC 烏柵舞の森・オイスカ、ユネスコ植樹祭支援	16
		13	火	澄川・台風での倒木を処理、第二大麻幼稚園植栽	15
		14	水	リンゴ園・収穫	2
		15	木	有明・ギャップ地の整備、ササ&ボサチッパー処理	7
		16	金	リンゴ園・収穫	8
		17	土	澄川・桜台いちい幼稚園カミネッコン植栽	7
				リンゴ園・収穫	6
		18	日	野幌森林公園・道民森づくりフォーラム 2015	10
		20	火	澄川・テント小屋整備、アカエゾ/トドマツポット苗養生	14
		21	水	有明・札幌市役所現場視察	9
				リンゴ園・収穫	7
		23	金	有明・避難小屋基礎杭設置	9
				澄川・テント小屋柱、梁組み完了	3
		26	月	澄川・澄川南小学校生徒散策、ニセアカシア萌芽処理	13
		27	火	有明・ギャップ地調査、指標竹採取	6
				澄川・テント小屋整備	1
		30	金	澄川南小・樹名板絵付け作業	2
				澄川・テント小屋改築完了、整理伐木の選定	16
11		2	月	澄川・樹名板用支柱設置、整理伐木選定	18
		4	水	澄川・標準木測定、作業道調査	8
		6	金	ラルズビル・幹事会	10
		7	土	リンゴ園・収穫	8
		13	金	澄川・整理伐木の選定、薪用ニセアカシア玉切り	17
		14	土	澄川・テント小屋修理	1
		16	月	アークス本社ビル・第二回理事会、 澄川・テント小屋修理	9 1
		17	火	澄川・澄川南小樹名板設置、標準木調査	17
		18	水	澄川・テント小屋修理	1
		20	金	澄川・整理伐木選定、食害防止ネット設置	16
		24	火	澄川・標準木調査、炭焼き用かまど設置	11
		26	木	澄川・豊平清掃事務所に駐車、除雪	14
		28	土	エルプラザ・さっぽろ花と緑まちづくりフォーラム	3
12		1	火	澄川・整理伐、標準木調査	17
		4	金	ラルズビル・幹事会	13
		8	火	澄川・澄川南小化粧炭作り体験学習	17

西暦	月	日	曜日	内 容	参加数	
		10	木			
		11	金	忘年会 定山溪温泉（溪流荘）	26	
		14	月	澄川・後片付け	17	
		16	水	エルプラザ・安全講習／セミナー	23	
2016	1	7	木	澄川・現場で伐採作業の安全講習会	22	
		8	金	ラルズビル・幹事会	13	
		13	水	エルプラザ・会員例会／セミナー	22	
		15	金	澄川・整理伐	13	
		19	火	澄川・整理伐、山間部を通る道づけと圧雪	8	
		22	金	澄川・整理伐、チェンソー班／手ノコ班で枝処理	10	
		26	火	澄川・整理伐材を集材	18	
		29	金	澄川・大径木の整理伐材をウインチで集材	11	
		2	2	火	澄川・澄川南小マイツリー観察会	16
			5	金	ラルズビル・幹事会	13
			8	月	澄川・整理伐、参加者でカンジキ作りの予行演習	19
	12		金	澄川南小学校・かんじき作り講習会	14	
	16		火	澄川・標準木選定	12	
	17		水	エルプラザ・会員例会／セミナー	22	
	18		木	かでの 27・多面活動事例報告会	5	
	19		金	澄川・チェンソーで整理伐	10	
	22		月	澄川・澄川南小自作のカンジキを履いて林内散策	18	
	25		木	定山溪中学校・森づくり活動発表会	8	
	26		金	澄川・整理伐	15	
	3	2	水	澄川・整理伐、標準木調査	13	
		4	金	ラルズビル・幹事会	12	
		7	月	紅桜公園・澄川南小自作カンジキを履き冬芽観察	13	
		9	水	エルプラザ・会員例会／セミナー	20	
		11	金	澄川・整理伐、標準木調査	14	
		14	月	澄川・整理伐	18	
		16	水	澄川・整理伐終了、森しり隊名札、テーブル作成準備	14	
		18	金	澄川・整理伐材の集材、樹名板の作成	14	
		22	火	澄川・ホダ木作り（シイタケ、ナメコ）	14	
		24	木	澄川・親子森林教室で使用の名札製作	10	
		28	月	澄川・テーブル用／橋桁用支柱の皮むき	15	
	31	木	澄川・集材作業	9		
	4	3	日	エルプラザ・親子森林教室“森しり隊”の発足式	14	
		5	火	澄川・整理伐材搬出、危険木除去	13	
		7	木	澄川・親子森林教室用教材加工	11	
		8	金	ラルズビル・幹事会	9	
		12	火	澄川・ボサ整理、危険木除去	12	
		14	木	澄川・ボサ整理、危険木除去、丸太椅子作成	8	
		19	火	澄川・駐車場扉修理、雪囲い回収	13	
		21	木	澄川・キノコ植菌（シイタケ、ナメコ）	21	
		22	金	ラルズビル・臨時幹事会	8	
		24	日	澄川・第二回親子森林教室	20	
		26	火	澄川・薪作り、コクワ蔓保護	19	
5	6	金	ラルズビル・幹事会	12		
	9	月	エルプラザ・理事会／第 14 回定期総会	30		
	10	火	澄川・ボサ処理	16		
	12	木	澄川・ローソン用地拵え、整理伐材回収作業	18		
	13	金	澄川・キャリコ橋修理	2		
			支笏湖 CGC 水明郷の森／烏柵舞の森・状況確認	16		
	14	土	澄川・キャリコ橋修理	9		
	17	火	澄川・清掃活動、キャリコ橋修理完了	19		
	19	木	有明・苗の状況観察と根踏み、整地及び草刈り	14		
	21	土	澄川・ローソン自然環境学習（20名参加）	13		
	23	月	澄川・下草刈り、ボサ処理、伐根処理	16		

西暦	月	日	曜日	内 容	参加数
		25	水	澄川・整理伐材処理	11
		26	木	支笏湖 CGC 烏柵舞の森・施肥試験 / アカエゾマツ植栽	20
		27	金	支笏湖 CGC 烏柵舞の森・施肥試験 / アカエゾマツ植栽	20
		29	日	澄川・整理伐材処理	5
		30	月	有明・ササチッパー処理、ササ支柱採取	15
6		2	木	澄川・遊歩道草刈り	12
		4	土	えこりん村・オイスカ支援	1
		6	月	澄川・仮伏せホダ木を本伏せ	12
		7	火	支笏湖 CGC 水明郷の森・下草刈り	12
		8	水	支笏湖 CGC 水明郷の森・下草刈り	12
		10	金	北九条小学校・ゲストティーチャー ラルズビル・幹事会	1 14
		11	土	澄川・下草刈り、苗畑整備	10
		13	月	北九条小学校・ゲストティーチャー	1
		14	火	澄川・親子森林教室予行、トイレ移設	17
		16	木	有明・小屋造作、ササのチッパー処理	12
		21	火	澄川・澄川南小生徒来訪	13
		22	水	支笏湖 CGC 烏柵舞の森・下草刈り	15
		23	木	支笏湖 CGC 烏柵舞の森・下草刈り	15
		27	月	有明・小屋造作、チッパー処理	12
		29	水	藻岩山幌南の森・下草刈り、幌南小学校自然観察会	14
		30	木	野幌森林公園・生長調査、下草刈り	10
7		1	金	有明・ササチッパー処理、生長調査	9
		4	月	澄川・ニホンザリガニ生息調査	17
		5	火	支笏湖コンサの森・下草刈り、生長調査	12
		6	水	支笏湖コンサの森・下草刈り、生長調査	12
		8	金	ラルズビル・幹事会	12
		9	土	澄川・下草刈り、ボサ整理、マーキング	10
		12	火	澄川・澄川で養生したエゾヤマザクラ利尻町へ寄贈	13
		13	水	澄川・札幌南 CC からのカラマツ材を製材	6
		15	金	藻岩山幌南の森・危険木処理、歩道の草刈り	13
		19	火	澄川・澄川南小森林学習	12
		20	水	支笏湖ぶんぶんの森 / 復興の森・下草刈り、生長調査	15
		21	木	支笏湖ぶんぶんの森 / 復興の森・下草刈り、生長調査	15
		25	月	澄川・蜂刺されエビベン講習会	21
		26	火	有明・チッパー処理、小屋完成式	10
		28	木	澄川・上流木道橋の修復、炭焼き準備完了	10
		31	日	澄川・第 4 回親子森林教室	20
8		1	月	澄川・炭焼き後片付け	7
		3	水	澄川・サンサンキッズ体験学習支援	13
		5	金	ラルズビル・幹事会 大通公園・納涼会	11 8
		8	月	澄川・上流橋改修工事、かんばん生命助成記念看板作り	11
		9	火	支笏湖 CGC 水明郷の森・下草刈り	13
		10	水	支笏湖 CGC 水明郷の森・下草刈り	13
		18	木	澄川・菊水いちい幼稚園児カミネッコ植栽支援	17
		19	金	有明・ボサをチッパー処理、風倒木処理	6
		23	火	澄川・澄川南小マイツリーの場所選定、ササ刈り	7
		24	水	支笏湖 CGC 烏柵舞の森・下草刈り	15
		25	木	支笏湖 CGC 烏柵舞の森・下草刈り	15
		30	火	澄川・作業道下草刈り	14
		31	水	支笏湖コンサの森・下草刈り	19
9		1	木	支笏湖 CGC 水明郷の森・補植	18
		5	月	澄川・台風による倒木 / 落枝の処理	21
		6	火	澄川・澄川南小学校マイツリー選木	9
		8	木	ラルズビル・幹事会	13
		10	土	澄川・北星学園大学生体験学習	13

西暦	月	日	曜日	内 容	参加数
		13	火	澄川・ニセアカシア萌芽処理	15
		15	木	澄川・かんぼ生命看板完成	17
		19	月	杉本宅・木工	2
		20	火	澄川・キャリコ橋補強工事完了	18
		22	木	野幌森林公園・道民の森づくり 2016	9
		23	金	有明・植栽した苗の枯損調査	9
		25	日	澄川・薪作り、作業道砂利敷き	9
		27	火	有明・ササチッパー処理	11
		29	木	澄川・東橋いちい幼稚園支援	16
		30	金	支笏湖 CGC 烏柵舞の森・オイスカユネスコ育樹祭準備	19
10		1	土	支笏湖 CGC 烏柵舞の森・オイスカユネスコ育樹祭支援	18
		4	火	研修旅行 北大雨竜研究林 (1泊2日)	22
		5	水		
		7	金	ラルズビル・幹事会	11
		8	土	澄川・親子森林教室シミュレーション、有明準備	15
		11	火	有明・ギャップ地植栽、ササ地黒松内方式施業	11
		13	木	澄川・薪作り、整理伐材製材	16
		16	日	澄川・第5回親子森林教室	16
		17	月	澄川・光の泉幼稚園支援、澄南小学校樹名板設置	14
		18	火	有明・ミズナラ、クリ播種、食害防止ネット設置	8
		20	木	澄川・第二大麻幼稚園支援、枯損木チッパー処理	7
		25	火	澄川・澄川南小下草刈り、化粧炭作り、清掃活動	21
		28	金	澄川・澄川南小卒業記念植樹会、かんぼ生命視察	15
11		1	火	澄川・作業道危険木処理、澄南小卒業記念樹看板設置	14
		2	水	澄川・作業道整備	1
		4	金	ラルズビル・幹事会	13
		8	火	澄川・冬囲い	8
		11	金	澄川・冬期整理伐木のナンバリング、蔓切り	19
		14	月	澄川・整理伐&傾斜木の選定	15
		16	水	澄川・蔓切り、危険木/小径木の整理伐	15
		18	金	アークス本社ビル・第二回理事会	7
		22	火	澄川・整理伐調査終了、薪材の積込み	20
		24	木	澄川・物置の整理、蔓切り	14
		25	金	澄川南小・ネームプレート作り支援	6
		28	月	澄川・標準木調査、かんじき用コクワ蔓成型	19
		30	水	澄川・整理伐片付け、危険木処理	13
12		2	金	澄川・整理伐/標準木調査	11
		5	月	澄川・カシワ (E1)、イチイ (D3) 新たに発見	21
		7	水	忘年会 三笠温泉 (太古の湯)	25
		8	木		
		9	金	ラルズビル・幹事会	13
		13	火	エルプラザ・会員例会/セミナー	21
		15	木	澄川・後片付け、雪かき、機械整備、棚卸し	18
2017	1	6	金	ラルズビル・幹事会	12
		10	火	澄川・伐木安全講習会	23
		13	金	澄川・整理伐、標準木調査	13
		16	月	澄川・整理伐、標準木調査	21
		18	水	エルプラザ・会員例会/セミナー	22
		20	金	澄川・整理伐	
		23	月	澄川・整理伐、駐車場除雪	17
		26	木	澄川・整理伐、森しり隊終了証書プレート準備	18
		31	火	澄川・整理伐、管理地区の除雪	14
	2	3	金	ラルズビル・幹事会	21
		7	火	澄川南小・かんじき作り支援	16
		9	木	澄川・整理伐、整理したコクワ蔓の収集	18
		13	月	澄川・澄川南小かんじき履いてマイツリー観察	18
		15	水	エルプラザ・会員例会/セミナー	21

西暦	月	日	曜日	内 容	参加数
		17	金	澄川・整理伐、集材、林内歩道雪踏み / 除雪	16
		19	日	澄川・第6回親子森林教室	14
		21	火	澄川・整理伐、集材、澄川南小マイツリー観察	17
		23	木	澄川・ニセアカシア巻枯らし、整理伐、集材	18
		27	月	澄川・整理伐、紅桜公園・澄南小学校生徒冬芽観察	21
3	3	3	金	ラルズビル・幹事会	13
		6	月	澄川・整理伐、ニセアカシア巻枯らし	20
		8	水	澄川・整理伐木の処理、木製カンジキ修理	13
		14	火	澄川・整理伐、集材、樹液採取、懸り木処理	20
		15	水	エルプラザ・会員例会 / セミナー	23
		17	金	澄川・ホダ木集材、蔓切り、コクワ蔓成形	12
		22	水	澄川・整理伐、標準木調査	16
		24	金	澄川・管理地の除雪、樹液採取	13
		26	日	澄川・第7回親子森林教室（駒岡センター終了式）	16
		28	火	澄川・毎木調査終了、整理伐	16
		30	水	澄川・境界線杭打ち、集材	14
4	2	2	日	エルプラザ・第1回親子森林教室（開校式）	13
		4	火	澄川・整理伐、集材、標準木調査	14
		6	木	澄川・掛かり木処理、標準木調査	13
		7	金	ラルズビル・幹事会	11
		11	火	澄川・蔓切り、整理伐	16
		13	木	澄川・整理伐、親子森林教室用ホダ木整理	13
		18	火	澄川・悪天候で作業中止、リンゴ園準備	4
		20	木	リンゴ園・リンゴ老木の伐採と抜根作業	13
		21	金	ラルズビル・臨時幹事会	9
		23	日	澄川・第2回親子森林教室	18
		25	火	澄川・澄川南小キノコ植菌	15
		27	木	澄川・キノコ植菌	15
		28	金	澄川・キャリコの定期整備	1
5	2	2	火	ラルズビル・幹事会	1
		7	日	澄川・リンゴ園からチップパー引取り	2
		8	月	支笏湖 CGC 烏柵舞 / 水明郷の森・植栽列 / 作業道の状況調査	20
		10	水	エルプラザ・第15回定期総会	29
		11	木	澄川・冬囲撤去、ローソン植栽地整備、札幌大学自然林視察	17
		13	土	豊平川 / 創成川・“札幌の洪水跡を訪ねて”	17
		16	火	澄川・道路整備、ローソン植栽樹標準準備とマーキング	16
		18	木	有明・危険木 / 倒木処理、活着調査	13
		20	土	澄川・ローソン自然体験学習	16
		22	月	支笏湖 CGC 烏柵舞の森・アカエゾマツ移植 / 活着調査	17
		23	火	支笏湖 CGC 烏柵舞の森・アカエゾマツ移植 / 活着調査	17
		26	金	澄川・刈払機取り扱い安全講習	18
		31	水	澄川・春の清掃活動、北大生ボランティア活動調査	18
6	2	2	金	ラルズビル・幹事会	12
		3	土	澄川・森しり隊植菌ホダ木移動、シードトラップ設置	8
		5	月	澄川・サンショウウオ生息調査、葛つる退治	14
		7	水	支笏湖 CGC 水明郷の森・下草刈り、アカエゾマツ & 広葉樹補植	14
		8	木	支笏湖 CGC 水明郷の森・下草刈り、アカエゾマツ & 広葉樹補植	14
		13	火	澄川・澄南小学校マイツリー場所選定、カワニナ生息調査	11
		14	水	有明・多面対策事業モニタリング用標準地選定、下草刈り	12
		16	金	澄川・薪材を管理地に運搬、親子シミュレーション	15
		18	日	澄川・第3回親子森林教室	13
		20	火	澄川・多面対策モニタリング調査区設置	20
		22	木	支笏湖 CGC 烏柵舞の森・	16
		23	金	植栽列、作業道下草刈り / シラカンバ間引作業、毎木調査	16
		26	月	澄川・澄川南小林内散策	13
		27	火	有明・アカエゾマツ / ミズナラ植栽、林道下草刈り	10
		29	木	澄川・駐車場等の下草刈り	15

西暦	月	日	曜日	内 容	参加数
		30	金	野幌森林公園・生長調査、ツボ刈り	9
7	1	土		澄川・右精進川の水溶性生物調査及び水質検査	5
	3	月		澄川・苗畑整備、澄川南小のマイツリー地下草刈り	15
	5	水		支笏湖コンサの森・植栽列下草刈り、生長調査	15
	6	木		支笏湖コンサの森・植栽列下草刈り、生長調査	14
	7	金		ラルズビル・幹事会	11
	8	土		澄川・下草刈り及び地拵え	9
	11	火		澄川・製材、親子シミュレーション	14
	12	水		藻岩山幌南の森・遊歩道下草刈り	8
	14	金		澄川・中流橋木道用杭の皮剥き、製材	15
	18	火		澄川・落枝看板設置、製材	15
	20	木		支笏湖復興の森 / ぶんぶんの森 / 7-11 の森・	17
	21	金		生長調査、下草刈り、繁茂したカラマツとの共生 / 生長観察	17
	23	日		澄川・第4回親子森林教室	19
	24	月		澄川・後片付け	8
	26	水		有明・天然更新促進のためササ刈り、危険木処理	12
	28	金		澄川・炭焼き窯開き、製材、薪作成	17
8	1	火		澄川・サンサンキッズカミネコン植栽	11
	2	水		有明・高台部の傾斜木 / 枯損木 / 危険木除去作業、作業道整備	9
	3	木		ラルズビル・幹事会	12
				大通り公園・納涼会	8
	7	月		澄川・植栽地整備、上流橋木道の雪落としスペース塞ぎ	19
	9	水		支笏湖 CGC 水明郷の森・植栽列 / 作業道の下草刈り	13
	10	木		支笏湖 CGC 水明郷の森・植栽列 / 作業道の下草刈り	13
	16	水		澄川・菊水いちい幼稚園児植栽、上流木道橋メンテ	15
	18	金		有明・ササ刈り、傾斜木 / 枯損木の処理	12
	21	月		澄川・ニセアカ萌芽処理、林内観察会	17
	23	水		有明・ギャップ地の下草刈り、蔓切り	12
	26	土		澄川・桜台いちい幼稚園児植栽、ニセアカ萌芽処理	14
	29	火		支笏湖 CGC 烏柵舞の森・	15
	30	水		植栽列 / 作業道下草刈り、シラカンバ間引作業	15
9	1	金		ラルズビル・幹事会	12
	2	土		澄川・チップパーでボサ処理、薪材を管理地へ運搬	12
	5	火		澄川・澄川南小マイツリー選定、かんぼ生命の訪問	16
	7	木		支笏湖コンサの森・植栽列 / 作業道の下草刈り及び除伐	14
	8	金		支笏湖コンサの森・植栽列 / 作業道の下草刈り及び除伐	14
	10	日		野幌開拓の村・道民森づくりネットワークの集い2017	8
	12	火		澄川・イタヤカエデ植え替え、木道天板搬入	5
	13	水		有明・南東台地ササ刈り、整理伐	9
	15	金		有明・自然発生区及び播種区の実生本数調査	10
	19	火		澄川・中流木道の丸太杭作成、整理伐材チップパー処理	21
	21	木		支笏湖 CGC 烏柵舞の森・育樹祭準備、林道の雨列修復	15
	22	金		支笏湖 CGC 烏柵舞の森・育樹祭準備、林道の雨列修復	15
	25	月		澄川・東橋いちい幼稚園児植栽	19
	27	水		澄川・光の泉園児植栽、澄川南小樹名板絵付け	15
	29	金		有明・南東台地ササ刈り、伐木チルホールで処理	12
10	3	火		ラルズビル・幹事会	12
	4	水		藻岩山幌南の森・自然観察会支援	13
	6	金		支笏湖 CGC 烏柵舞の森・オイスカ / ユネスコ植樹祭支援	15
	9～	月			
	13	金		研修旅行 白神山地、三内丸山遺跡他 (4泊5日)	17
	15	日		澄川・第5回親子森林教室	18
	17	火		有明・植栽	10
	20	金		澄川・第二大麻植栽、澄川南小樹名板設置、緑の課視察	20
	23	月		澄川・悪天候で作業中止	5
	24	火		有明・モリタリング地試験的に鹿防止柵設置	8
	26	木		澄川・竹指標作り、ササのチップパー処理	18

西暦	月	日	曜日	内 容	参加数
		28	土	澄川・かんぼ生命社員植栽体験	16
		31	火	澄川・作業道整備、薪作り	18
	11	2	木	ラルズビル・幹事会	12
		7	火	アークス本社・第2回理事会	7
		9	木	澄川・地拵え、モニタリング地案内（澄川、有明）	16
		11	土	澄川・ギャップ地ボサ整理とササ刈り	8
		13	月	澄川・植栽予定地の地拵え	20
		16	木	澄川・ギャップ地地拵え	19
		21	火	澄川・薪作り終了、中流木道杭打	20
		24	金	澄川・冬囲い、ネームプレート板作成	17
		26	日	澄川・冬期整理伐対象木マーキング	11
		29	水	澄川・中流木道完成、澄南小学校工作指導	14
	12	2	土	澄川・整理伐、カンジキ用材料の成型	14
		4	月	澄川・第一樹木園生育調査、機械整理、小屋整理	18
		6	水		
		7	木	忘年会 北村温泉	21
		11	月	ラルズビル・幹事会	13
		13	水	エルプラザ・会員/セミナー	23
		15	金	澄川・活動納め	20
2018	1	5	金	ラルズビル・幹事会	13
		10	水	澄川・安全講習会	18
		13	土	澄川・整理伐	17
		15	月	澄川・整理伐	19
		19	金	澄川・未整理の株立ち、倒木、枯損木の整理伐	16
		24	水	澄川・チェーンソーメンテ、全員手ノコで整理伐	19
		26	金	澄川・物置小屋付近除雪、全員手ノコで整理伐	7
		28	日	澄川・全員手ノコで整理伐、玉切り集材	12
		30	火	澄川・モニタリング地整理伐、新ウインチ試運転実習	22
	2	2	金	ラルズビル・幹事会	13
		3	土	澄川・チェーンソーで整理伐、鎌研ぎ	13
		6	火	澄川・澄川南小生徒化粧炭作り体験、整理伐	17
		8	木	澄川・ポータブルウインチ初使用、	15
		13	火	澄川・整理伐、親子森林教室準備	13
		14	水	エルプラザ・冬季セミナー/会員例会	17
		16	金	澄川・整理伐及び集材作業、工具整備	17
		18	日	澄川・第6回親子森林教室 カンジキ体験、樹名板設置	17
		20	火	澄川・整理伐、ロープウインチで集材	12
		22	木	澄川・集材、整理伐	15
		26	月	澄川⇒紅桜公園・澄川南小冬芽観察会	17
		28	水	澄川・整理伐、集材	15
	3	5	月	澄川・管理地除雪、整理伐	11
		9	金	ラルズビル・幹事会	11
		10	土	澄川・整理伐、ロープウインチで集材	12
		12	月	澄川・整理伐、イタヤカエデ樹液採取	12
		14	水	エルプラザ・会員例会/セミナー	21
		16	金	澄川・整理伐、懸り木処理	13
		19	月	澄川・チルホールで懸り木処理	17
		23	金	澄川・コクワ保護の為ロープで囲い	13
		25	日	澄川・第7回親子森林教室（駒岡保養センターで修了式）	16
		27	火	澄川・ホダ木整理	19
		29	木	澄川・整理伐、懸り木処理、集材、標準木調査	13
	4	1	日	エルプラザ・第3期親子森林教室開校式	12
		2	月	澄川・ロープウインチと手作業で集材、杭皮むき	10
		4	水	澄川・和田さん心疾患で札幌大搬送、その後死亡	14
		6	金	ラルズビル・幹事会中止	0
		7	土	澄川・中止	0
		11	水	澄川・和田さん追悼セレモニー、境界策定	18

西暦	月	日	曜日	内 容	参加数
		14	土	澄川・傾斜木 / 枯損木の整理伐木選定	13
		16	月	澄川・支柱用杭皮むき、ロープウインチの集材作業	13
		20	金	ラルズ生活研究C・臨時幹事会	11
		22	日	澄川・第2回親子森林教室	14
		24	火	澄川・整理伐の選木	11
		27	金	澄川・ホダ木植菌	15
5		1	火	澄川・支柱皮むき及び材運搬、アライグマ用電気柵設置	15
		2	水	ラルズ生活研究C・幹事会	10
		4	金	澄川・駐車場周りの冬囲い撤去と枝打ち	9
		7	月	澄川・ローソン植栽用竹支柱設置	17
		9	水	支笏湖 CGC 烏柵舞の森 / 水明郷の森・状況調査	12
		10	木	かでの 27・第1回理事会 / 第16回定期総会	26
		12	土	澄川・中流木道橋の整備、ニトリザクラ植栽	14
		15	火	澄川・澄川南小学校生徒マイツリー観察、標準木調査	13
		17	木	有明・作業道整備、危険木処理、竹支柱採取	11
		19	土	澄川・第7回ローソン自然体験学習	11
		22	火	支笏湖 CGC 烏柵舞の森・アカエゾマツ生長調査、シラカンバ除伐	17
		23	水	支笏湖 CGC 烏柵舞の森・アカエゾマツ生長調査、シラカンバ除伐	17
		25	金	澄川・ホダ木運搬 / 床伏せ、標準木調査	12
		27	日	澄川・澄川南小マイツリー場所下草刈り、樹名板取付け	9
		30	水	澄川・春期清掃活動、ホダ木天地返し	19
6		2	土	澄川・薪材を管理地運搬、観察会	12
		4	月	澄川・澄川南小学校生徒自然体験学習、親子植栽地地拵え	14
		6	水	支笏湖 CGC 水明郷の森・植栽列 / 作業道下草刈り	15
		7	木	支笏湖 CGC 水明郷の森・植栽列 / 作業道下草刈り	15
		8	金	ラルズ生活研究C・幹事会	11
		11	月	澄川・親子森林教室準備、	17
		14	木	有明・鹿柵杭搬入	5
		17	日	澄川・第3回親子森林教室	16
		19	火	支笏湖 CGC 烏柵舞の森・植栽列 / 作業道下草刈り	15
		20	水	支笏湖 CGC 烏柵舞の森・植栽列 / 作業道下草刈り	15
		22	金	有明・鹿用防止柵一基設置	11
		26	火	野幌森林公園・広葉樹、針葉樹生長調査	9
		28	木	澄川・親子森林教室準備、ニトリザクラ石柱設置	18
7		2	月	支笏湖コンサの森・植栽列 / 作業道下草刈り、生長調査	14
		3	火	支笏湖コンサの森・植栽列 / 作業道下草刈り、生長調査	13
		6	金	ラルズ生活研究C・幹事会	12
		7	土	澄川・薪材搬入、ドロノキ剪定	16
		10	火	澄川・植栽地下草刈り	12
		12	木	藻岩山幌南の森・散策路 / 植栽地の下草刈り	9
		14	土	澄川・土日ボランティア (京セラコミュニケーションズ)	15
		17	火	支笏湖ぶんぶんの森 / 復興の森・下草刈り、枯損木調査	14
		18	水	支笏湖 7-11 の森・生長調査	14
		20	金	澄川・作業道整備、薪づくり	13
		22	日	澄川・第4回親子森林教室	22
		23	月	澄川・炭焼き窯安全確認	8
		24	火	有明・ギャップ地に鹿柵設置、取付け道路草刈り	9
		27	金	有明・小屋前の試験地生長調査、南東台地部で実生確認	8
		30	月	澄川・駐車場周辺下草刈り、チップ作業	14
8		1	水	支笏湖 CGC 水明郷の森・植栽列 / 作業道下草刈り	17
		2	木	支笏湖 CGC 水明郷の森・植栽列 / 作業道下草刈り	16
		6	月	澄川・薪割り、ホダ木水やり、小屋蜂の巣駆除作業	19
		9	木	澄川・薪作りと植込み、伐根処理	12
		10	金	ラルズ生活研究C・幹事会 キリンビール園・納涼会	11 12
		18	土	有明・北東部高台ギャップ地下草刈り、地拵え	12
		20	月	澄川・整理伐材運搬、薪作り	15

西暦	月	日	曜日	内 容	参加数
		23	木	CGC 烏柵舞の森・植栽列下草刈り、看板支柱補強作業	14
		24	金	CGC 烏柵舞の森・植栽列下草刈り、看板支柱補強作業	14
		26	日	澄川・萌芽処理、蜂の巣処理	10
		28	火	有明・刈った笹の排除	6
		30	木	澄川・チェンソー講習会現場視察（地域協議会2名）	2
		31	金	澄川・萌芽処理	16
9	3	月		支笏湖コンサの森・植栽列の裾刈り、ポット苗作成	12
	4	火		支笏湖コンサの森・植栽列の裾刈り、ポット苗作成	12
	7	金		ラルズ生活研究C・幹事会中止（胆振東部地震により停電）	0
	8	土		澄川・台風、地震後の林内見回り、倒木処理	7
	11	火		かでの27・幹事会	11
	12	水		有明・台風/地震被害状況調査及び倒木等処理	7
	14	金		澄川・萌芽処理	18
	15	土		澄川・ドングリソそろばん用のドングリ拾い	3
	17～	月		研修旅行 釧路湿原、オホーツクの森、知床自然センター	18
	20	木		(3泊4日)	
	23	日		澄川・澄川南小樹名板作成、チップ処理	14
	25	火		澄川・チップ処理作業、薪作り	12
	27	木		支笏湖 CGC 烏柵舞の森・	18
	28	金		台風被害の後始末（看板仮設置）、育樹祭準備	18
	30	日		野幌開拓の村・道民森づくりの集い2018	14
10	3	水		支笏湖 CGC 烏柵舞の森・育樹祭準備作業、	15
	4	木		支笏湖 CGC 烏柵舞の森・オイスカユネスコ育樹祭支援	15
	9	火		澄川・地拵え・樹名板用杭作成	12
	11	木		ラルズ生活研究C・幹事会	10
	12	金		有明・倒木処理・補植必要数確認	5
	14	日		澄川・第5回親子森林教室	17
	18	木		澄川・清掃活動、澄川南小卒業記念植樹	15
	20	土		有明・ギャップ地の植栽、動物食害防止網設置	7
	22	月		澄川・澄川南小学校樹名板設置、植栽準備	12
	25	木		有明・サクラ苗木に支柱設置、生長調査、見回り	10
	27	土		澄川・降雨のため活動中止	0
	30	火		澄川・多面事務局長主催のチェンソー技能/安全研修	17
11	2	金		澄川・植樹、作業道新設	18
	6	火		澄川・地拵え、作業道新設	16
	9	金		ラルズ生活研究 C・幹事会	12
	10	土		澄川・地拵え、作業道新設	21
	12	月		澄川・地拵え、作業道新設、薪作り	11
	13	火		アークス本社ビル・第2回理事会	9
	15	木		澄川・作業道設置、モニタリング調査	14
	19	月		澄川・第二樹木園調査、薪作り	18
	22	木		澄川・第二樹木園調査、薪作り、幼木冬囲い	12
	25	日		澄川・第二樹木園調査、薪作り、階段設置	14
	28	水		澄川・第二樹木園調査、薪作り、ホダ場整理	18
12	1	金		澄川・標準地調査、薪作り	14
	4	火			
	5	水		忘年会 虎杖浜温泉、仙台藩白老元陣屋資料館訪問	18
	7	金		チカホ北3条広場・マチなか×NPO 出展/体験	10
	8	土		澄川・標準地調査、薪作り、スノーシュー置場設置	11
	11	火		ラルズ生活研究C・幹事会	11
	12	水		エルブラザ・セミナー（普通応急手当講習Ⅰ）	18
	14	金		澄川・エゾヤマザクラ日照改善整理伐	12
	16	日		澄川・整理伐、薪整理	9
	18	火		澄川・整理伐、機器整備、小屋清掃	14
	20	木		澄川・小屋清掃、棚卸、散策（樹名板設置）	17
2019	1	7	月	ラルズ生活研究C・幹事会	12
		9	水	澄川・活動始め、除雪、伐木安全講習（実技編）	18

西暦	月	日	曜日	内 容	参加数
		12	土	澄川・整理伐、親子森林教室準備	16
		15	火	澄川・整理伐、親子森林教室打合せ	12
		18	金	エルプラザ・会員例会（安全講習）/セミナー	20
		20	日	澄川・整理伐	10
		23	水	澄川・整理伐、親子森林教室準備	14
		25	金	澄川・整理伐	14
		28	月	澄川・整理伐、澄川南小活動準備	12
		31	木	澄川・整理伐、	13
2	2	2	土	澄川・整理伐	10
		4	月	澄川・整理伐、澄川南小マイツリー観察	15
		7	木	澄川・整理伐	14
		8	金	ラルズ生活研究C・幹事会	13
		12	火	澄川・整理伐	15
		13	水	市民交流プラザ・札幌市生物多様性フォーラム発表	7
		15	金	澄川・整理伐	13
		17	日	澄川・第6回親子森林教室	17
		19	火	澄川・整理伐	13
		20	水	エルプラザ・会員例会/セミナー	21
		23	土	澄川・整理伐	11
		27	水	澄川・整理伐	16
3	2	2	土	澄川・整理伐	15
		5	火	澄川・整理伐	15
		6	水	ラルズ生活研究C・幹事会	10
		7	木	澄川・整理伐	14
		11	月	澄川・整理伐	12
		13	水	エルプラザ・会員例会/セミナー	20
		16	土	澄川・蔓切り	10
		18	月	澄川・蔓切り、整理伐	16
		22	金	澄川・整理伐、樹液採取	10
		24	日	澄川・第7回親子森林教室、修了式（駒岡保養センター）	17
		26	火	澄川・整理伐、ホダ木準備	8
		28	木	澄川・整理伐、ホダ木準備	11
4	1	1	月	澄川・整理伐、親子森林教室コウモリ観察下見	10
		3	水	澄川・集材	11
		5	金	ラルズ生活研究C・幹事会	12
		7	日	エルプラザ・第1回親子森林教室（開校式）	11
		10	水	澄川・集材、第2回親子森林教室準備	15
		13	土	澄川・集材、トイレ補修	10
		16	火	澄川・集材、ホダ木準備	11
		19	金	澄川・集材、親子森林教室準備	13
		21	日	澄川・第2回親子森林教室	14
		24	水	澄川・澄川南小学校森林体験教室、集材	15
		26	金	ラルズ生活研究C・臨時幹事会	9
		27	土	澄川・冬季整理伐対象木調査、ホダ木手入れ	11
		29	月	澄川・キノコ植菌、野草園手入れ	11
5	2	2	木	澄川・キノコ植菌、林内清掃、観察会	12
		3	金	ラルズ生活研究C・幹事会	9
		6	月	澄川・ホダ木の手入れ、機器整備、毎木調査	14
		9	木	エルプラザ・理事会/定期総会	27
		11	土	澄川・ホダ木仮伏せ、作業道整備、樹木園笹刈り	12
		14	火	有明・見回り、食害防止網補修、倒木整理	10
		16	木	澄川・苗木運搬、苗木仮植え	2
		17	金	澄川・地拵え、作業道整備、苗畑整備	17
		20	月	澄川・林内清掃活動、澄川南小学校マイツリー観察	18
		22	水	有明・台風被害木整理	9
		25	土	澄川・ローソン/札幌市関係者緑の活動、ホダ場整備	17
		28	火	支笏湖 CGC 烏柵舞の森/水明郷の森・ポット苗植栽、生長調査	18

西暦	月	日	曜日	内 容	参加数
		29	水	支笏湖 CGC 烏柵舞の森 / 水明郷の森・ポット苗植栽、生長調査	17
		31	金	澄川・笹刈り、作業道整備、ホダ木管理	14
6	3	月		澄川・作業道整備、森林教室準備	12
	5	水		ラルズ生活研究 C・幹事会	11
	6	木		西野第 2・境界確認、整理伐	11
	8	土		澄川・下草刈り、森林教室準備	12
	11	火		支笏湖 CGC 水明郷の森 / コンサの森・下草刈り、生長調査	14
	12	水		支笏湖 CGC 水明郷の森 / コンサの森・下草刈り、生長調査	14
	14	金		澄川・作業道整備、リュック掛け設置、水質調査	15
	16	日		澄川・第 3 回親子森林教室は雨の為順延	0
	18	火		有明・風倒木整理、下草刈り	10
	20	木		澄川・作業道草刈り	9
	23	日		澄川・第 3 回親子森林教室	15
	25	火		澄川・作業道の草刈り、ホダ場整備、マイツリー準備	15
	27	木		支笏湖 CGC 烏柵舞の森・下草刈り、列杭の更新、除伐	19
	28	金		支笏湖 CGC 烏柵舞の森・下草刈り、列杭の更新、除伐	20
7	2	火		澄川・下草刈り、クス退治、ホダ場整備	16
	3	水		ラルズ生活研究 C・幹事会	11
	5	金		有明・風倒木整理	11
	8	月		澄川・澄川南小マイツリー選木、下草刈り	15
	10	水		ぶんぶん（復興）の森・下草刈り、生長調査、風倒木整理	17
	11	木		ぶんぶん（復興）の森・下草刈り、生長調査、風倒木整理	17
	13	土		澄川・製材、薪作り、親子森林教室準備	16
	17	水		澄川・製材、ホダ場整備、薪作り	13
	19	金		澄川・薪積み	8
	21	日		澄川・第 4 回親子森林教室	15
	23	火		藻岩山幌南の森・作業道 / 植栽地草刈り	7
	25	木		澄川・製材、作業道整備	13
	27	土		有明・降雨のため中止	0
	30	火		澄川・製材、作業道整備	15
8	1	木		有明・作業道 / 植栽地草刈り、生長調査	6
	5	月		澄川・製材、作業道整備	11
	7	水		ラルズ生活研究 C・幹事会 札幌ビール園・納涼祭	8 9
	9	金		澄川・降雨のため中止	0
	11	日		澄川・作業道整備	9
	17	土		澄川・キャリコ道整備、道民森づくりフェスタ準備	10
	20	火		有明・作業道草刈り、北東高台部整備	9
	22	木		澄川・安全講習、水質調査、製材、ホダ場整備	19
	24	土		澄川・製材、ニセアカシア萌芽処理	10
	27	火		澄川・製材、ニセアカシア萌芽処理	13
	30	金		澄川・製材、ホダ場整備、草刈り	13
9	3	火		支笏湖 CGC 烏柵舞の森・ 下草刈り、看板補修、シラカンバ整理伐	16 15
	4	水			
	6	金		ラルズ生活研究 C・幹事会	11
	8	日		野幌開拓の村・道民森づくりフェスタ in2019、	13
	10	火		澄川・作業道草刈り、機器整備、避難小屋周辺整理	10
	12	木		有明・ニセアカシア除伐、食害防止網設置	10
	13	金		澄川・都市緑化機構澄川視察、札幌市ヒアリング	4
	14	土		澄川・製材、ニセアカシア処理、三重県いなべ市来訪	16
	17	火		澄川・ニセアカシア萌芽処理、マイツリー看板用杭作り	12
	19	木		支笏湖 CGC 烏柵舞の森・下草刈り、ササ刈り、育樹祭準備	13
	20	金		支笏湖 CGC 烏柵舞の森・下草刈り、ササ刈り、育樹祭準備	13
	23	月		澄川・雨のため活動中止	0
	25~	水			
	27	金		研修旅行 北大中川研究林、下川町有林視察（2泊3日）	18
	29	日		澄川・木道点検、ホダ場 / 野草園整備	9

西暦	月	日	曜日	内 容	参加数	
2019	10	1	火	支笏湖 CGC 烏柵舞の森・CGC ジャパン遊玄会視察	4	
		2	水	ラルズ生活研究 C・幹事会	10	
		4	金	澄川・雨のため活動中止	0	
		7	月	有明・食害防止網・雪害防止杭設置、モニタリング調査	8	
		9	水	澄川・木道の補修、苗畑整理、森林教室準備	16	
		11	金	支笏湖 CGC 烏柵舞の森・育樹祭準備	18	
		12	土	支笏湖 CGC 鶴柵舞の森・オイスカユネスコ育樹祭	18	
		16	水	西野第二・作業道整備、整理伐	6	
		18	金	澄川・林内清掃、澄川南小学校森林教室	16	
		20	日	澄川・第 5 回親子森林教室	16	
	22	火	有明・食害防止網設置、生長調査、見回り	9		
	24	木	澄川・澄川南小記念植樹、観察会	11		
	25	金	東京（ニッショウホール）・緑の都市賞事例報告会	4		
	27	日	澄川・北地区調査、踏板整備	14		
	30	水	澄川・踏板整備、樹木病害視察（森林総研 石原博士）	15		
	11	11	1	金	野幌・標準列生長調査（針葉樹、広葉樹）	9
			6	水	澄川・キャリコ木道補修、幼樹食害防止網設置	15
			8	金	ラルズ生活研究 C・幹事会	9
			9	土	澄川・キャリコ木道補修、道新取材対応	12
			12	火	澄川・冬季整理伐調査、上流木道補修、冬囲い	19
			15	金	澄川・冬季整理伐調査	9
			18	月	澄川・モニタリング調査、澄川南小学校樹名板設置	20
			21	木	ラルズビル本社・第 2 回理事会	8
			22	金	澄川・標準地 / モニタリング調査地毎木調査	6
			24	日	澄川・伐根処理、モニタリング調査	13
			25	月	東京（明治記念館）・都市の緑三賞表彰式、交流会	2
			27	水	澄川・モニタリング調査、薪作り、小屋内整理	13
	29	金	澄川・整理伐、小屋内整理、薪作り	13		
	30	土	野幌・野幌道有林地調査	4		
	12	12	2	月	澄川・チカホイベント準備（雨のため森の活動中止） 岩見沢・午後から空知総合振興局森林室打合せ	12 3
4			水	澄川・整理伐	11	
5			木	チカホ北 3 条広場・マチなか× NPO 2019 出展	11	
6			金	ラルズ生活研究 C・幹事会	8	
8			日	澄川・整理伐、定点観測台設置、小屋整理、棚卸	13	
10			火	忘年会 なんぼろ温泉	18	
11			水			
14			土	澄川・北地区調査	12	
17			火	澄川・整理伐、澄川南小学校学習支援	13	
18			水	エルプラザ・会員例会 / セミナー	22	
20			金	澄川・見回り、北地区右精進川左岸調査	18	
2020			1	8	水	澄川・伐木安全講習
	10	金		ラルズ生活研究 C・幹事会	10	
	12	日		澄川・整理伐（手ノコ使用）	16	
	15	水		澄川・整理伐（手ノコ使用）	14	
	16	木		エルプラザ・会員例会 / セミナー	21	
	20	月		澄川・整理伐	19	
	23	木		澄川・整理伐、澄川南小学校マイツリー観察	11	
	25	土		澄川・整理伐	15	
	28	火		澄川・整理伐	20	
	31	金		澄川・整理伐	11	
	2	2	3	月	澄川・整理伐（手ノコ使用）	13
			5	水	澄川・整理伐（手ノコ使用）	13
			7	金	ラルズ生活研究 C・幹事会	10
			10	月	澄川・整理伐（手ノコ使用）	13
			13	木	エルプラザ・会員例会 / セミナー	3
			14	金	澄川・整理伐（手ノコ使用）	12

西暦	月	日	曜日	内 容	参加数
		16	日	澄川・第6回親子森林教室	19
		19	水	澄川・整理伐	11
		20	木	かでの 2.7・多面事業説明、事例発表会	3
		21	金	澄川・整理伐	11
		25	火	澄川・整理伐	11
		29	土	澄川・新型コロナ対策のため活動中止	0
3		3	火	澄川・整理伐(手ノコ使用)、観察会、樹液採取	13
		5	木	澄川・整理伐、樹液採取	12
		9	月	澄川・整理伐、樹液採取	15
		11	水	ラルズ生活研究C・幹事会	11
		12	木	澄川・整理伐、樹液採取	20
		16	月	澄川・整理伐、親子森林教室準備、樹液採取	16
		18	水	澄川・整理伐、樹液採取	12
		19	木	エルプラザ・セミナー⇒延期(4月14日)	0
		22	日	澄川・第7回親子森林教室、修了式	9
		25	水	澄川・整理伐、ホダ木集材	14
		28	土	澄川・整理伐、ホダ木集材、 (有明・冬季状況観察)	14 (5)
		31	火	澄川・整理伐、ホダ木本数確認	15
4		2	木	澄川・整理伐、親子森林教室準備	13
		5	日	澄川・第1回親子森林教室(開校式)	11
		7	火	ラルズ生活研究C・幹事会	10
		9	木	澄川・悪天候のため活動中止	0
		11	土	澄川・整理伐、毎木調査、親子森林教室準備	13
		14	火	エルプラザ・セミナー⇒再度延期	0
		15	水	澄川・整理伐	14
		17	金	澄川・新型コロナ対策のため中止	0
		19	日	澄川・親子森林教室コロナ対策のため延期	0
		21	火	ラルズ生活研究C・臨時幹事会	9
		23	木	澄川・集材、作業道整備、毎木調査	16
		25	土	澄川・新型コロナ対策のため中止	0
		28	火	澄川・北地区調査、機械整備、毎木調査、作業道整備	12
		30	木	野幌道有林・現地確認	4
5		1	金	ラルズ生活研究C・幹事会	3
		3	日	澄川・新型コロナ対策のため中止	0
		6	水	澄川・新型コロナ対策のため中止	0
		7	木	澄川・北地区整備、作業道整備、毎木調査	15
		9	土	澄川・新型コロナ対策のため中止	0
		10	日	澄川・親子森林教室 新型コロナ対策のため中止	0
		13	水	澄川・水質調査、苗畑整備、北地区整備、キノコ植菌	15
		14	木	ラルズ生活研究C・理事会/総会(委任状方式)	5
		15	金	有明・新型コロナ対策のため中止	0
		18	月	澄川・清掃活動、ホダギ作成、毎木調査	21
		21	木	野幌道有林・新型コロナ対策のため中止	0
		23	土	澄川・新型コロナ対策のため中止	0
		25	月	澄川・毎木調査、植菌、樹名板取付け	20
		27	水	支笏湖 CGC 烏柵舞の森・新型コロナ対策のため中止	0
		28	木	支笏湖 CGC 烏柵舞の森・新型コロナ対策のため中止	0
6		1	月	澄川・新型コロナ対策のため中止	0
		4	木	野幌道有林・見回り、岡村先生講話、稚樹調査、標準地設定	18
		8	月	澄川・毎木調査、植菌、作業道草刈、親子森林教室準備	18
		10	水	ラルズ生活研究C・幹事会	10
		11	木	支笏湖 CGC 水明郷の森・新型コロナ対策のため中止	0
		12	金	支笏湖 CGC 水明郷の森・新型コロナ対策のため中止	0
		14	日	澄川・第2回親子森林教室	21
		17	水	有明・新型コロナ対策のため中止	0
		19	金	澄川・ツル切り、薪材運搬、チップパー準備、親子教室準備	16

西暦	月	日	曜日	内 容	参加数
		23	火	支笏湖コンサの森・新型コロナ対策のため中止	0
		24	水	支笏湖コンサの森・新型コロナ対策のため中止	0
		23	火	簾舞 / 五天山・防草シート施工現場視察	6
		27	土	澄川・チップパー作業、作業道草刈り、親子教室準備	15
		30	火	澄川・新型コロナ対策のため中止	0
7		3	金	有明・作業道 / 植栽地草刈り、食害防止網点検補修	15
		6	月	澄川・新型コロナ対策のため中止	0
		8	水	ラルズ生活研究C・幹事会	11
		9	木	支笏湖ぶんぶんの森 / 復興の森・新型コロナ対策のため中止	0
		10	金	支笏湖ぶんぶんの森 / 復興の森・新型コロナ対策のため中止	0
		10	金	野幌道有林・稚樹マーキング、防草シート布設テスト	17
		13	月	澄川・作業道 / 植栽地草刈り、水質調査、親子教室準備	16
		15	水	西野第二・笹刈り、整理伐、標準地調査	13
		19	日	澄川・第3回親子森林教室	17
		20	月	野幌道有林・下草狩り、地拵え作業確認	2
		21	火	藻岩幌南の森・散策路 / 植栽地草刈り	14
		23	木	澄川・新型コロナ対策のため中止	0
		25	土	有明・植生調査、作業道草刈り、食害防止網補修	13
		28	火	澄川・ホダ木本伏せ、薪・杭材運搬、岡村先生来林	18
		30	木	野幌道有林 / 国有林・道有林稚樹マーキング、国有林生長調査	17
8		1	土	澄川・ホダ木本伏せ、作業道草刈り、苗畑整備	13
		4	火	有明・作業道草刈り、踏板 / 階段設置、食害防止網支柱交換	13
		5	水	ラルズ生活研究・幹事会	10
		10	月	澄川・作業道点検、野幌防草シート / 親子森林教室準備	12
		12	水	野幌道有林・防草シート布設	14
		18	火	澄川・草刈り、作業道整備、親子森林教室準備	16
		20	木	野幌道有林・防草シート敷設、植栽穴試掘	15
		23	日	澄川・第4回親子森林教室	15
		26	水	澄川・作業道整備、ホダ場整理	12
		28	金	澄川・右精進川最上流部踏板 / 丸太 / 杭の準備	10
9		1	火	澄川・右精進川最上流部踏板 / 階段設置、作業道整備	12
		3	木	有明・作業道草刈り、食害防止網高上げ、モニタリング調査	12
		7	月	澄川・作業道草刈り、薪作り	11
		8	火	ラルズ生活研究・幹事会	11
		10	木	支笏湖ぶんぶんの森・降雨のため活動延期	0
		12	土	有明・新型コロナ対策のため中止	0
		14	月	澄川・水質調査、野幌道有林用杭作り	17
		16	水	支笏湖烏柵舞の森・降雨のため中止	0
		17	木	支笏湖烏柵舞の森・新型コロナ対策のため中止	0
		21	月	支笏湖烏柵舞の森・下草刈り、列杭打設	15
		23	水	澄川 / 野幌道有林・駐車場前広場整備 / 植樹祭準備	13
		24	木	研修旅行(日帰り)・平取町イオルの森視察(岡村先生同行)	16
		27	日	野幌道有林・森しり隊植樹祭	21
		29	火	支笏湖ぶんぶんの森・植栽列 / 作業道草刈り	13
10		1	木	澄川・チップパー作業、親子森林教室準備	15
		3	土	支笏湖烏柵舞の森・植栽、草刈り、生長調査	14
		3	土	苫小牧、札幌・全国育樹祭(新型コロナ対策のため延期)	0
		4	日	苫小牧、札幌・全国育樹祭(新型コロナ対策のため延期)	0
		5	月	澄川・チップパー作業、草刈り、親子森林教室準備	14
		6	火	澄川・チェーンソー安全研修(多面事務局主催)	11
		8	木	ラルズ生活研究C・幹事会	11
		9	金	支笏湖 CGC 水明郷の森・ 植栽、草刈り、列杭打設、モニタリング調査	16
		10	土	支笏湖 CGC 烏柵舞の森・新型コロナ対策のため中止	0
		13	火	澄川・清掃活動、作業道整備、親子森林教室準備	15
		15	木	有明・植栽、食害防止網補強、見廻り	11
		17	土	道庁赤レンガ庁舎前広場・道民森づくりの集い	8

西暦	月	日	曜日	内 容	参加数
		18	日	澄川・第5回親子森林教室	21
		20	火	野幌道有林・植栽、防草シート敷設、チップ敷設	13
		22	木	澄川・杭作成キャリコ橋滑り止め設置、水質調査 GPS 測定	12
		24	土	野幌道有林・食害防止網設置	17
		28	水	澄川・伐根処理、モニタリング調査、親子森林教室まとめ	18
		30	金	澄川・新型コロナ対策のため中止	0
	11	1	日	澄川・伐根処理、モニタリング調査、標準地調査	11
		2	月	ラルズ生活研究C・幹事会	9
		4	水	澄川・新型コロナ対策のため中止	0
		5	木	澄川・板材整理、生長調査 野幌道有林・チップ敷設	8 8
		6	金	アークス本社ビル会議室・第2回理事会	5
		9	月	澄川・悪天候のため活動休止	0
		12	木	澄川・新型コロナ対策のため中止	0
		14	土	澄川・笹刈り、桜の木やモニタリング地に防獣ネット張り	15
		17	火	澄川・補植、機器整備、各小屋整理・棚卸し	17
		20	金	澄川・ニセアカシア除伐、右精進川上流視察	15
		23	月	澄川・ニセアカシア除伐	15
		26	木	澄川・ニセアカシア除伐、上流橋桁応急処置	18
		29	日	澄川・新型コロナ対策のため中止	0
	12	1	火	澄川・ニセアカシア除伐	20
		1・2	火・水	忘年会 新型コロナ対策のため中止	0
		3	木	チカホ北3条広場・イベント新型コロナ対策のため中止	0
		5	土	澄川・ニセアカシア除伐、整理伐、親子森林教室準備	16
		8	火	ラルズ生活研究・幹事会	11
		9	水	澄川・整理伐・作業道整備、薪作り	16
		11	金	澄川・整理伐、薪作り、冬支度、親子森林教室準備	15
		14	月	澄川・整理伐（手ノコ）、薪作り	18
		16	水	エルプラザ・セミナー	14
		18	金	澄川・整理伐	14
		20	日	澄川・新型コロナ対策のため中止	0
2021	1	8	金	ラルズ生活研究・幹事会	9
		8	金	澄川・新型コロナ対策のため中止	0
		12	火	澄川・伐木安全講習、ロープの結び方講習	17
		13	水	エルプラザ・セミナー新型コロナ対策のため中止	0
		15	金	澄川・新型コロナ対策のため中止	0
		17	日	澄川・整理伐（手ノコ）	20
		20	水	澄川・整理伐（手ノコ）	10
		23	土	澄川・整理伐	18
		26	火	澄川・整理伐	16
		29	金	澄川・悪天候のため活動中止	0
	2	1	月	澄川・整理伐	14
		4	木	澄川・整理伐、親子森林教室準備	18
		8	月	澄川・整理伐	14
		9	火	ラルズ生活研究C・幹事会	9
		14	日	澄川・第6回親子森林教室	19
		16	火	澄川・新型コロナ対策のため中止	0
		18	木	澄川・整理伐、集材	10
		22	月	澄川・新型コロナ対策のため中止	0
		24	水	澄川・整理伐、集材	16
		27	土	澄川・観察会	21
	3	2	火	澄川・避難小屋・上流橋の雪降ろし	9
		4	木	澄川・整理伐、親子森林教室準備、樹液採取	19
		8	月	澄川・新型コロナ対策のため中止	0
		10	水	ラルズ生活研究C・幹事会	12
		11	木	澄川・整理伐、集材、樹液採取	18
		14	日	澄川・第7回親子森林教室（修了式）	19

西暦	月	日	曜日	内 容	参加数
		17	水	澄川・整理伐・集材、樹液採取	16
		18	木	エルプラザ・セミナー	20
		20	土	澄川・新型コロナ対策のため中止	0
		23	火	澄川・整理伐、集材・ホダ木作成	19
		30	火	野幌道有林・食害防止網点検補修、植栽苗の食害状況確認	14
4		2	金	澄川・新型コロナ対策のため中止	0
		5	月	澄川・整理伐、親子森林教室準備	18
		8	木	ラルズ生活研究C・幹事会	13
		10	土	澄川・整理伐、親子森林教室準備	24
		13	火	澄川・ツル切り、親子森林教室準備	19
		15	木	澄川・新型コロナ対策のため中止	0
		18	日	澄川・新型コロナ対策のため中止	0
		20	火	澄川・水生昆虫調査講習、キノコ植菌、作業道倒木処理	21
		22	木	エルプラザ・臨時幹事会	13
		23	金	野幌道有林・区域測量、稚樹マーキング、シェルター設置	18
		25	日	澄川・第1回親子森林教室（開校式）	18
		26	月	澄川・新型コロナ対策のため中止	0
		28	水	澄川・キノコ植菌、機器整備、集材	15
5		1	土	澄川・新型コロナ対策のため中止	0
		4	火	澄川・木道補修、ホダ場整備、苗畑整備	17
		6	木	ラルズ生活研究C・幹事会（スタッフのみ参加）	5
		10	月	澄川・新型コロナ対策のため中止	0
		12	水	澄川・新型コロナ対策のため中止	0
		14	金	澄川・水質調査、苗畑整備、植樹、澄川南小観察会 リング園・リング古木整理	16 8
		16	日	澄川・新型コロナ対策のため中止	0
		19	水	有明・新型コロナ対策のため中止	0
		21	金	澄川・水質調査、苗畑・ホダ場整備、北地区整備	17
		24	月	澄川・新型コロナ対策のため中止	0
		26	水	支笏湖 CGC 水明郷の森・新型コロナ対策のため中止	0
		28	金	澄川・新型コロナ対策のため中止	0
		30	日	野幌道有林・植栽、ハイトシェルター設置、竹支柱設置	14
		31	月	ラルズ生活研究C・第19回総会（委任状方式）	6
6		2	水	澄川・新型コロナ対策のため中止	0
		4	金	澄川・新型コロナ対策のため中止	0
		7	月	澄川・春の清掃活動、倒木処理、親子森林教室準備	17
		8	火	ラルズ生活研究C・幹事会（スタッフのみ参加）	5
		10	木	澄川・澄川南小学校マイツリー選木、樹木園整備、草刈り	19
		13	日	澄川・新型コロナ対策のため中止	0
		16	水	支笏湖ぶんぶんの森・新型コロナ対策のため中止	0
		18	金	澄川・北地区笹刈り、集材、親子森林教室準備	23
		19	土	ラルズ生活研究C・20周年記念事業打合せ	6
		22	火	支笏湖コンサの森・新型コロナ対策のため中止	0
		24	木	有明・植樹、下草刈り、食害防止網補修他	14
		26	土	澄川・新型コロナ対策のため中止	0
		27	日	澄川・第2回親子森林教室	17
		29	火	野幌道有林・防草シート布設、下草刈り、移植樹マーキング	18
7		1	木	澄川・北地区整備、集材、作業道草刈り	15
		3	土	北海道開拓の村・新型コロナ対策により中止	0
		5	月	支笏湖 CGC 烏柵舞の森・新型コロナ対策により中止	0
		7	水	ラルズ生活研究C・幹事会	11
		8	木	澄川・マキ作り、チップ作業、親子森林教室準備	20
		11	日	澄川・第3回親子森林教室	17
		14	水	野幌道有林/道有林・生長調査/下草刈り、移植樹確認	12
		16	金	西野第二・新型コロナ対策により中止	0
		19	月	澄川・熱中症対策講習会、水質調査、チップ作り	22
		21	水	支笏湖 CGC 水明郷の森・新型コロナ対策により中止	0

西暦	月	日	曜日	内 容	参加数
		21	水	協会事務所・20周年記念委員会打合せ	6
		24	土	澄川・ホダ場 / 苗畑整備、水質調査	14
		27	火	澄川・刈払い機安全講習会、チップパー作業	18
		29	木	藻岩幌南の森・新型コロナ対策により中止	0
		31	土	有明・生長調査、階段補修、食害防止網嵩上げ	11
8		3	火	澄川・チップパー作業、トイレ改修、苗畑整備	17
		5	木	支笏湖復興の森・新型コロナ対策により中止	0
		9	月	澄川・草刈り、苗畑整備、杭作り	16
		10	火	ラルズ生活研究C・幹事会	10
		12	木	澄川・草刈り、ホダ場 / 苗畑整備	12
		19	木	澄川・作業道整備、澄川南小支援準備、苗畑整備	17
		21	土	野幌道有林 / (国有林)・下草刈り、移植箇所調査 / (生長調査)	16
		24	火	澄川・新型コロナ対策のため中止	0
		26	木	有明・笹刈り、階段設置、食害防止網補強	13
		30	月	澄川・澄川南小草刈り体験、苗畑 / ホダ場整備	15
9		1	水	澄川南小・樹名板作成指導	3
		3	金	澄川・作業道整備、澄川南小学校樹名板取付け	16
		4	土	研修旅行・新型コロナ対策により中止	0
		8	水	ラルズ生活研究C・幹事会 (スタッフのみ参加)	4
		9	木	澄川・水質調査、地拵え、看板作成	19
		11	土	有明・新型コロナ対策により中止	0
		14	火	野幌道有林・草刈り、親子森林教室準備	16
		16	木	支笏湖ふんぶんの森・胆振東部森林管理署&道新との3者協議	3
		18	土	澄川・雨天のため活動中止	0
		21	火	支笏湖 CGC 烏柵舞の森・新型コロナ対策により中止	0
		22	水	支笏湖 CGC 烏柵舞の森・新型コロナ対策により中止	0
		24	金	野幌道有林・植樹祭準備 澄川・下草刈り	5 11
		26	日	野幌道有林・新型コロナ対策により中止	0
		29	水	澄川・澄川南小学校森の観察、下草刈り	20
10		1	金	支笏湖 CGC 烏柵舞 / 水明郷の森・ 下草刈り、笹刈り、植穴マーキング	4 8
		2	土	支笏湖 CGC 烏柵舞の森・新型コロナ対策により中止	0
		3	日	野幌道有林・第4回親子森林教室 (森しり隊植樹祭)	23
		6	水	ラルズ生活研究C・幹事会	10
		7	木	支笏湖 CGC 水明郷の森・ 笹刈り、モニタリング調査、植穴マーキング	15
		9	土	澄川・キノコ栽培指導を受ける、下草刈り、北地区整備	19
		12	火	支笏湖 CGC 水明郷の森・トドマツ補植、下草刈り	15
		13	水	支笏湖 CGC 水明郷の森・新型コロナ対策により中止	0
		15	金	澄川・秋の清掃活動 (澄川南小協働)、親子森林教室準備	20
		17	日	澄川・第5回親子森林教室「秋の森の大運動会」	20
		19	火	手稲山口緑地・札幌市育樹体験会	10
		20	水	有明・雨のため活動中止	0
		22	金	澄川・クズ駆除、苗畑整備、秋の林内観察会	18
		25	月	野幌道有林・植樹、ツリーシェルター取付け	10
		27	水	澄川 / 有明・澄川南小総合学習支援 / モニタリング調査	19
		29	金	澄川・澄川南小卒業記念植樹、モニタリング調査	14
11		1	月	野幌道有林・生長調査、チップ敷設、樹木調査まとめ	11
		3	水	サッポロさとらんど・道民森づくりの集い	7
		4	木	澄川 / 澄川南小・笹刈り、ホダ場整備 / ネームプレート作り	14
		4	木	支笏湖 CGC 水明郷の森 / 協会事務所・ 多面森林アドバイザー現地立会、書類確認	2
		5	金	ラルズ生活研究C・幹事会	10
		7	日	澄川・モニタリング調査、作業道整備、親子森林教室準備	13
		8	月	エルプラザ・第2回理事会	5
		11	木	澄川・冬季整理伐調査、ホダ木採取、標準地調査	21

西暦	月	日	曜日	内 容	参加数
		15	月	澄川・澄川南小支援、冬季整理伐調査	14
		16	火	野幌国有林・江別市トド山地区現地視察	4
		20	土	澄川・小屋整理、機器整備、物品調べ	20
		24	水	澄川・冬季整理伐木選木、簡易乾燥小屋整備	14
		26	金	澄川・冬季整理伐木選木、簡易乾燥小屋整備	16
		30	火	エルブラザ・会員例会、忘年会	28
	12	4	土	澄川・標準木調査、冬季整理伐木選木	20
		7	火	澄川・標準木調査、冬季整理伐木選木	18
		8	水	ラルズ事務所 B1・幹事会	11
		10	金	澄川・標準木調査、薪作り	20
		12	日	澄川・標準木調査、薪作り、小屋回り整理	12
		15	水	札幌市みどりの管理課会議室・札幌市とのワークショップ	7
		16	木	澄川・標準木調査、整理伐（手ノコ）	20
		17	金	ラルズ生活研究 C・セミナー（普通応急手当講習）	18
		20	月	澄川・標準木樹高調査、見廻り、活動納め	23
2022	1	7	金	ラルズビル B1 会議室・幹事会	12
		11	火	澄川・活動始め、伐木安全講習、ロープワーク、除雪	20
		12	水	札幌市みどりの管理課会議室・札幌市とのワークショップ	4
		15	土	澄川・除雪、作業道路みつけ、整理伐（手ノコ）	14
		18	火	澄川・整理伐（手ノコ）	17
		19	水	札幌市みどりの管理課会議室・札幌市とのワークショップ	2
		20	木	エルブラザ・会員例会 / セミナー	20
		21	金	澄川・整理伐	14
		23	日	澄川・整理伐	9
		26	水	澄川・整理伐	10
		29	土	澄川・整理伐、避難小屋除雪	13
		31	月	澄川・整理伐	14
	2	3	木	澄川・整理伐	13
		5	土	澄川・整理伐	12
		8	火	澄川・整理伐	12
		9	水	ラルズ生活研究 C・幹事会（スタッフのみ参加）	4
		10	木	ラルズ生活研究 C・多面事務局ヒアリング	3
		11	金	澄川・整理伐	14
		13	日	澄川・親子森林教室	16
		15	火	澄川・整理伐	13
		16	水	エルブラザ・セミナー 新型コロナ対策により中止	0
		19	土	澄川・整理伐	12
		22	火	澄川・整理伐・暴風雪により中止	0
		25	金	澄川・観察会	12
	3	1	火	澄川・整理伐	14
		4	金	澄川・整理伐	11
		6	日	澄川・整理伐	12
		9	水	ラルズビル会議室・20周年記念委員会 ラルズビル会議室・幹事会	6 12
		10	木	澄川・整理伐	16
		13	日	澄川・整理伐	14
		16	水	澄川・整理伐	16
		17	木	エルブラザ・セミナー 新型コロナ対策により中止	0
		21	月	澄川・整理伐	17
		24	木	澄川・整理伐	13
		26	土	澄川・整理伐	11
		29	火	澄川・整理伐、標準木調査、ホダ木準備	14
		30	水	石山ココス・コモドの森打合せ	6

7-2 総活動経過

		H14 2002	H15 2003	H16 2004	H17 2005	H18 2006	H19 2007	H20 2008	H21 2009	H22 2010	
特記事項		6月設立		5月 NPO取得 9月 台風被害			5周年			10月雪害	
札幌市環境林	澄川	←除間伐		一次拡張	二次拡張		記念植樹			三次拡張	
	有明第二	←除間伐									
	西野第二		↔延期		←風倒木処理			←ニセアカシア萌芽退治			
国有林	野幌森林公園				←〔国有林〕地拵・植林		←下刈・補植		←下刈		
	藻岩山				←風倒木処理・間伐						
支笏湖周辺国有林	セブン・イレブン			復興の森		←植樹	←根踏み・下刈				
	協会独自						←植樹	←根踏み・下刈			
	コンサドーレ			コンサ百年の森		←AMPで植樹	←植樹	←植樹・下刈			
	北海道新聞社				ぶんぶんの森			←植樹	←根踏み・		
	北海道シジシエ						CGC水明郷の森		←地拵・植樹		
									CGC鳥欄舞の森		
民有林その他	森林総研		←枝打ち・除間伐								
	フクロウの森		←林内整備・植樹	←林内整備							
	斉藤リング園				←剪定枝処理・摘花・摘果・袋外し・葉摘み・収穫						
	鎮守の森	北海道神宮			←境内整備・倒木処理	←巨木調査					
	アイケンの森						←倒木処理・除伐		←ササ刈		
	オイスカ支援			←植樹祭・下刈						(澄川)	
	バイオヤナギ						←南幌挿木	←青山挿木	←下刈		
	木工					←杉本邸での木工					
その他 植樹祭など	森のつどい 有珠山	襟裳・札幌 北海道	小林峠			ニトリタ張		ニトリタ張			
海外	ホンジュラス			←調査		←植樹支援					
	撫順		←調査	←緑化ツアー							
研修・ セミナー	研修旅行			←東大演習林 北限の ブナ林	←北限の ブナ林	←天売・焼尻 (北限の杉)		←前田一歩園	(木曾路・ 伊那路の森)		
	セミナー		←冬期(12月～4月)に実施								
啓発・ 教育支援	札幌工科大学専門学校	←有明	フクロウの森							澄川	
	幌南小学校							←幌南の森プロジェクト			
	その他		教育大 付属中学	日本学生 支援機構 有明小学校	宮の森中学	南幌中学	富丘小学校 宮の森中学				
	親子森林教室										

7-3 会員名簿、研修旅行一覧表、セミナー実績一覧表

《会員名簿》

創立時会員		入 会				入 会				入 会			
		No	年	月	氏名	No	年	月	氏名	No	年	月	氏名
1	麻生 昭治	52	2002	8	柴田 久子	103	2004	4	島田 定信	154	2006	5	武田 展也
2	井口 靖史	53	2002	8	杉本 則	104	2004	4	牧 庄吉	155	2006	5	高橋 節子
3	石川あきら	54	2002	8	南 洋子	105	2004	5	三木 康臣	156	2006	6	矢澤 滋
4	石城 謙吉	55	2002	9	湯澤 利一	106	2004	5	紺野 忠義	157	2006	7	田口 優子
5	泉 弘	56	2002	9	江端しのぶ	107	2004	5	武田 鉄雄	158	2006	9	大崎 正勝
6	伊東 ケイ	57	2002	9	坂崎 和夫	108	2004	5	高橋 清吉	159	2006	9	吉田 究
7	伊藤征美子	58	2002	9	加治久美子	109	2004	5	廣田 善巳	160	2006	10	菅野 泰子
8	今井 真一	59	2002	10	永田 啓子	110	2004	5	榎本 秀子	161	2007	3	浅井 昇
9	岩崎 幹郎	60	2002	10	錦織 卓也	111	2004	5	阿部 雪絵	162	2007	6	近藤あおい
10	梅原 藤雄	61	2002	10	山田 秀行	112	2004	6	高橋三和子	163	2007	11	鈴木 敏美
11	遠藤 静江	62	2002	10	附田 力也	113	2004	6	川嶋 龍博	164	2007	12	平尾 三郎
12	檀樺 典夫	63	2002	10	田中 莞二	114	2004	7	和田 功	165	2008	1	井上 賢次
13	加治 豊実	64	2002	10	田中 孝子	115	2004	7	幕田 重俊	166	2008	2	嵯峨井 喬
14	鎌田 俊美	65	2002	10	真鍋 京子	116	2004	8	村井 弘美	167	2008	2	斎藤 正幸
15	河井 邦俊	66	2003	2	村上 孝三	117	2004	9	織田 将子	168	2008	2	只野 薫
16	河村 征治	67	2003	2	椎谷 泰世	118	2004	10	山岸 由紀	169	2008	2	阿部セツ子
17	菊池 敏浩	68	2003	2	椎谷 佳子	119	2004	10	木戸 和子	170	2008	4	古堅セツ子
18	菊池美津子	69	2003	3	木村美也子	120	2004	10	佐坂 悦子	171	2008	4	澤田 禮子
19	後藤あつ子	70	2003	3	佐野 礼子	121	2004	11	久山久仁子	172	2008	4	白石 智子
20	後藤 祐司	71	2003	3	玉置紅美子	122	2004	11	古内 愛	173	2008	4	廻 和子
21	斉藤スミ子	72	2003	3	松田 正弘	123	2004	12	藤田美智子	174	2008	4	山光せい子
22	酒井 和彦	73	2003	3	門間 功	124	2004	12	瀬野よう子	175	2008	5	三澤 英樹
23	坂口 利貞	74	2003	3	山中 司	125	2004	12	高橋 静子	176	2008	5	豊田 和規
24	佐藤 光也	75	2003	4	高橋フジ子	126	2004	12	佐藤 寛治	177	2008	6	梅津 鉄子
25	沢口 一洋	76	2003	4	津金 和洋	127	2004	12	五十地 清	178	2008	6	浅野 昌江
26	芝 恵三	77	2003	4	山原登美子	128	2005	4	石村 剛志	179	2008	6	児玉 芳明
27	杉本 茂	78	2003	5	石島しのぶ	129	2005	4	富樫 豊子	180	2008	6	佐藤 邦興
28	関 勘悦	79	2003	5	折原 浩司	130	2005	4	坂田 広吉	181	2008	6	濱田 一憲
29	高野 豊	80	2003	5	山口 武雄	131	2005	4	村井 悦子	182	2008	8	西村佳一郎
30	高谷 喜一	81	2003	5	馬場富美子	132	2005	5	横山 清	183	2008	10	安藤 和昌
31	武田 晃扶	82	2003	6	畑 悦子	133	2005	5	伊東 孝	184	2008	10	西野 巴
32	竹田 弘	83	2003	7	小野寺正義	134	2005	5	須田 清勝	185	2008	10	住出 尊史
33	千葉 到	84	2003	8	西尾 克彦	135	2005	5	柴野 直行	186	2008	12	Mike DONOHUE
34	新妻 礼子	85	2003	12	前地 允久	136	2005	5	作田 和幸	187	2009	1	松田 疆
35	新妻 ゆり	86	2003	12	高橋 尚樹	137	2005	5	堀 達也	188	2009	2	辻栄 克彦
36	西野 澄子	87	2003	12	丸藤 尚之	138	2005	5	斉藤 克彦	189	2009	3	野田 耕市
37	西野 悌三	88	2003	12	安保 忠義	139	2005	7	谷崎 久男	190	2009	4	北島よしゑ
38	林 幹夫	89	2003	12	河口 幸子	140	2005	7	及川 悠子	191	2009	4	山崎 晃志
39	馬場 洋子	90	2003	12	山本 薫	141	2005	7	釣井 市朗	192	2009	4	虎谷 利一
40	福田 紀之	91	2003	12	佐久間澄子	142	2005	10	荻田 雄輔	193	2009	4	岡部 文子
41	松村 清松	92	2004	1	虎谷 勝行	143	2005	10	福田 信行	194	2009	6	須田 洋
42	三浦 裕	93	2004	2	山本 勝幸	144	2005	11	新田 啓子	195	2009	8	小笠原宣男
43	湊 克之	94	2004	2	長田 敏裕	145	2006	1	笹井 守	196	2009	8	荒屋敷明夫
44	三和 勉	95	2004	3	藤村 幸恵	146	2006	1	渡辺 洋三	197	2009	9	服部 壮
45	棟方 鋼男	96	2004	3	青木 哲夫	147	2006	1	佐藤 勝	198	2010	2	大島 博美
46	村上 昭子	97	2004	3	高橋 伸枝	148	2006	2	市山勝一郎	199	2010	2	大島 節子
47	森村 鉄雄	98	2004	3	草原 由美	149	2006	4	中島 尚俊	200	2010	3	田山 秀幸
48	山崎 重吉	99	2004	3	小山 邦彦	150	2006	4	吉本 史郎	201	2010	3	田村 勝
49	山下 信也	100	2004	3	瀬川 邦子	151	2006	4	石川千寿子	202	2010	3	西村 正利
50	吉本 金光	101	2004	3	高野 圭子	152	2006	5	工藤 光夫	203	2010	4	大谷 康弘
51	渡部紀美世	102	2004	3	荒船 招利	153	2006	5	工藤 和枝	204	2010	4	澤田 信子

※青筆は退会者。

入 会				入 会				入 会			
No	年	月	氏名	No	年	月	氏名	No	年	月	氏名
205	2010	4	堀田 洋子	226	2014	3	早坂 裕	247	2018	11	高橋喜三生
206	2010	5	鳴海 清司	227	2014	4	柿沼 英宣	248	2019	1	竹田 泰子
207	2010	9	加藤 秀雄	228	2014	5	吉岡 綾子	249	2019	3	松浦 優子
208	2010	9	久保 英樹	229	2014	10	澤田 宜己	250	2019	4	斎藤 豊
209	2010	9	平尾 功二	230	2014	10	宮川 俊哉	251	2019	12	赤間 秀典
210	2010	10	深町 宏美	231	2015	3	三橋 次郎	252	2020	1	山崎 守
211	2010	11	杉田 健一	232	2015	5	合田由紀子	253	2020	1	平 芳男
212	2011	1	茂木 勝枝	233	2015	8	長濱 芳信	254	2020	1	松井 吉男
213	2011	1	小田 拓治	234	2015	12	木村 聡	255	2020	2	石飛 博美
214	2011	1	関根 崇敬	235	2016	3	西 俊一	256	2020	2	蒔田 美穂
215	2011	3	大窪 健一	236	2016	3	西 弘子	257	2020	6	東海林嘉良子
216	2011	6	山下 泰範	237	2016	4	三浦 由希	258	2020	6	村上 雅文
217	2011	9	清水 好弘	238	2016	4	山本 諭	259	2020	6	丸尾 浩
218	2012	10	藤原 義則	239	2016	4	三岡みゆき	260	2020	7	中島 聖子
219	2012	10	杉井 恭子	240	2016	6	日沼 紀之	261	2020	8	中楯 知宏
220	2013	4	清澤 通俊	241	2016	8	橋詰 祐一	262	2020	12	内田 桐子
221	2013	4	竹生 脩二	242	2016	10	矢野 眞仁	263	2021	3	老田 一世
222	2014	1	米重 寿記	243	2017	5	本郷千弥子	264	2021	6	山口 幸洋
223	2014	2	金子 雄治	244	2018	4	我慢 嘉明	265	2021	8	川端 康太
224	2014	3	小栗優美子	245	2018	6	山本真知子	266	2021	10	金谷 泰夫
225	2014	3	小柳チエ子	246	2018	11	松藤 研	267	2021	12	松井 慎次

※青筆は退会者。

現会員数 66 名 (2022 年 3 月 31 日現在)

《研修旅行一覧表 (2004 ~ 2021 年度)》

回	年・月	研修旅行名	参加人数
1	2004 年 5 月	東京大学富良野演習林見学会	19
2	2004 年 10 月	北限のブナ林観察会 —歌オブナ林—	16
3	2005 年 6 月	ブナ林見学第二弾 —鳥牧編—	17
4	2006 年 7 月	天売・焼尻研修旅行 —北限の杉—	20
5	2007 年 9 月	下川森林組合「森は光輝くまち」	27
6	2008 年 10 月	前田一歩園・木工クラフト・道立林産試験場視察	16
7	2009 年 4 月	信州研修旅行	8
8	2011 年 8 月	富良野東大演習林・安藤山林緑化研修旅行	22
	2012 年	協会 10 周年記念行事のため中止	0
9	2013 年 10 月	足寄九州大学北海道演習林	19
10	2014 年 9 月	奥尻島 ブナ林、津波対応施設	23
11	2015 年 9 月	黒松内ブナセンター	22
12	2016 年 10 月	北海道大学雨龍研究林	22
13	2017 年 10 月	白神山地、三内丸山遺跡	17
14	2018 年 9 月	釧路湿原、知床自然センター、オホーツクの森	18
15	2019 年 9 月	北海道大学中川研究林、下川町有林	18
16	2020 年 9 月	平取町イオルの森	16
17	2021 年 9 月	白老町ウヨロ環境トラスト、ウボボイ訪問 コロナ対応のため中止	0

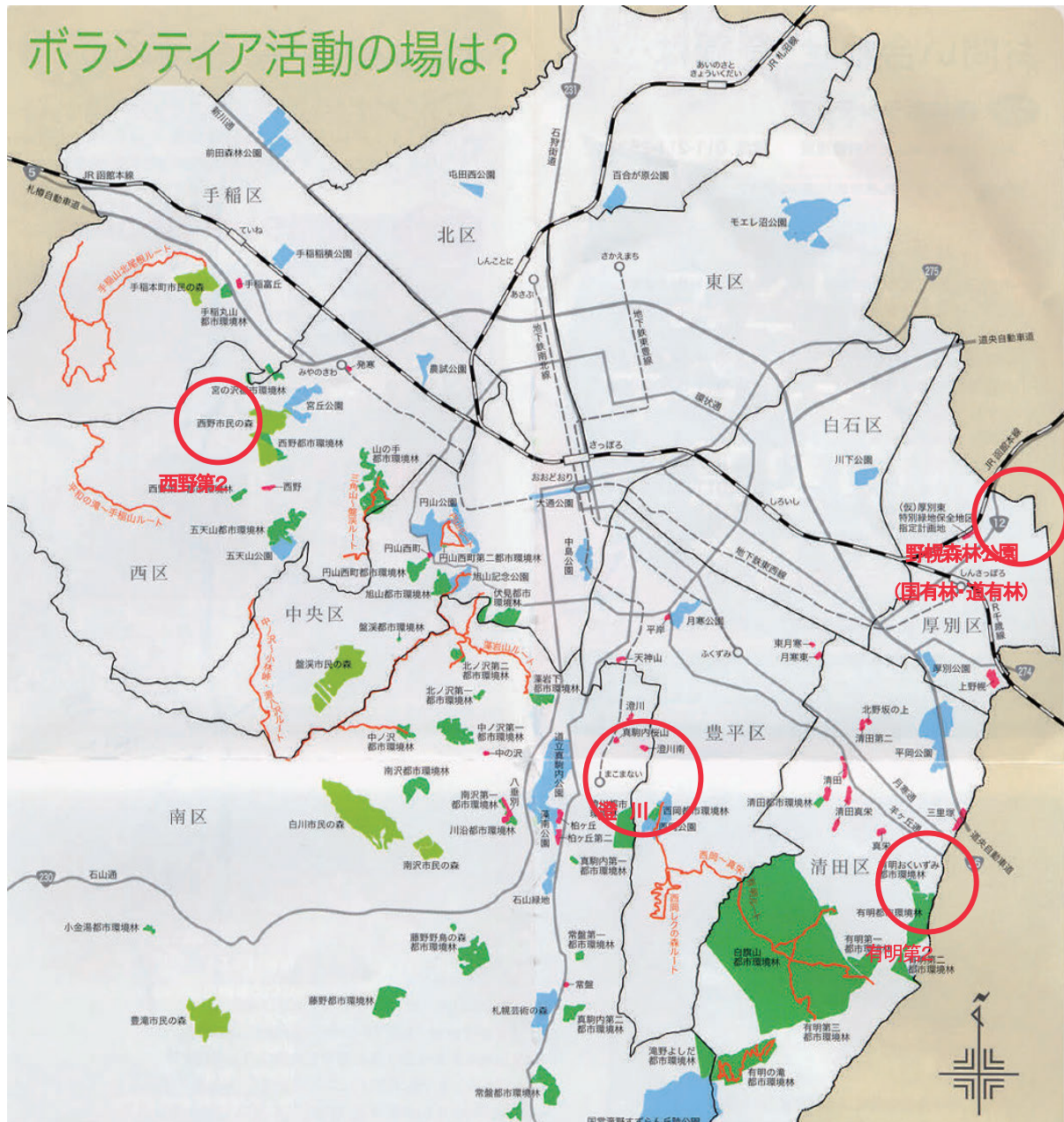
《セミナー実績一覧表（2012～2021年度）》

回	年・月	講師	所属	題目	参加
43	2012. 12	菅田健太郎	胆振東部森林管理署	支笏湖周辺風倒木被害における更新状況とその後の課題	26
44	2013. 1	大坂 義臣	札幌市自然教育園	くまと人とのかかわりについて	23
45	2013. 2	佐山 勝彦	森林総合研究所	スズメチの生態と刺傷被害	14
46	2013. 3	北村 系子	森林総合研究所	知れば知るほど摩訶不思議ササの話	23
47	2013. 12	北村 系子	森林総合研究所	北海道のブナの遺伝子について	23
48	2014. 1	寺沢 孝毅	守りたい生命プロジェクト	Earth Song ～かけがいのない地球の詩～	17
		酒井 和彦	会員	安全講習座学	
49	2014. 2	西川 滯二	北海道林業技師会	森の素晴らしさ	120
50	2014. 3	金 由貴子	西岡公園	西岡公園の活動紹介	22
		宮津 京子	西岡公園植物会の会	西岡公園植物会の活動紹介	
51	2014. 12	酒井 和彦	会員	伐木講習会「木を倒す時の注意点・・最近の事故を含めて」	25
		松浦友紀子	森林総研研究員	森林資源としてのエゾシカ（現状と今後）	
52	2015. 1	樫棒 典夫	会員	森林・山村多面機能発揮多対策の事業報告	26
		上田 裕文	札幌市立大学 講師	樹木葬を通じた森林管理の可能性	
53	2015. 2	大窪 健一	会員	親子森林教室（森しり隊）計画発表	20
		救急救命士	札幌市防災協会	普通救命講習会	
54	2015. 3	工藤 森生	北海道庁木育推進 G	親子を対象に森林教室を行うために	17
55	2015. 12	畷田 康之	北海道森と緑の会	安全管理講習会	23
		増田 勉	林災防北海道支部		
56	2016. 1	新田 啓子	真駒内芸術の森緑の回廊	オシドリがいる森	21
		酒井 和彦	会員	郷土史すみかわ	
57	2016. 2	樫棒 典夫	会員	森ボラ協議会の活動報告	22
		米森 宏子	札幌市環境局	私たちのくらしと生物多様性	
58	2016. 3	清澤 通俊	会員	親子森林教室森しり隊のスタートに当たって	20
		川北 稔	(株)ドーコン	札幌近郊の地質	
59	2016. 12	高野 豊	会員	カラスの話	21
		宮坂 省吾	(株)アイビー	札幌の失われた川を歩く	
60	2017. 1	酒井 和彦	会員	活動地の Before & After	22
		長坂 晶子	道総合研究機構 森林環境部	森林の水土保全機能と土地利用による変化	
61	2017. 2	樫棒 典夫	会員	2017 年多面対策事業	21
		小本 智幸	カラカネトンボを守る会技術顧問	都市域における自然保環境保全活動	
62	2017. 3	和田 功	会員	安全講習座学編	23
		鈴木 玲	手稲里川探検隊 代表	手稲さと川探検隊	
63	2017. 12	酒井・大窪	会員	安全講習座学	23
		山口 岳広	森林総合研究所	樹木の病気の話 + 腐朽病害の話	

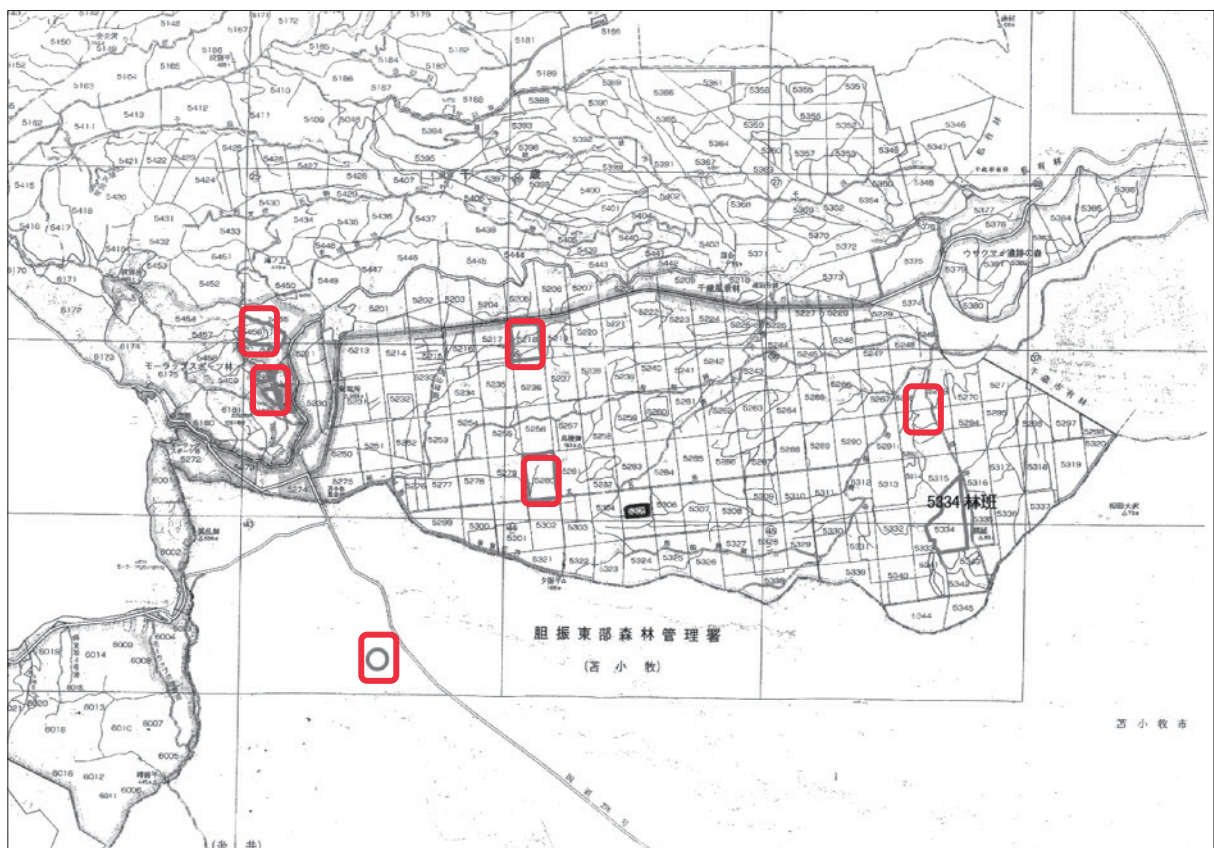
回	年・月	講 師	所 属	題 目	参加
64	2019. 12	酒井・清澤	会員	「緑の都市賞 内核総理大臣賞」受賞の経緯	22
		工藤 森生	北海道庁林業木材課	森林ボランティアの次のステップについて	
65	2020. 1	樫棒 典夫	会員	「活動地の生長調査」について	21
		石原 誠	森林総合研究所	「木が枯れる」事象について	
66	2018. 1	樫棒 典夫	会員	各活動地における生長調査報告	18
		藤原 勉	札幌市防災協会	現場活動における安全講習	
67	2018. 2	大窪 健一	会員	2018 年度親子森林教室について	17
		守屋 開	札幌市青少年科学館	生き物と自然を伝える	
68	2018. 3	市山勝一郎	会員	「澄川基本計画」と活動地の基本計画	21
		木村 方一	北海道教育大学名誉教授	北海道哺乳動物化石発見の歴史	
69	2018. 12	防災協会講師	札幌市防災協会	普通応急手当講習Ⅰ	18
70	2019. 1	酒井・矢野	会員	伐木安全講習・机上編	20
		中村 康江	札幌ユネスコ協会	ユネスコ寺子屋活動カンボジア報告	
71	2019. 2	清澤 通俊	会員	2019 年度親子森林教室について	21
		平川 浩文	森林総合研究所	動物たちの今を知る	
72	2019. 3	樫棒 典夫	会員	多面関係及び各地の生長調査	19
		宮坂 省吾	(株)アイビー地質情報室	揺れ動く大地	
73	2019. 12	酒井・清澤	会員	緑の都市賞「内閣総理大臣賞」受賞報告	21
		松藤 研	会員	チェンソー講習受講報告	
		工藤 森生	北海道庁林業木材課	森ボラ活動の次のステップに向けて	
74	2020. 1	樫棒 典夫	会員	各活動地の生長調査	21
		石原 誠	森林総合研究所	今、北海道で発生が懸念される樹木病害	
75	2020. 2	清澤 通俊	会員	2020 年度親子森林教室について	23
		仁宮 課長	札幌市緑の推進課	第4次札幌市みどりの基本計画の概要	
76	2020. 12	岡村 俊邦	近自然森づくり協会理事長	近自然森づくりについて	15
77	2021. 2	大窪 健一	会員	新型コロナウイルス予防対策	22
		及川 勇二	北海道上川振興局	シイタケ原木栽培について	
78	2021. 3	樫棒 典夫	会員	2021 年度活動経過と活動体制	20
		吉田 俊也	北大北方生物圏フィールドC	択伐施業林の50年	
79	2021. 12	防災協会講師	札幌市防災協会	普通応急手当講習Ⅰ	18
80	2022. 1	清澤 通俊	会員	「澄川の森今後の有り方」について	20
		柿澤 宏昭	北海道大学教授	市民による森林づくりをめぐる最近の動き	

7-4 活動マップ (○枠で表示)

- (1) 札幌市都市環境林 (澄川 (南区)・有明第2 (清田区)・西野第2 (西区)) 地区および野幌森林公園 (国有林・道有林) 地区。



(2) 国有林支笏湖周辺



7-5 寄付・賛助会員名簿、助成団体・企業名簿

《寄付・賛助会員名簿（2012～2021年度）》

（順不動・敬称略）

2012（平成24）年度

- 株式会社 今 造園
- 斉藤りんご園
- 三基開発 株式会社
- 株式会社 北海道シジシー
- 株式会社 須田製版
- 杉井 恭子
- 合田俊宏・由紀子
- 株式会社 ラルズ
- 公益財団法人 オイスカ北海道支部
- 山本機械 株式会社
- 株式会社 橋本川島コーポレーション
- 赤帽 あけぼの運送サービス
- 三和 勉
- 株式会社 イーエス総合研究所
- 北都システム 株式会社と社員一同
- 国土緑化推進委員会石狩
- リュパン・ド・ヌール

2013（平成25）年度

- 株式会社 今 造園
- 三基開発 株式会社
- 株式会社 横浜植木
- 北日本フーズ
- 株式会社 北海道シジシー
- 公益財団法人 オイスカ北海道支部
- 杉井 恭子
- 赤帽 あけぼの運送サービス
- 株式会社 橋本川島コーポレーション
- 山本機械 株式会社
- 斉藤りんご園
- 三和 勉
- 株式会社 ラルズ
- 合田俊宏・由紀子
- 国土緑化推進委員会石狩
- リュパン・ド・ヌール

2014（平成26）年度

- 山本機械 株式会社
- 株式会社 横浜植木
- 株式会社 北日本フーズ
- 斉藤りんご園
- 三和 勉
- 公益財団法人 オイスカ北海道支部
- 国土緑化推進委員会石狩
- リュパン・ド・ヌール
- 株式会社 今 造園
- 三基開発 株式会社
- 株式会社 北海道シジシー
- 株式会社 ラルズ
- 杉井 恭子
- 札幌モーニングロータリー
- 赤帽 あけぼの運送サービス

2015（平成27）年度

- 株式会社 須田製版
- 三基開発 株式会社
- 三和 勉
- リュパン・ド・ヌール
- 公益財団法人 オイスカ北海道支部
- 株式会社 北海道シジシー
- 斉藤りんご園
- 山本機械 株式会社
- 北日本フーズ
- 杉井 恭子
- 札幌モーニングロータリー
- 株式会社 ラルズ
- 国土緑化推進委員会石狩

2016（平成28）年度

- 三和 勉
- 株式会社 須田製版
- 株式会社 横浜植木
- 杉井 恭子
- 株式会社 北海道シジシー
- 株式会社 ラルズ
- 三基開発 株式会社
- 株式会社 北日本フーズ
- 山本機械 株式会社
- 株式会社 きのとや
- 公益財団法人 オイスカ北海道支部
- 斉藤りんご園
- 国土緑化推進委員会石狩

2017（平成29）年度

- 株式会社 北海道シジシー
- 横浜植木株式会社 北海道支店
- 公益財団法人 オイスカ北海道支部
- 斉藤りんご園
- 株式会社 須田製版
- 株式会社きのとや 長沼昭夫
- 株式会社 北海道キャラバン
- 株式会社 北日本フーズ
- 山本機械 株式会社
- 株式会社 ラルズ
- リュバン・ド・ヌール
- 三和 勉
- 杉井 恭子
- 吉本 史郎

2018（平成30）年度

- 公益財団法人 オイスカ北海道支部
- 株式会社 北日本フーズ
- 斉藤りんご園
- 杉井 恭子
- 株式会社 北海道キャラバン
- 株式会社 北海道シジシー
- 山本機械 株式会社
- 横浜植木株式会社 北海道支店
- 株式会社 ラルズ
- 三和 勉

2019（令和1）年度

- 公益財団法人 オイスカ北海道支部
- 株式会社 北日本フーズ
- 斉藤りんご園
- 株式会社きのとや 長沼昭夫
- 株式会社 北海道キャラバン
- 株式会社 北海道シジシー
- 山本機械 株式会社
- 横浜植木株式会社 北海道支店
- 株式会社 ラルズ
- 杉井 恭子

2020（令和2）年度

- 公益財団法人 オイスカ北海道支部
- 株式会社 北日本フーズ
- 斉藤りんご園
- 株式会社きのとや 長沼昭夫
- 株式会社 北海道キャラバン
- 株式会社 北海道シジシー
- 山本機械 株式会社
- 横浜植木株式会社 北海道支店
- 株式会社 ラルズ
- 杉井 恭子

2021（令和3）年度

- 公益財団法人 オイスカ北海道支部
 - 株式会社 北日本フーズ
 - 斉藤りんご園
 - 株式会社きのとや 長沼昭夫
 - 株式会社 北海道キャラバン
 - 杉井 恭子
 - 株式会社 北海道シジシー
 - 山本機械 株式会社
 - 横浜植木株式会社 北海道支店
 - 株式会社 ラルズ
 - 長嶺 正紀
-

《助成団体・企業名簿（2012～2021年度）》

（順不動・敬称略）

2012（平成24）年度

- 一般社団法人 北海道 CGC みどりところの基金
- 札幌市市民まちづくり活動推進助成
- コンサ100年の森づくり基金
- 公益社団法人 北海道森と緑の会
- 北海道新聞社ぶんぶんの森
- 公益財団法人 キリン福祉財団
- サッポロサポート

2013（平成25）年度

- 一般社団法人 北海道 CGC みどりところの基金
- 国土緑化推進機構（ローソン緑の募金）
- 富士ゼロックス端数倶楽部&富士ゼロックス株式会社
- 公益社団法人 都市緑化機構（花王みんなの森づくり）
- 公益社団法人 北海道森と緑の会
- 北海道新聞社ぶんぶんの森
- 財団法人札幌市公園緑化協会（さっぽろガーデンシティ活動）

2014（平成26）年度

- 一般社団法人 北海道 CGC みどりところの基金
- 公益社団法人 北海道森と緑の会
- 富士ゼロックス端数倶楽部&富士ゼロックス株式会社
- 公益社団法人 都市緑化機構（花王みんなの森づくり）
- 国土緑化推進機構（ローソン緑の募金）
- ホームマック株式会社
- 北海道新聞社ぶんぶんの森

2015（平成27）年度

- 公益財団法人 安藤スポーツ・食文化振興財団
- 一般社団法人 北海道 CGC みどりところの基金
- 公益社団法人 北海道森と緑の会
- 国土緑化推進機構（ローソン緑の募金）
- 公益社団法人 都市緑化機構（花王みんなの森づくり）
- 北海道新聞社ぶんぶんの森
- ホームマック株式会社
- 公益社団法人 都市緑化機構（ふるさとの森林再生事業）

2016（平成28）年度

- 公益財団法人 安藤スポーツ・食文化振興財団
- 一般社団法人 北海道 CGC みどりところの基金
- 公益社団法人 北海道森と緑の会
- 国土緑化推進機構（ローソン緑の募金）
- 富士ゼロックス端数倶楽部&富士ゼロックス株式会社
- 株式会社 かんぼ生命保険
- 公益社団法人 都市緑化機構（花王みんなの森づくり）
- 北海道新聞社ぶんぶんの森
- ホームマック株式会社

2017（平成29）年度

- 国土緑化推進機構（ローソン緑の募金）
- 株式会社 かんぼ生命保険
- 公益社団法人 北海道森と緑の会
- 一般社団法人 北海道 CGC みどりところの基金
- 北海道新聞社ぶんぶんの森
- 富士ゼロックス端数倶楽部&富士ゼロックス株式会社
- 公益財団法人 安藤スポーツ・食文化振興財団
- 独立行政法人 国立青少年教育振興機構
- ホームマック株式会社

2018（平成30）年度

- 国土緑化推進機構（ローソン緑の募金）
- 株式会社 かんぼ生命保険
- 公益社団法人 北海道森と緑の会
- 一般社団法人 北海道 CGC みどりところの基金
- 北海道新聞社ぶんぶんの森
- 独立行政法人 国立青少年教育振興機構
- 似鳥文化財団（ニトリ北海道応援基金）

2019（令和1）年度

- 国土緑化推進機構（ローソン緑の募金）
- 一般社団法人 北海道 CGC みどりところの基金
- 北海道新聞社ぶんぶんの森
- 独立行政法人 国立青少年教育振興機構
- 株式会社 かんぼ生命保険
- 公益社団法人 北海道森と緑の会
- 株式会社 北洋銀行（ホッカー基金）

2020（令和2）年度

- 国土緑化推進機構（ローソン緑の募金）
- 一般社団法人 北海道 CGC みどりところの基金
- 北海道新聞社ぶんぶんの森
- 独立行政法人 国立青少年教育振興機構
- 公益社団法人 北海道森と緑の会
- 公益社団法人 北海道新聞野生生物基金
- さぼーとほっと基金（マテック団体指定）

2021（令和3）年度

- 独立行政法人 国立青少年教育振興機構
- 一般社団法人 北海道 CGC みどりところの基金
- 公益社団法人 北海道森と緑の会
- 北海道新聞社ぶんぶんの森
- さぼーとほっと基金（マテック団体指定）

北海道森林ボランティア協会受賞歴

- ◆ 2013年12月「北海道社会貢献賞」受賞
〔森を守り緑に親しむ功労者〕
- ◆ 2015年6月
第27回森林レクリエーション協会地域美化コンクール
「農林大臣賞」受賞
- ◆ 2015年10月
いきものにぎわいコンテストで
ローソン緑の募金賞を受賞
- ◆ 2016年5月
国民の森林づくり推進功労者で「林野庁長官賞」受賞
- ◆ 2019年2月
「第10回さっぽろ環境賞・市長賞」受賞
- ◆ 2019年11月
「緑の都市賞 内閣総理大臣賞」受賞



第10回さっぽろ環境賞・市長賞を受賞



緑の都市賞・内閣総理大臣賞を受賞

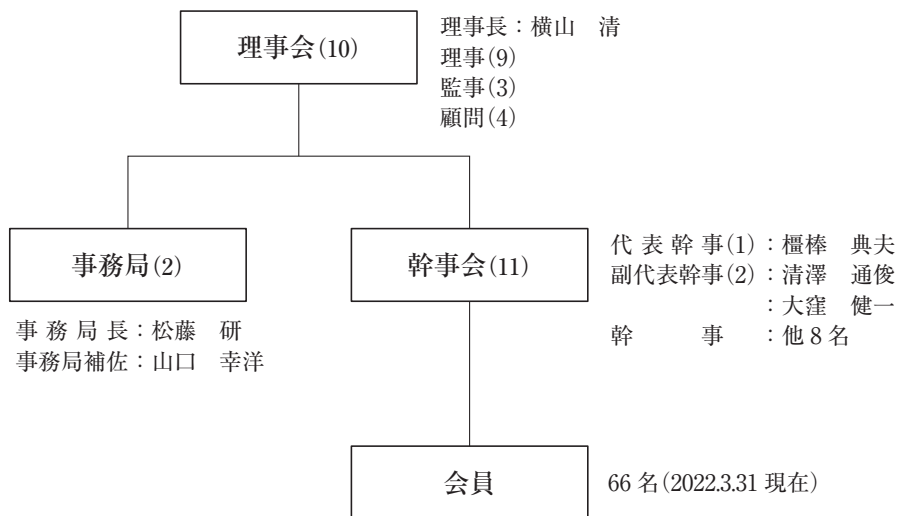
協会の概要

(2022.4.1 現在)

団体名：特定非営利活動法人
北海道森林ボランティア協会
(Hokkaido Forest Volunteers Association)

所在地：〒062-0931
札幌市豊平区平岸1条1丁目8-8 ラルズ生活研究センター
連絡先：電話(fax.) (011) 816-7010
E-mail：hshinrinv2002@nifty.com
URL <https://www.shinrin-npo.info/>

組織図：





森の守護神エゾフクロウ
森ボラ協会のシンボルマークです



「澄川環境林の花 12 選の中の一つ“フデリンドウ”」

編集後記

10周年の記念式典を実施してから早10年が経ちました。この間、森ボラの活動日数は2倍以上に増えています。

この記念誌を纏めるに際し、出来るだけ記録を残し、活動結果を多くの人々に見ていただきたいと思いましたが紙面及び費用も限られた結果、10周年記念誌と同じページ数で作成することになりました。

この10年間会員の高齢化は確実に進んでいます。会員名簿の入会状況を見ても、この10年間の入会者が少ないのです。定年の延長や年金支給の高齢化など社会的な問題も影響していると思います。森ボラの活動を継続的にしていく為にも無理の無い活動が求められているのではないかと思います。一方、この10年間には残念ながら一緒に活動してきた数名のメンバーを失う事になりました。亡くなられた皆様の冥福をお祈りするとともに、我々も健康に気を付けて次世代に引き継ぎしていきたいものです。

2022年9月15日

発行責任者／横山 清

発行者／榎棒 典夫

編集委員／荻田 雄輔、西野 澄子、三橋 次郎

印刷／株式会社アイワード



NPO法人
北海道森林ボランティア協会

<https://www.shinrin-npo.info/>

〒062-0931

札幌市豊平区平岸1条1丁目8-8 ラルズ生活研究センター

phone & fax : (011) 816-7010

E-mail : hshinrin2002@nifty.com